

■2. [一般建築]検討内容

2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

建築確認の事前審査段階において、審査内容の理解を目的として BIM モデルを閲覧する場合に必要な情報、審査機序、表現方法を検討した。検討にあたりまず、BIM モデルを閲覧することが審査上効果的である内容を設定した上で、情報の抽出方法とその表現方法について検討を行い、実用に向けた課題の整理を行った。

2-1-1) BIM モデルを閲覧することが審査上効果的である内容の設定

BIM で設計される建築物の建築確認にかかる事前審査において、BIM モデルを閲覧することが審査上効果的であるものについて、本検討で取り扱う内容の設定を行うものである。

本検討において、BIM で設計される建築物の建築確認の事前審査段階で、審査者が BIM モデルを閲覧する行為は、建築確認図書等の作成元となる BIM モデル等から抽出される数値等の情報を利用したモデルビューを視認により確認し、これにより申請図書を代替する方法を想定する。なお、想定するモデルビューは、BIM モデルデータの将来的な活用も視野に、以下1)、2)の各開発ステップを想定する。

- 1) BIM モデル等から抽出される数値等の情報を表現し、審査者が表現される内容を視認することにより、図書と同様の審査が可能となるもの(国立研究開発法人 建築研究所(以下、「建築研究所」という)が定義する BIM 建築確認の開発ステップの Step2+に相当)
- 2) BIM モデル等から抽出される数値等の情報と、判断に必要となる算式に当たる情報を表現し、審査者が、表現される算式の妥当性と算式の結果を視認することにより、図書と同等の審査が可能となるもの(建築研究所が定義する BIM 建築確認の開発ステップの Step3-に相当)

上記想定のもとに、BIM モデルを閲覧することが審査上効果的である内容の設定は、「令和 2 年度報告書」p.319 において、設計者による設計作業の軽減、及び審査者による審査行為の効率化について効果が高いと思われるものとして示した、下表の「課題別検証テーマ」のうちから、意匠、構造、設備の各分野で、審査機序、参照情報が明確にされている表中下線を引いたものを選択し、設定することとした。

表1－課題別検証テーマ(令和 2 年度報告書 p.319)

意 匠	構 造	設 備
<u>1)求積図について</u>	1)意匠図と構造図の整合性について	1)意匠図と設備図の整合性について
<u>2)採光・換気・排煙等の開口部算定について</u>	<u>2)計算書と構造図の整合性について</u>	<u>2)計算書と設備図の整合性について</u>
3)各室仕上表について	<u>3)構造図間の整合性について</u>	3)居室における非常用照明の設置について
4)耐火リストについて	4)断面リストの表現方法について	<u>4)避雷針の範囲について</u>
5)階段の種類、寸法等の表記について	5)整合性確保のためのワークフローについて	<u>5)幹線の防火区画貫通部措置について</u>
6)非常用・代替出入口の設置位置寸法の表現標準化について	6)その他、特筆すべきテーマ	6)ダクトの複線表示について
<u>7)凡例(消防設備、防火区画図)について</u>		7)系統図をアクソメ図とする可能性について
<u>8)申請書について</u>		8)他ソフトとの連携
9)書き込み情報の可視化について		9)書き込み情報の整理
10)断面図の表現について		10)その他、特筆すべきテーマ
11)地盤面算定について		
12)その他、特筆すべきテーマ		

(余白)

2-1-2) BIM モデルを閲覧する場合に参照する情報の定義

BIM で設計される建築物の建築確認の事前相談段階において、BIM モデルを閲覧・参照する際に、審査対象の視認や審査内容の適合判断等で参照する「BIM モデルの数値等の情報」の収録項目や、収録するデータの型などの定義に係る検討を行った。なお、検討の対象は、「2-1-1) BIM モデルを閲覧することが審査上効果的である内容の設定」で設定した内容とすることとした。

2-1-2-1) 検討の手順や前提条件等

①審査機序に対応した属性情報の整理

BIM モデルを閲覧する場合に参照する情報の定義では、まず、上記で設定した審査項目毎の審査機序の各段階において、参照する BIM データの情報を想定して整理した。審査機序とは、「令和 2 年度報告書」で示す「BIM モデル等から抽出される数値等の情報を利用した、建築確認の事前審査に適したモデルビューの検討」において、意匠、構造、設備の分野別の「課題別検証テーマ」の各テーマについて、審査者の視点における審査手順と審査項目を整理し、事前相談段階に BIM を用いる場合のモデルビューの条件を整理した「審査者視点における審査手順、審査項目の整理」を示す。

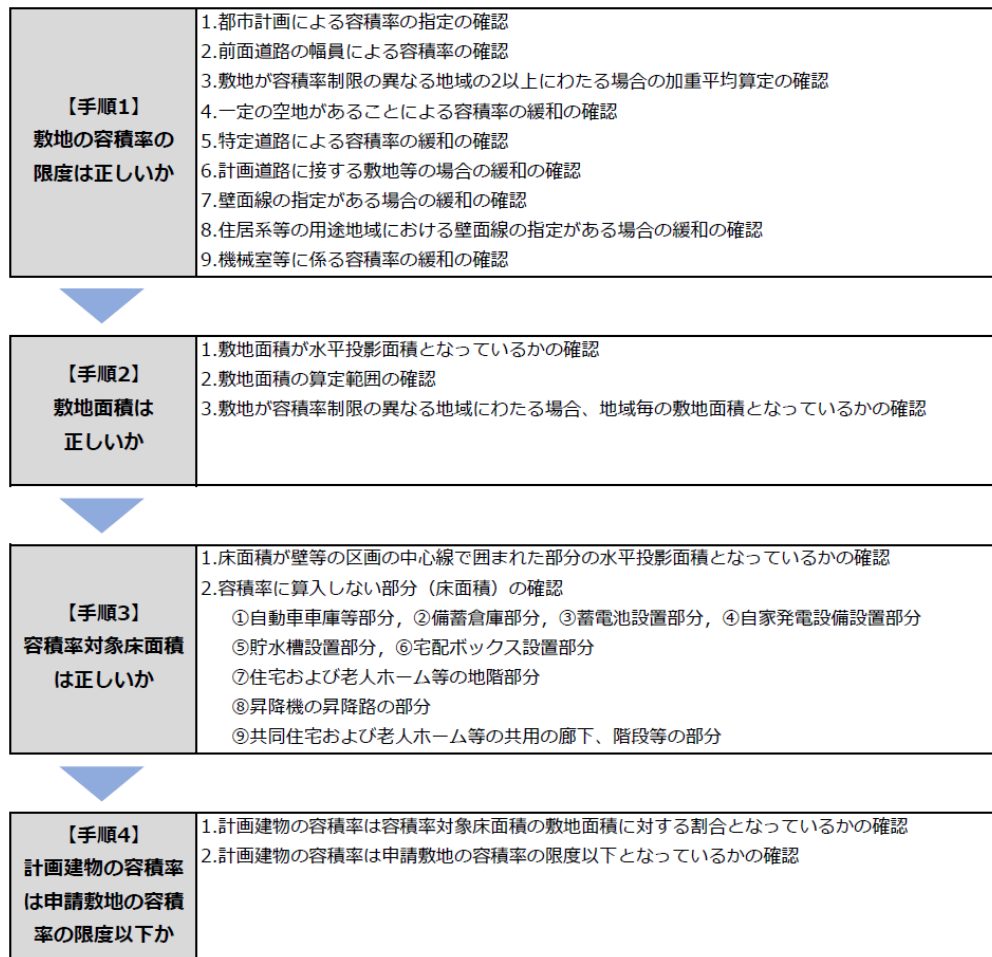


図1－意匠 容積率にかかる審査手順の整理(例)(令和 2 年度報告書 p.322)

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

【手順1】 敷地の容積率の限度	【手順2】 敷地面積	【手順3】 容積率対象床面積	【手順4】 容積率の比較
敷地の位置、境界線	敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の寸法及び算式	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	敷地の容積率の限度
用途地域	敷地境界線	各室、各居室の用途及び床面積	敷地面積
都市計画による容積率		用途別床面積	容積率対象床面積
前面道路の位置及び幅員		各階ごとの床面積の合計	
容積率の数値の異なる地域の境界線及びその敷地面積		棟ごとの床面積の合計	
法第52条第12項の壁面線等		延べ面積（総計）	
令第135条の19の建築物の部分の位置、構造		地階の判定（①～④）	
法第52条第8項の内容（①～④）		①地面レベル、当該階の床レベル	
①空地の面積及び位置		②地盤面（当該階における）	
②道路に接して有効な部分の面積及び位置		③床面から地盤面までの高さ	
③敷地内の工作物の位置		④階の天井高さ	
④令第135条の17第3項の表の地域の境界線		容積率対象床面積不算入における地階の判定	
⑤算定式		①地盤面、地階の天井レベル	
法第52条第9項（特定道路）の内容（①～③）			
①前面道路が接続する特定道路の位置及び幅員			
②特定道路から敷地が接する前面道路の部分の直近の端までの延長			
③算定式			
許可に係る建築物の敷地、構造、建築設備、用途に関する事項			

図2－意匠 容積率にかかる審査手順に応じた審査項目の整理(例) (令和2年度報告書 p.322)

審査機序に対応した属性情報の整理（審査機序に従い BIM モデルを閲覧・参照する際に、審査者による審査対象の視認や審査内容の適合判断等で参照される「BIM モデルの数値等の情報」の整理）は、建築確認図書の作図等に必要な属性情報が含まれる BIM モデルデータを対象として、その属性情報入力状況の整理作業（現状の BIM ソフトウェアで入力可能な項目という視点での整理を含む）を行った。この整理作業は、設計者が審査対象となる建築物の設計を行う際の BIM モデル作成手順や、多様な設計者が不自由なく取り扱うための対応の一つとして位置づけられるものである。

整理作業の対象とした BIM モデルデータは、次表に示す BIM モデル(令和2年度報告書 p.33)とし、整理作業は、設計側として、同表に示す「BIM モデル作成作業協力者」と、審査側として、同協議会の会員に属する特定行政庁、指定確認検査機関の作業協力を得て実施した。

表1－ BIM モデルデータの概要、作成環境等

項目		モデルA	モデルB	モデルC	モデルD
使用 BIM ソフトウェア	意匠	Revit	Revit ARCHICAD	Revit	GLOOBE
	構造	Revit	Revit	Revit	—
	設備	Revit	Revit Rebro	CADWe'll Tfas	—
BIM モデル作成 作業協力者		(株)日建設計 (株)日本設計	(株)大林組 (株)竹中工務店 清水建設(株)	大和ハウス工業 (株)	福井コンピュータ アーキテクト(株) (J-BIM 研究会)
用途		事務所・飲食店	共同住宅・物品 販売業を営む 店舗	ホテル・飲食店	サービス付き高 齢者住宅
延べ面積		10,430.27 m ²	6,823.66 m ²	9,485.29 m ²	2,338.69 m ²

②建築確認で参照する BIM モデルのパラメータ標準の検討

BIM オブジェクトの代表的なものを抽出した上で、建築確認で参照するパラメータ標準を検討した。属性情報入力状況の整理作業の対象とする BIM モデルデータおよび作業協力は、「①審査機序に対応した属性情報の整理」の整理作業と同様とした。パラメータ標準を定義するうえで、建築確認に必要と思われる属性情報が含まれることは、将来の審査用 BIM ビューアソフトウェアを用いて審査用ビューを得るためのルール化にもつながる。このため、検討成果は、BIM ライブラリ技術研究組合(国土交通省建築 BIM 推進会議 部会2 以下「BLCJ」という)と情報を共有し、BLCJ における今後のオブジェクト標準検討で活用されることを期待した。また、BIM オブジェクトの属性情報が、将来、入力情報に基づき審査用ビュー表現へ活用されることを視野に入れた場合に、BIM オブジェクトへのデータ収蔵項目毎に、必要となるデータの型を定義することが求められる。当該パラメータ標準検討では、このことが今後の検討課題として認識されることを期待することとした(課題としては、コード(分類)の必要性も同様)。

データの型とは、大きくは文字データ型(テキスト)、数値データ型(整数、単精度浮動小数点数型、倍精度浮動小数点数型)、ブーリアン型(真偽)などのことを示す。このデータの型の定義にあたり、本来は、現在流通している各種 BIM ソフトウェアでの実現機能・表現とデータの型の関係や、設計者による建築物設計時の BIM モデル作成手順や多様な設計者が不自由なく取り扱うための対応、また、入力された情報の後工程(設計から施工、維持管理に至る行程)における情報利用やデータ連携などの考慮も必要となる。このため、本検討におけるデータの型は、定義とは言え「一定の考え方を示すもの」としての取り扱いを期待するものとしてまとめた。

パラメータ標準検討は、主に建築確認での BIM 利用において持たせるべき情報を、BIM オブジェクトの単位に着目して整理した。整理結果は、建築確認で参照する情報の標準化への検討、活用を想定して、BLCJ と情報共有し、下表のパラメータリストを基に整理した。

なお、建築設計三会のパラメータリストは、国土交通省建築 BIM 推進会議 WEB サイトの公開情報を、BLCJ パラメータリストは、BLCJ から提供を受けたものを、それぞれ利用した。

表1ー属性情報入力状況の整理で活用したパラメータリスト

分野	概要
意匠	・「設計 BIM ワークフローガイドライン 建築設計三会(第1版)」のうち、「資料. 建築設計三会カテゴリ別パラメータリスト」
構造	・BLCJ 構造標準 改訂 3 版
設備	・BLCJ オブジェクト標準 ver2.0 β

(余白)

2-1-2-2) 検討成果について

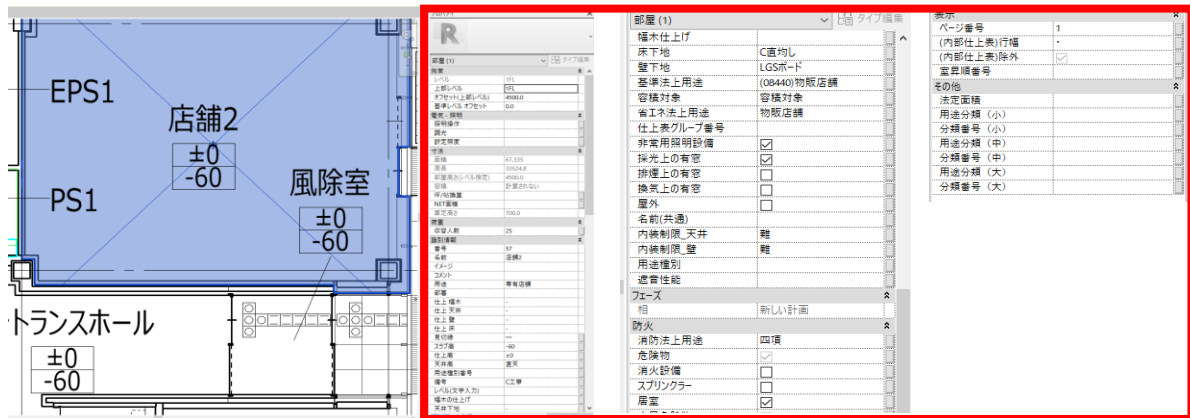
検討成果は、以下の①②の内容について整理した。

①審査フローに基づく BIM データ構成の整理

・設計側が、審査で必要となる情報を入力しているかを確認し、入力している場合には、どのような属性情報をオブジェクトに入力しているのかを整理した。

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理

・パラメータ標準の検討では、建築設計三会、及び BLCJ が整理したオブジェクト標準について、サンプルモデル(モデル A から D)における設計側の入力状況、設計側の設計時に入力すべきオブジェクト情報(下図参照)、及び、審査側の、審査における参照の要否の見解を整理した。



参考図: BIM モデルのオブジェクト情報の例(赤枠内)(BLCJ サンプルモデル(意匠)より)

[意匠]、[構造]、[設備]の分野毎に、検討対象と検討成果概要は以下のとおりである。

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理

◆検討対象

[意匠]	法第 52 条 容積率／法第 53 条 建蔽率 法第 28 条 採光・換気・排煙 令第 112 条 防火区画(意匠関係) 令第 114 条 防火上主要な間仕切壁
[構造]	鉄筋コンクリート造(伏図・軸組図)、鉄骨造(伏図・軸組図) 鉄筋コンクリート造(部材リスト)、鉄骨造(部材リスト)
[設備]	令第 112 条 防火区画 令第 114 条 防火上主要な間仕切壁の貫通措置 法第 33 条 避雷設備 法第 28 条 法第 28 条の 2 換気設備

◆検討成果

[意匠]

- ・表縦方向の項目1つに対し、表横方向へ設計側の BIM モデル別整理結果を示した。このため、横方向に長い整理表となっており、縦方向1項目に対する検討成果を、2ページに分割して示した。(回答数5者)
- ・本検討結果をもとに、パラメータ標準検討等において情報集約するための方向性等について、「考察(参考)」において可能な限り示した。

チェックリスト			モデルAユーザに必要なものの内容及びその条件			Aチーム(Revit)					Dチーム(GOBBE)					考察(参考)
項目名	確認事項	目的	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考		
手元の図面	建築図面(平面図、断面図、立面図、配置図、等積図、等積断面図)	建築図面の確認	建築図面の確認に必要な建築物の各部分の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	建築図面の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	建築図面との整合性を確認する。	
手元の図面	建築図面(平面図、断面図、立面図、配置図、等積図、等積断面図)	建築図面の確認	建築図面の確認に必要な建築物の各部分の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	建築図面の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	建築図面との整合性を確認する。	
手元の図面	建築図面(平面図、断面図、立面図、配置図、等積図、等積断面図)	建築図面の確認	建築図面の確認に必要な建築物の各部分の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	建築図面の寸法(長さ、高さ、幅、位置)の取得	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	オブジェクト	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報項目 (Parameter Value)	備考	建築図面との整合性を確認する。	

審査側作成モデルビューの検討
(令和2年度報告書より)

設計側 属性情報の入力状況
(モデルA~D)

考察
(参考)

図1-[意匠]①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理(抜粋)

[構造]

- ・[意匠]と同様に、表縦方向の項目1つに対し、表縦方向へ整理し、設計側の BIM データにおける対応状況についての整理結果を示した。(回答数3者)
- ・本検討結果をもとに、パラメータ標準検討等において情報集約するための方向性等について、「考察(参考)」において可能な限り示した。

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なものの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況	考察(参考)
①法令	②図書の種類	③明示、記載、審査事項		部位	内容	条件	○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	各階床伏図 小屋伏図	柱、はり、床、壁(耐力壁、耐力壁以外の壁)の位置の記載 構造スリットの位置の記載 開口部の位置の記載	各階床伏ビュー 屋根伏ビュー	屋根版	符号位置 厚さ	○	
						屋根の部分毎に伏図表現ができる。 →伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
						区分①: 部材符号 位置(部材配置) 外形形状 開口部位置 形状	○ ○ ○ ○ ○	
						区分②: 開口部寸法 位置(レベル)	○ ○	
						区分③: 特記事項の記載 屋根版敷込方向(→方向版の場合)	× △	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべしという意見あり。 2D加筆をしている場合がある。
						同一部材の色別表示	○	
						区分④: 積載荷重の色別表示 [指定することで表現されるもの]	△	積載荷重の情報をスラブの属性として与えるか、意匠の部屋(エリア)に床荷重を与えるかなど入力方法が統一されていない。また現状入っていない場合が多い。

審査側作成モデルビューの検討
(令和2年度報告書より)

設計側の
入力状況まとめ
(モデル A~C)

考察
(参考)

図2-[構造]①審査フローに基づく BIM データ構成の整理(抜粋)

[設備]

- ・[意匠]と同様に、表縦方向の項目1つに対し、表横方向へ設計側の BIM モデル別整理結果を示した。このため、横方向に長い整理表となっており、縦方向1項目に対する検討成果を、2ページに分割して示した。(回答数4者)
- ・本検討結果をもとに、パラメータ標準検討等において情報集約するための方向性等について、「考察(参考)」において可能な限り示した。

審査内容の項目リスト			名称		Aチーム(Rev1)				Bチーム		考察(参考)	
①法令	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	審査内容	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目(Parameters)	属性情報値(Value)	備考	情報提供(For Value)	備考
		風通しの確保	ダクト 開口部	ダクト経路	【風通(ダクト)の配置確認】 ●中心線が重複しない ●経路にわたる系統 ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない	ダクト	大型ダクト 小型ダクト ダクト継ぎ 開口部	種類(風通経路) 形状 開口部 開口部	耐火 耐火 耐火 耐火	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分
		各階中央部	ダクト 開口部	形状ダクト 開口部(円形、正方形、矩形、等辺三角形、等腰三角形)	【風通(ダクト)の配置確認】 ●中心線が重複しない ●経路にわたる系統 ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない	ダクト	中央部 中央部 中央部 中央部	形状 形状 形状 形状	耐火 耐火 耐火 耐火	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分
		各階112	ダクト 開口部	形状ダクト 開口部(円形、正方形、矩形、等辺三角形、等腰三角形)	【風通(ダクト)の配置確認】 ●中心線が重複しない ●経路にわたる系統 ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない	ダクト	中央部 中央部 中央部 中央部	形状 形状 形状 形状	耐火 耐火 耐火 耐火	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分
		二階以上の階	ダクト 開口部	形状ダクト 開口部(円形、正方形、矩形、等辺三角形、等腰三角形)	【風通(ダクト)の配置確認】 ●中心線が重複しない ●経路にわたる系統 ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない ●開口部が重複しない	ダクト	中央部 中央部 中央部 中央部	形状 形状 形状 形状	耐火 耐火 耐火 耐火	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分	区分通後の系統 注: 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分 経路経分による区分

審査側作成モデルビューの検討
(令和2年度報告書より)

設計側 属性情報の入力
状況(モデル A~C)

考察
(参考)

図3-[設備]①審査フローに基づく BIM データ構成の整理(抜粋)

次ページ以降に、具体的検討成果(一覧表)を[意匠]、[構造]、[設備]の分野別に示す。

法第52条 容積率／法第53条 建蔽率

：設備との調整項目

NO.	I チェックリスト			モデルビューに必要なもの内容及びその条件				B チーム (Revit)									
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	
5	予めの記載	床面積求積図	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式 各室の用途及び床面積 用途別床面積	面積	<p><敷地面積> 敷地面積の算定基準の確認</p> <p><床面積> 床面積の算定基準の確認</p>	<p><敷地面積> ・敷地面積に必要な敷地の各部分の寸法 ・算式</p> <p><床面積> ・床面積に必要な建築物の各部分の寸法 ・算式 ・各室、各居室の用途 ・各室、各居室(用途別含む)の床面積 ・棟ごとの床面積の合計 ・建→面積(総計)</p>	エリア	エリア	積換式 計算面積 基準法用途 容積対象	〇〇×〇〇 〇〇㎡ 事務所 はい/いいえ	別添、測量図による	エリア	エリア	計算面積 基準法用途 容積対象	〇〇㎡ 事務所 はい/いいえ	別添、測量図による	各部分の寸法の表示は2D加筆 合計値は集計表による(小数第4位切り捨での計算式)
1075		確認申請書	延べ面積など		確認申請書	審査内容の記載は省略											
1090			各室の用途及び床面積	面積 室用途	No.5に含まれる	No.5に含まれる											
1090	法第52条	各階平面図	蓄電池設置部分、自家発電設備設置部分、貯水機設置部分又は宅配ボックス設置部分の位置	面積 室用途	No.5に含まれる	No.5に含まれる											

法第52条 容積率／法第53条 建蔽率

NO.	B子ーム (Archicad)				O子ーム (Revit)				D子ーム (GLOOBE)				備考(参考)			
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考
5	ゾーン	面積	00m	00m	容ゾーンとはレイヤーを分けて入カーン範囲から取得した面積値	ゾーン	面積	00m	00m	容ゾーンとはレイヤーを分けて入カーン範囲から取得した面積値 ※計値は一覧表による	ゾーン	面積	00m	00m	容ゾーンとはレイヤーを分けて入カーン範囲から取得した面積値 ※計値は一覧表による	「容積率」はBIMデータ内に無いケースが多いと考えられる。
5	ゾーン	容積率	00%	00%	寸法の表示の際には2D加算ゾーン範囲から取得した面積値 ※計値は一覧表による	ゾーン	容積率	00%	00%	寸法の表示の際には2D加算ゾーン範囲から取得した面積値 ※計値は一覧表による	ゾーン	容積率	00%	00%	00%	基本的に「エリア」スペース/ゾーンといった空間オブジェクトに情報を付与せず、そこから求められ、図面表示に必要図面要素を加算している。
1075	ゾーン	面積	00m	00m	案ゾーンとはレイヤーを分けて入カーン範囲から取得した面積値	ゾーン	面積	00m	00m	案ゾーンとはレイヤーを分けて入カーン範囲から取得した面積値	ゾーン	面積	00m	00m	00m	同上
1080																
1080																

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

法第52条 容積率／法第53条 建蔽率

：設備との調整項目

NO.	チェックリスト			モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Bチーム (Revit)									
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	
1091	法第52条	床面積求積図	③明示、記載、審査事項 蓄電池設置部分、自家発電設備設置部分、 雨水権設置部分又は宅配ボックス設置部分 の位置	面積 室用途	No.5に含まれる	No.5に含まれる											
1095		敷地面積求積図	敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の 寸法及び算式	面積 敷地形状	No.5に含まれる	No.5に含まれる											
1108		確認申請書	建築面積など		確認申請書	審査内容の記載は省略											
1121	法第53条	敷地面積求積図	敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の 寸法及び算式	面積 敷地形状	No.5に含まれる	No.5に含まれる											
1122		建築面積求積図	建築面積の求積に必要な建築物の各部分 の寸法及び算式	面積 建物形状	No.5に含まれる	No.5に含まれる											

法第52条 容積率／法第53条 建蔽率

NO.	B子ーム (Archicad)				O子ーム (Revit)				D子ーム (GLOOBE)				備考(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)
1091						スペース 床面積区画	スペース 床面積区画	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペース 平面形状 容積率対象 容積率不算入 区分	スペースオブジェクトの「容積率対象」プロパティが「容積率不算入」対象のとき、「容積率不算入」が「容積率不算入」区分に設定されている場合にのみ適用される。床面積区画の「容積率不算入」属性は、「容積率不算入」属性の値が「容積率不算入」属性の値と一致している場合にのみ適用される。床面積区画の「容積率不算入」属性は、「容積率不算入」属性の値が「容積率不算入」属性の値と一致している場合にのみ適用される。床面積区画の「容積率不算入」属性は、「容積率不算入」属性の値が「容積率不算入」属性の値と一致している場合にのみ適用される。	
1095						敷地境界・地盤	敷地境界・地盤	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	0番目の頂点:(12324.32, 3242.094), 1番目の頂点:(48750.231, 7459.012), 2番目の頂点:(32854.083, 28429.326), ...	算式を求め、三斜区画で、敷地境界・地盤オブジェクトに三斜区画を入力できる。敷地境界・地盤オブジェクトが用途地域オブジェクトに三斜区画が自動で入力される。敷地面積計算表コマンドにて、三斜区画をもとに敷地の面積を自動算定できる。
1108															
1121						敷地境界・地盤	敷地境界・地盤	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	平面形状 三斜区画情報	0番目の頂点:(12324.32, 3242.094), 1番目の頂点:(48750.231, 7459.012), 2番目の頂点:(32854.083, 28429.326), ...	算式を求め、三斜区画で、敷地境界・地盤オブジェクトに三斜区画を入力できる。敷地境界・地盤オブジェクトが用途地域オブジェクトに三斜区画が自動で入力される。敷地面積計算表コマンドにて、三斜区画をもとに敷地の面積を自動算定できる。
1122						建築面積区画	建築面積区画	平面形状 符号 種別	平面形状 符号 種別	平面形状 符号 種別	平面形状 符号 種別	平面形状 符号 種別	平面形状 符号 種別	符号:A1 種別:通常	「建築面積計算表」確認コマンドにて、建物の建築面積(建築面積区画オブジェクトの面積)の合計を確認できる。建築面積計算表コマンドによって、建物の全体の建築面積を確認できる。建築面積計算表コマンドにて、三斜区画をもとに敷地の面積を自動算定できる。

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

注1. 令第126条の第2項の規定を除く。
・排煙設備のうち、機械給気併用自然排煙方式を除く。

：設備との調整項目

NO.	1 チェックリスト				モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)			
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考
552	確認申請書		用途地域、用途など		確認申請書	審査内容の記載は省略										
553	配置図		敷地の接する道路の位置及び幅員並びに令第20条第2項第1号に規定する位置及び幅員その他の敷地から頭上する空地又は水面の位置及び幅	道路敷地敷地外構	採光補正係数を求めたために必要な要件 採光補正係数を求めるために必要な各境界線の位置の確認 各部分の水平距離の確認					過去の検討では未検証は未検証として既実問題として自動算定は難しい					断面図のみ活用	
554			令第20条第2項第1号に規定する水平距離							過去の検討では未検証は未検証として既実問題として自動算定は難しい						断面図のみ活用
555	法第28条(居室の採光及び換気)	各階平面図	法第28条第1項に規定する開口部の位置及び面積	開口部	居室の窓その他の開口部で採光に有効な部分の面積 開口部の位置と面積の確認			窓	カーテンウォール ※Revitの用語として			窓	高さ	0000mm 0000mm		集計表手入力
556	床面積求積図		床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	居室	居室床面積の算定範囲の確認 居室床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法・算式			部屋	部屋			エリア	面積	00㎡		各室求積図を利用
557	二面以上の立面図		令第20条第2項第1号に規定する垂直距離													
558	二面以上の断面図		令第20条第2項第1号に規定する垂直距離	開口部	採光補正係数を求めたために必要な要件 開口部の直上にある建築物の各部分から開口部の中心までの垂直距離					過去の検討では未検証は未検証として既実問題として自動算定は難しい		窓				断面に寸法線2D加筆

法28条 採光・換気・排煙

NO.	Bチーム (Archicad)				Cチーム (Revit)				Dチーム (GLOOBE)				備考(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)
552						用途地域	用途地域				第一種住居地域、商業地域、工業地域等				「LVS設定」コマンドで、用途地域オブジェクトの「用途地域」プロパティの「有効」にチェックを入れた状態で、用途地域の各有効領域の算定係数を設定できる。例えば「用途地域名称」が「第一種住居地域」ならば、採光関係比率に適用する値は「60」、減じる値は「1.4」、水平距離の問題は「7.0m」など。
553						敷地境界線	敷地境界線				敷地境界線、地盤線、有効開口面積				敷地境界線オブジェクト、道路境界線オブジェクトは、敷地境界線、地盤線オブジェクトの多角形状を構成する辺に沿って入力できる多角形状を形成する。道路境界線オブジェクトの「属性」プロパティは、その平面形状を表す多角線の各頂点ごとに設定できる。「開口面積積算」コマンドにて開口部の頂上にある建築物の各部分から敷地境界線までの距離を計算できる。
554															過去の検討では未検証 地盤問題として全てのソフトウェアで自動算定させる事は難しい
555	窓各種	採光上有効な部分の幅 採光上有効な部分の高さ	窓Wから取得、窓	00mm	一連の情報入力済みツール化している	同上	同上				同上				過去の検討では未検証 地盤問題として全てのソフトウェアで自動算定させる事は難しい
556	ゾーン	面積	部屋	はいいいえ	一連の情報入力済みツール化している	部屋	建具				有効開口面積積算 有効開口寸法: 採光(2.70×2.00) 採算係数: 0.7/2800.0×60-1.4=1.98-3.00				「LVS平面図」コマンドで、開口部から、対象の境界線までの水平距離を自動作成できる。
557			窓	00mm	一連の情報入力済みツール化している	同上	同上				有効採光対象 有効開口寸法 有効開口面積積算 有効開口寸法				「LVS平面図」コマンドで、開口部から、対象の境界線までの水平距離を自動作成できる。
558					一連の情報入力済みツール化している	同上	同上				有効採光対象 有効開口寸法 有効開口面積積算 有効開口寸法				「LVS平面図」コマンドで、開口部から、対象の境界線までの水平距離を自動作成できる。

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

法28条 採光・換気・排煙

注)・令第126条の2第2項の規定を除く。
・排煙設備のうち、機械換気併用自然排煙方式を除く。

設備との調整項目

NO.	1 チェックリスト				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)								
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	
559		開口部の採光に有効な部分の面積を算定した際の計算書	居室の床面積	居室	居室床面積の算定範囲の確認			部屋	面積	〇〇㎡		エリア	面積	〇〇㎡		各要求範囲を利用	
560		開口部の採光に有効な部分の面積を算定した際の計算書	開口部の採光に有効な部分の面積及びその算出方法	開口部	開口部の採光に有効な部分の面積とその他の開口部の面積との算出方法	採光計算表等による計算結果の確認 ・居室の床面積 ・開口部の採光に有効な部分の面積とその算出方法	窓壁	窓カーテンウォール	幅 高さ 開口係数	〇〇〇mm 〇〇〇mm		窓	幅 高さ	〇〇〇mm 〇〇〇mm		開口係数は手動入力	
	法第28条(居室の採光及び換気)		居室に設ける換気のための窓その他の開口部の位置及び面積	開口部	居室に設ける換気のための窓その他の開口部の位置及び面積	換気計算表等による計算結果の確認 ・居室に設ける換気のための窓その他の開口部の位置 ・居室に設ける換気のための窓その他の開口部の面積	窓壁 ドア	窓カーテンウォール ドア	幅 高さ	〇〇〇mm 〇〇〇mm		窓	幅 高さ	〇〇〇mm 〇〇〇mm		集計表手入力	
	法第38条(特殊建築物等の建築及び消火に関する技術的基準)		令第116条の2第1項第1号に規定する窓その他の開口部の面積	開口部	採光計算表等による計算結果	採光計算表等による計算結果の確認 ・居室の床面積 ・居室の開口部で採光に有効な部分の面積とその算出方法	部屋	部屋	面積	〇〇㎡		エリア	面積	〇〇㎡			
			令第116条の2第1項第2号に規定する窓その他の開口部の開放による部分の面積	開口部	排煙計算表等による計算結果	排煙計算表等による計算結果の確認 ・居室の開口部で排煙に有効な部分の面積とその算出方法	部屋	窓カーテンウォール 部屋	幅 高さ 開口係数 面積	〇〇〇mm 〇〇〇mm 〇〇〇mm		窓 エリア	幅 高さ 面積	〇〇〇mm 〇〇〇mm 〇〇㎡		集計表手入力	
692		確認申請書	用途、階数、延べ面積など		確認申請書	審査内容の記述は省略											
693		令第5章第3節 排煙設備	敷地内における建築物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との関係	削除予定													
694		配煙図	土階の高底及び建築物の各部分の高さ	削除予定													
695																	

法28条 採光・換気・排煙

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

NO.	Bゾーン (Archicad)					Cゾーン (Revit)					Dゾーン (GLOOBE)				
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考
559	ゾーン	面積	〇〇m ²			部屋	部屋	面積	〇〇m ²	エリア集計からの連携で調整値を使用する場合あり	建具	建具領域	建具領域	建具領域	建具領域
560	窓	窓各種	採光上有効な部分の高さ			窓	情報格納専用 (ファミリ)	採光有効幅 採光有効高 採光開口比率	〇〇mm		建具	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域
	窓	窓各種	換気上有効な部分の高さ			窓	情報格納専用 (ファミリ)	換気有効幅 換気有効高 換気開口比率	〇〇mm		スペース	スペース LVS有効採光 面積 建具領域 建具領域	スペース LVS有効採光 面積 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	スペース LVS有効採光 面積 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	スペース LVS有効採光 面積 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域
692	ゾーン	面積	〇〇m ²			部屋	部屋	面積	〇〇m ²	エリア集計からの連携で調整値を使用する場合あり	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース
693	窓	窓各種	排煙上必要面積			窓	情報格納専用 (ファミリ)	採光有効幅 採光有効高 採光開口比率	〇〇mm		防煙区画	防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画	防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画	防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画 防煙区画	
694	窓	窓各種	排煙上有効な部分の高さ			窓	情報格納専用 (ファミリ)	排煙有効幅 排煙有効高 排煙開口比率	〇〇mm		建具	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域 建具領域	
695															

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

注)・令第126条の二第2項の規定を除く。
・排煙設備のうち、機械換気用自然排煙方式を除く。

：設備との調整項目

1.チェックリスト	モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)						
	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考
6916	①法令など	③明示、記載、審査事項	排煙の方法及び火災が発生した場合に避難上支障のある高さまで煙又はガスが落下が生じない建築物の部分	・用途 ・階数 ・面積 ・煙(内装仕上、防火区画、防煙室(防煙区画)) ・各室・居室、	令126条の2第1項各号に該当する適用除外部分の確認 ・H12年建告4436号の適合性に必要な事項の確認 (凡例、天井高さ(H≧3m)、 ・煙(内装仕上、防火区画、防煙室(防煙区画)) ・各室面積、内装など	部屋	部屋	天井高 居室 面積	2700 はい 〇〇㎡		部屋 エリア	天井高 居室 面積(エリア)	2700 はい 〇〇㎡(エリア)		
6917	令第5章第3節 排煙設備 各階平面図	③明示、記載、審査事項	令第116条の2第1項第2号に該当する窓その他の開口部の位置	・用途 ・階数 ・面積 ・開口部 ・防煙室(防煙区画) ・各室・居室、	・防煙室の位置・構造・高さ(No.698に記載)	窓 天井 ドア	窓 カーテンウォール ドア	排煙設備 排煙高さ	-		注釈	-	-	有効排煙面積の計算式入力	
6918	令第5章第3節 排煙設備 各階平面図	③明示、記載、審査事項	防火区画及び令第126条の2第1項に規定する防煙室による区画の位置	・用途 ・階数 ・面積 ・防火区画、防煙室(防煙区画) ・各室・居室、	・防火区画及び防煙室の位置	壁	窓 防煙壁	防火区画 防煙壁	防煙壁		壁	標準壁	防火性能タイプ 名	114区画 真鍮片遮 面積区画	フルダウンとタイプ名で判別

法28条 採光・換気・排煙

NO.	Bゾーン (Archicad)					Cゾーン (Revit)					Dゾーン (GLOBBE)						
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	参考(参考)	
696	ゾーン	排煙方式 免除範囲	免除 区(1)			部屋	部屋	天井高 居室 面積	2700 はい 0.0㎡	天井は1連の ソールでモジュール から連携	壁 スペース 柱 内蔵仕上 内部天井仕上 スラブ 防煙区画	壁 スペース 天井高 2800mm 形態:内部居室 性能:準耐火 認定番号:**** 法的区画種別:排煙免除区画	用流区分:08080 小学校 天井高:2800mm 形態:内部居室 性能:準耐火 認定番号:**** 法的区画種別:排煙免除区画	壁 スペース 天井高:2800mm 形態:内部居室 性能:準耐火 認定番号:**** 法的区画種別:排煙免除区画	防煙区画オブジェクトの免除理由プロパティは、同オブジェクトの個別プロパティが「排煙免除」の場合のみ表示され、編集可能となる。スペース、防煙区画オブジェクトの面積は、その平面形状から自動算定される。		
697	窓	窓各種	排煙上有効な部分の幅 排煙上有効な部分の高さ	0.0mm	窓	情報統制専用 ファミリ	排煙有効幅 排煙有効高 排煙開口比率	0.0mm		壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	開口部は窓オブジェクト/壁オブジェクト/ドアオブジェクトと、複数の種類で作成されるケースがある。			
698	壁	壁	窓 壁 窓 壁	窓 壁 窓 壁	壁	窓 壁 窓 壁	窓 壁 窓 壁	窓 壁 窓 壁	窓 壁 窓 壁	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画	壁 柱 防煙区画
699	ゾーン	面積	0.0㎡	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓	壁 窓 壁 窓

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

：設備との調整項目

注)・令第126条の第2項の規定を無く、
・排煙設備のうち、機械換気用自然排煙方式を除く。

NO.	I チェックリスト				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)							
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考
699			排煙口の位置	開口部	排煙口の位置と距離 (30m以下)	・排煙口の位置 (自然排煙) ・排煙口の位置 (機械排煙)	一般注釈					注釈				
700			排煙風道の配置	風道	排煙ダクトの経路		一般注釈									
701			排煙口に設ける手動開放装置の使用方法を表す位置	手動開放装置	手動開放装置である旨の表示とその位置 (高さ含む)		一般注釈					注釈				
702	令第5章第3節 排煙設備	各階平面図	排煙口の開口面積又は排煙機の位置	開口部、排煙機	排煙口の大きさ	・外倒し窓などの場合は、開放角度	窓	窓	排煙窓幅 排煙窓高さ	窓	窓	窓	窓	排煙窓幅 排煙窓高さ	窓	
703			法第34条第2項に規定する建築物又は各構内の床面積が1000平方メートルを超える地下部に設ける排煙設備の開口及び作動状態の監視を行うことができる中央管理室の位置	中央管理室	中央管理室の位置、その要件 (中央管理室が必要な場合)	・中央管理室が必要な条件かどうかの確認 ・非常用エレベーターを設置する場合 ・各構内の床面積が1000m ² を超える地下街の場合 ・中央管理室の位置 ・中央管理室が排煙設備の制御及び作動状態の監視を行える機能を有しているかの確認	一般注釈					注釈				
704			手動電源の位置	手動電源	手動電源の位置	・手動電源を必要とする排煙設備を設置する場合										
705			不燃性ガス消火設備又は粉末消火設備の位置	対象外												
706			給気口を設けた付室 (以下「給気室」といふ) 及び直通階段の位置	対象外												
707			給気口から給気室に通ずる建築物の部分に設ける開口部 (排煙口を除く) に設ける戸の構造	対象外												
708		床面積求積図	防火区画及び令第126条の第2項に規定する防煙区画による区画の面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	防火区画、防煙壁	防火区画、防煙区画における床面積の算定基準の確認	・防火区画及び令第126条の第2項に規定する防煙区画による区画の面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法 ・算式	エリア	エリア	面積	面積	面積	エリア	エリア	面積	面積	0.0m ²

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

NO.	B子ーム(Archicad)				C子ーム(Revit)				D子ーム(GLOBBE)				備考(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)
699	一般注釈				ホリラインなどで	一般注釈					該当なし				建具とは連動してないが、位置は目視にて確認
-											建具 建具 防煙区画				建具オブジェクトを構成する防煙区画オブジェクトには、区画種別「プロパティ」がある。その値は、例えば「引き違い、閉し、方格子」など、防煙区画種別「プロパティ」の各項目について、換気・排煙に閉じる開口部面積の面積比を指定する。換気・排煙に閉じる部分の面積の比率を設定できる。この設定は「LVS設定」コマンドで確認・変更できる。この設定を使っての、換気・排煙に閉じる開口部の面積の計算は、「開口面積計算」コマンドによって行える。
700	一般注釈										エレベータースペース				距離を示す注釈が、合計長さの情報を持っていないケースもある
701	一般注釈														高さ但凡例での記載をしているケースもある
702	一般注釈														開口部は窓オブジェクト/壁オブジェクトの両方で作成されるケースがある
一般注釈															外倒し窓等の種別は窓オブジェクトのタイプによって判別しているが、実際の開放角度は別途詳細図としている場合あり
703	一般注釈														建築物を構成する各オブジェクト(ハラベント等)は、断面図に作図されるため、高さを確認できる。
704															
705															
706															
707															
708	ゾーン	面積		00m ²	室ゾーンとはレイアウト	エリア	エリア	法チェックエリア名 面積	00m ²						空間オブジェクトの属性情報として保持

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

：設備との調整項目

注)・令第126条の二第2項の規定を除く。
・排煙設備のうち、機械換気併用自然排煙方式を除く。

NO.	1 チェックリスト				モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)			
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考
709			建築物の高さ等	建築物高さ	排煙告示の適用要件	建築物からの建築物高さか3mを超えるか空かを確認する	-	-	-	-	断面図を元に、該当箇所について目視で確認？	-	-	-	-	目視で確認
710			排煙口に設ける手動開放装置の位置	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
711	令第5章第3節 排煙設備	二面以上の断面図	排煙口及び当該排煙口に係る防煙区画部分に設けられた防煙壁の位置	排煙口、防煙壁	防煙壁の有効高さ	・防煙壁(下がり壁)と排煙口部高さの比較をし、有効高さとなっているかどうかを確認	-	-	-	-	※該当対象が多岐に渡るため、表現をまとめて要確認 ・Aチームの過去案件では、部材管理に注釈を付し、有効高さのみパラメータ値で表現	-	-	-	-	-
712			給気口の位置	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
713			給気口の開口面積及び給気室の開口部の開口面積	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
714			建築物が周囲の地面と接する各位置の高さ	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
715			地盤面算出するための算式	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
716			使用建築材料表	壁(土上、下地)	防煙壁の要件	・防煙壁の仕上げを確認(排煙告示により下地まで要求される場合も含む)	-	意匠壁	壁種別	WOO	-	部屋	部屋	下地、仕上げ	GB-R412.5ド ニルクロス	-
717			排煙口の構造	排煙口	排煙口の構造方法	・排煙口(煙で接する部分)は不燃材料で造ることを確認 ・令第126条の3第1項第二号、第三号、又はH12条、H12条、H438条第一号、八(告示第一号適用の場合)に適合することの確認。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認
718			排煙設備の構造詳細図	手動開放装置	手動開放装置の使用方法	・令第126条の3第1項第四号、第五号、又はH12条、H438条第一号、第二号(告示第一号適用の場合)に適合することの確認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認

法28条 採光・換気・排煙

NO.	B子ーム(Archicad)				C子ーム(Revit)				D子ーム(GLOOBE)				考察(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)
709					レベル					レベルで平均地盤高を算出し、視覚的にレベルを作成し寸法記入					断面図を示し、該当箇所について目録で確認することが現実的と考えられる。
710											壁 内装仕上				内装仕上オブジェクトには、[名称] [構造] [厚さ] の3つのプロパティを持つ層を任意の数設定できる。
711										排煙有効エリアをモデル化し、断面図では寸法記入で寸法記入	器具 建具	建具 建具区画			建具オブジェクトを構成する[建具区画]には、[区画種別] [フロア] [サイズ] が指定できる。[区画種別]は、「傾斜」や「ガリ」などを表現する。
712															
713															
714															
715															
716											壁 内装仕上				区画の位置はオブジェクトに属性情報を付与できる。一方、壁の厚さやその高さなどは、一部を有する垂直壁とみなすなど、複合的に判断される場合もあるため、一概にオブジェクトで対応出来るとは言えない。
717											器具 建具	建具 建具区画			壁が持つ属性情報で直接判断できるケースと、壁には壁厚を示す記号等のみで、別途詳細図で仕様を記載しているケースがある。
718															

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

法28条 採光・換気・排煙

注) 令第126条の二第2項の規定を除く。
・排煙設備のうち、機械換気併用自然排煙方式を除く。

：設備との調整項目

I チェックリスト	モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)							
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考
719	排煙設備の構造詳細図	排煙風道の構造	排煙風道の構造	排煙風道	排煙風道の構造方法	・令第126条の二第1項第2号、第七号、第九号、又はH12建告1436号第2号ホ(告示第2号適用の場合)に適合することの確認。	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認
720	排煙設備の構造詳細図	排煙設備の電気配線に用いる配線の種別	排煙設備の電気配線に用いる配線の種別	電源、制御配線	排煙設備の電気配線に用いる配線の構造方法	・電源及び制御配線(耐火ケーブル、耐熱ケーブルなどがS45条1828号に適合することの確認)	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認	-	-	-	-	別図面(特記仕様書など)で確認
721	排煙設備の構造詳細図	排煙設備の構造	給気室の構造	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
722	令第5章第3節 排煙設備	排煙機の空気を排出する能力を算定した際の計算書	排煙機の空気を排出する能力を算定した際の計算書	排煙機	排煙機の能力とその根拠	・排煙機の排煙風量算定の計算書を確認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	別図面を確認
723	令第5章第3節 排煙設備	排煙設備の材料表	排煙設備の電気配線の材料表	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
724-1	令第126条の二第2項第1号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	令第126条の二第2項第1号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	令第126条の二第2項第1号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
724-2	令第126条の二第2項第2号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	令第126条の二第2項第2号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	令第126条の二第2項第2号の指定事項に適合することの確認に必要な図書	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

法28条 採光・換気・排煙

NO.	Bチーム (Archicad)					Cチーム (Revit)					Dチーム (GLOBE)					考察(参考)
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	
719	—															
720	—															
721																
722	—															
723																
723-1																
723-2																

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

112条 防火区画 (意匠関係)

注)・火災時煙阻防止建築物、避難時煙阻防止建築物、煙防防止建築物及び基準煙防建築物を除く(全般)
 ・防火上主要な間仕切壁に関する面積区画線図を除く
 ・戸建て住宅、長屋を除く(壁穴区画線図)
 ・特定空間を除く

：設備との調整項目

NO.	1 チェックリスト				モデルビューに必要なものの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)				
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	
761			耐火壁及び非耐火壁の位置	壁(内装仕上、下地含む)	耐火壁及び非耐火壁の位置、及び主要構造部に該当する間仕切壁等の位置	・外壁(耐力壁で延焼のおそれのある部分と当該部分以外の部分) ・外壁(非耐力壁で延焼のおそれのある部分と当該部分以外の部分) ・間仕切壁(耐力壁) ・間仕切壁(非耐力壁)	壁	窓庇壁	機能(外部/内装) 耐火(耐力/非耐力)	外部 はい/いいえ	パラメータのチェックの有無を判別	壁	標準壁	構造用途	はい/いいえ 支持せん断構造的組み合わせ/非耐力	パラメータのチェックの有無を判別 折り返しは2D加工	
762			スプリンクラー設備等	自動式スプリンクラー設備等	自動式スプリンクラー設備等を設けた範囲	・自動式スプリンクラー設備 ・当該部分の床面積	部屋	部屋	スプリンクラー面積	はい/いいえ	パラメータのチェックの有無を判別 スプリンクラーの位置を確定し、位置を確認 壁の面積は部屋タテで表示させ、耐火壁計算にて合計値を算出	部屋	部屋	消火設備	ガス消火/スプリンクラー/屋内消火/泡消火/補助放水栓	フルダウンから選択	
763	令第112条(防火区画)第1項各欄平面図にて		スプリンクラー設備等消火設備の配置	開口部	防火設備の位置及び種類、戸の位置	・特定防火設備、防火設備、戸の位置 ・当該開口部における令第112条第9項第1号及び第2号の別	ドア	ドア(防火戸) ドア(シャッター)	防火性能	特定防火設備、等	パラメータの値を利用したハイライトにより、凡例を加筆しなくともビューで判断可能 ※窓、機械設備カテゴリー共通	部屋	ドア	ドアシャッター	はい/いいえ	チェックの有無、またはフルダウンから選択	
				窓	窓(ガラス)		窓	窓(ガラス)			運窓やカーテンウォールの場合、窓オブジェクトでなく窓(カーテンウォール)オブジェクトで作成するケースあり	窓	窓(ガラス)	法定品	はい/いいえ		
				壁	カーテンウォール ※Revitの用語として		壁	カーテンウォール ※Revitの用語として				壁	カーテンウォール	法定品	はい/いいえ		
				機械設備	機械設備(EVドア)		機械設備	機械設備(EVドア)			EV扉をドアオブジェクトで作成するケースもあり	※ドアに含む				不防特	

112条 防火区画 (意匠関係)

注)・火災時物理的防止建築物、避難物理的防止建築物、延焼防止建築物及び避難建築物を除く(全般)
 ・防火上主要な間仕切り壁に関する面積区画線図を除く
 ・特定空間を除く
 ・一戸建て住宅、長屋を除く(堅穴区画線図)
 ・設備との調整項目

NO.	1 チェックリスト			モデルビューに必要なもの内容及びその条件			A子ーム (Revit)						B子ーム (Revit)					
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考		
784	令第112条(防火区画)第1項から第18項まで	各階平面図	防火区画の位置及び面積	壁(内装仕上、下地含む) ※No788に記載 開口部 ※No783に 記載 スハントレール ※ No788に記載	防火区画(面積、高層、壁 穴、異種用途)の位置、防 火区画面積(特定面積、防 火区画のただし書適用の 導台の措置、スハントレール を記載)	・防火区画(面積、高層、壁 穴、異種用途)の位置 ・防火区画(面積、高層、壁 穴、異種用途)の面積 ・防火区画のただし書適用の ・外壁部分(スハントレール部 分の開口部も含む、以下同じ)の位置	壁	意匠壁	区画分類	面積区画、等	パラメータを利用 し、フィルタ機能 で着色表示	壁	標準壁	防火性能タイプ 名	114区画 異種用途 面積区画	フルダウンとク イブ名で判別		
785			強化天井の位置	対象外	—	—												
786			削除	削除	削除	—												
787			令第112条第18項に規定する区画に用いる壁の構造	壁(内装仕上、下地含む)	No.781に含まれる	No.781に含まれる												
788	令第112条(防火区画)第1項から第18項まで	二面以上の断面図	防火区画の位置及び構造	床 外壁部分	層間区画、及びスハントレ ールの位置と構造(明示す べき事項は外壁スハント レールとされているが、審査 において外壁部分とそれ に接する床(層間区画)や 外壁部分に代わる壁も含 まれるとしている)	・外壁部分、床及び庇の位置 ・外壁部分、床及び庇の構造	床	意匠床	タイプ名	RC150、等	オブジェクト別や パラメータを利用 し、フィルタ機能 で着色表示(この場 合は着色フィルタ でタイプ名を識別 することによって判別可 能)	床	床	防火部位	RC等			
789	令第112条第18項に規定する区画に用いる床の構造			床	No.788に含まれる	No.788に含まれる												

112条 防火区画 (意匠関係)

NO.	Bチーム (Archicad)				Oチーム (Revit)				Dチーム (GLOBE)				考察(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)
784	壁	区画(プロバネ)	防火区画/防火区画(壁穴)/防火区画(真鍮用透間)/防煙区画/身壁/防火上主梁/間仕切壁/小煙幕隔	防火/防煙区画の面数は各壁のゾーンと仕切りのゾーンを記す	壁	意匠壁	区画情報	1火 壁穴区画	防火区画	壁	防火区画	防火区画	防火区画	防火区画	防火区画オブジェクトの[種類]プロパティは選択式の選択は「面積」「高層」「壁穴」「真鍮用透間」のいずれかを選択する。防火区画の種類は防火区画の柱・梁・建具・バーティションの法的区画種類プロパティによって、各オブジェクトを色分けして表示できる。防火区画オブジェクトの面積は、その平面形状から自動算定される。
785	ゾーン				エリア	エリア	法テックエリア名/面積エリア	区画1 0.0m	ツールにて自動入れ込み						エリアの他に、塗り潰し領域というオブジェクトで作成しているケースもある。
786															
787															
788	線ツール				床	意匠床	区画情報	1火 面積区画			スラブ	スラブ	スラブ	スラブ	スラブオブジェクトには、[名称]の厚さの3つのフロアチャートを持つ層を任意の数の設定できる。 スラブオブジェクトには、[名称]の厚さの3つのフロアチャートを持つ層を任意の数の設定できる。 スラブオブジェクトには、[名称]の厚さの3つのフロアチャートを持つ層を任意の数の設定できる。
789	線ツール				梁	梁			梁は無						断面図上に2次元加筆で表現しているケースもある

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

112条 防火区画 (意匠関係)

注)・火災時阻害防止建築物、避難時間短縮防止建築物、延焼防止建築物及び基準越え防止建築物を除く(全般)
・防火区画の仕切りに関する面積区画線図を除く

・一戸建て住宅、長屋を除く(野六区画線図)
・特定空間を除く

・設備との調整項目

NO.	①法令など ②図書の種類	1 チェックリスト			モデルビューに必要なもの内容及びその条件						A子ーム (Revit)						B子ーム (Revit)											
		③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考								
																					カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)
790	令第119条(防火区画)第1項から第18項まで	防火構造等 主要構造部及び防火設備の構造、材料の種別及び寸法	主要構造部 開口部	防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等	防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等 防火区画に用いられる主要構造部の防火構造等	壁	意匠壁	壁種別	W03	壁種別に依りてスリット機能で色 スリット機能で色 壁種別として仕 アサインで線分を 生成 No.783に含む																		
790-1	令第112条第9項の図	令第112条第9項の規定に適合することを確認する必要事項	対象外	-	-	線分 文字注釈	詳細線分 文字	-	-	2Dドキュメント(耐 火リストなど)																		
790-2	令第112条第4項の図	令第112条第4項の規定に適合することを確認する必要事項	対象外	-	-																							
791	令第112条第15項の図	令第112条第15項の規定に適合することを確認する必要事項	未確定	未確定	未確定																							
791-1	令第112条第18項の図	令第112条第18項の規定に適合することを確認する必要事項	防火設備	防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造	防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造	部屋	部屋	基準法上用途 自動火災報知 設備	基準法上用途 自動火災報知 設備	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別
792	令第119条第19項第1号	防火設備の位置及び寸法	開口部	防火設備の位置及び寸法	防火設備の位置及び寸法																							
793	令第119条第19項第1号	防火設備の位置及び寸法	開口部	防火設備の位置及び寸法	防火設備の位置及び寸法																							
794	令第119条第19項第2号	防火設備の位置及び寸法	開口部	防火設備の位置及び寸法	防火設備の位置及び寸法																							
795	令第119条第19項第2号	防火設備の位置及び寸法	開口部	防火設備の位置及び寸法	防火設備の位置及び寸法																							
797	令第112条第19項第2号	防火設備の位置及び寸法	対象外	防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造	防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造 防火設備の位置と構造	部屋	部屋	基準法上用途 自動火災報知 設備	基準法上用途 自動火災報知 設備	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別	部屋	部屋	壁 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別 壁種別						

112条 防火区画(意匠関係)

NO.	Bチーム (Archicad)			Oチーム (Revit)			Dチーム (GLOBE)			備考(参考)	
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)		備考
790	ローン		仕上表: 認定番号 (フロアタイプ)		壁情報として入力		壁	壁 意匠壁			
790-1					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
790-2					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
791					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
791-1					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
792					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
793					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
794					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
795					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
796					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			
797					壁 意匠壁		壁	壁 意匠壁			

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

114条 防火上主要な間仕切り壁

：設備との調整項目

注)・自動式スプリンクラー設備等の緩和、強化天井の緩和を除く
・木造小規模な隔壁を除く
・防火避難経路等の場合は2018(日本建築学会会報)を参考

NO.	1 チェックリスト				モデルビューに必要なものの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)			
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考
805		確認申請書	用途、建築面積など		確認申請書	審査内容の記載は省略										
806		削除														
807		削除														
808			界壁又は防火上主要な間仕切り壁の位置	壁	住戸間の界壁又は防火上主要な間仕切り壁の位置	・界壁又は防火上主要な間仕切り壁の位置	壁	意匠壁	114条区分			壁	意匠壁	114条区分		ブルダウンタイプ名で判別
809			強化天井の位置	対象外												
810			令第114条第1項又は第2項の規定に適合することの確認に必要な事項	対象外 (一部に他の明記を要する)												
811	令第114条(建築基準法)及び防火区画等に関する規定		界壁、防火上主要な間仕切り壁又は隔壁を貫通する風道に設ける防火設備の位置	ダクト ダクト付風品・器具 (制気口)	ダクト経路、及びダンパー種別	【風道(ダクト)の配置確認】 ・防火区画貫通位置						ダクト ダクト継手 ダクト継手 制気口 ダクト付風品	ダクト ダクト継手 丸型ダクト 丸型ダクト ユニバーサル形吹出口等 ダンパー角型 ダンパー丸形	種別(風道環境)特記 呼称 呼称 呼称 呼称	防火 ユニバーサル 吹出口等 VHS等 防火ダンパー FD等	
812			給水管、配電管その他の管と界壁、防火上主要な間仕切り壁又は隔壁との隙間を埋める材料の種類	対象外												
813			建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	対象外												
814			床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	面積	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式										
815			小規模の構造	対象外												
816			界壁、防火上主要な間仕切り壁又は隔壁の位置	壁	界壁又は防火上主要な間仕切り壁の位置	・界壁又は防火上主要な間仕切り壁の位置	壁	意匠壁	Wq3			壁	標準壁	114条区分 風道用途 (防壁) 面積区分		ブルダウンタイプ名で判別
817			二面以上の断面図	ダクト ダクト付風品・器具 (制気口)	ダクト経路、及びダンパー種別	【風道(ダクト)の配置確認】 ・防火区画貫通位置										
818			給水管、配電管その他の管と界壁、防火上主要な間仕切り壁又は隔壁との隙間を埋める材料の種類	ダクト	ダクトの防火区画貫通部の寸法及び算式	【防火区画と防火設備の隙間を埋める材料の確認】 ・不燃材(ロックワール等)										

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

114条 防火上主要な間仕切壁

NO.	Bチーム (Archicad)					Oチーム (Revit)					Dチーム (GLOOBE)					考察(参考)
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	
805																
806																
807																
808	壁	区画	界壁・小屋裏隔壁			壁	意匠壁	区画情報	1F 防火上主要な間仕切壁 114条区画		スペース 壁 パーティション	スペース 壁 パーティション	スペース 平面形状 名称: 事務室 形態: 内部居室 用途: 一般執務スペース 法的区画種別: 防火上主要な間仕切等 ハイパーアイ 法的区画種別: 防火上主要な間仕切等		スペースオブジェクトの面積は、その平面形状から自動算定される。	壁オブジェクトに属性情報として保持可能
809	-		エリア	エリアタイプ 面積(エリア)		エリア	エリア	エリアタイプ 面積(エリア)	店舗エリア 00㎡							継続議論が必要
810																
811																
812																
813																
814	ゾーン	面積	00㎡	室ゾーンとはし 1Fを分けて ゾーン範囲から 取得した面積値		エリア	エリア	面積(エリア)	00㎡		スペース 連帯114条区画	スペース 連帯114条区画	スペース 名称: 廊下 形態: 内部非居室 用途: 廊下 法的区画種別: 連帯114条区画 名称: 2		「領域面積集積図コマンド」で、114区画を対象とした求積図を自動作成できる。「領域面積集積図コマンド」で作図した114条区画の面積、算式を 作成できる。	システム計算された面積は属性情報として保持している。
815																
816	壁	区画	防火上主要な間			壁	意匠壁	壁 仕上 外側 下地 外側 構造体 内側 壁 仕上 内側	A — X0 — A		壁 パーティション	壁 パーティション	壁 上階高: 1F SL+0.0mm 下階高: 2F 梁下+0.0mm 法的区画種別: 防火上主要な間仕切等 ハイパーアイ 上階高: 1F SL+0.0mm 下階高: 2F 梁下+0.0mm 法的区画種別: 防火上主要な間仕切等			オブジェクトの形状情報としては、小屋裏(スラブリ)までとしてモデリングしていないケースもあ
817																
818																

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【意匠】

1114条 防火上主要な間仕切壁

注)・自動式スプリンクラー設備等の緩和、強化天井の緩和を除く
・木造小規模な構造を除く
・防火区画規定の構造2D16(日本建築学会)を参考

設備との調整項目

NO.	1 チェックリスト			モデルビューに必要なもの内容及びその条件				Aチーム (Revit)				Bチーム (Revit)					
	①法令など	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	
819	防火構造等の構造詳細図	防火構造等の構造詳細図	界壁、防火上主要な間仕切壁又は隔壁の断面及び防火設備の構造、材料の種類及び寸法	壁 防火設備	界壁又は防火上主要な間仕切壁の断面構造、材料の種類及び寸法など。 防火設備の構造、防火タフタ(一等がS48建を2665号に定める構造で、H12号(370号)により取り除かれていることを明示	・界壁又は防火上主要な間仕切壁の防火構造等の断面構造(材料の種類、寸法など) ・防火設備の構造、防火タフタ(一等がS48建を2665号に定める構造で、H12号(370号)により取り除かれていることを明示		詳細線分	-	2Dドキュメント(線分)			詳細線分	-	2Dドキュメント(耐火リストなど)		
819-1	令第114条(建築物の界壁、間仕切壁及び壁)		令第114条第1項に規定する防火上主要な間仕切壁、間仕切壁、壁、防火設備の構造、材料の種類及び寸法	対象外	-	-											
819-2	令第114条第2項の構造		令第114条第2項に規定する防火上主要な間仕切壁、間仕切壁、壁、防火設備の構造、材料の種類及び寸法	対象外	-	-											
820	令第114条第5項の構造		令第114条第5項に規定する防火上主要な間仕切壁、間仕切壁、壁、防火設備の構造、材料の種類及び寸法	対象外	-	-											

2. 「一般建築」検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

114条 防火上主要な間仕切壁

NO.	Bチーム (Archicad)				Oチーム (Revit)				Dチーム (GLOOBE)				考察(参考)		
	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 ※参考値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)
819	ゾーン	仕上表; 仕上 中・下池・認定 番号	EP デッキ表し NM-885			線分	詳細線分	-	-		壁 内壁仕上	壁 内壁仕上	壁 内壁仕上	壁 内壁仕上	内壁上オブジェクトには、名称「間仕切壁」厚さの3つのプロパティを持つ壁を任意の壁設定で定める。 2Dドキュメントなどで表記している。
819-1															
819-2															
820															

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造（鉄筋コンクリート造）

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査に当たり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト				代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なものの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項	部位		内容	条件			
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	各階床伏図 小屋伏図 柱、はり、床、壁（耐力壁、耐力壁以外の壁）の位置の記載 構造スリットの位置の記載 開口部の位置の記載	各階床伏ビュー 屋根伏ビュー	屋根版	符号位置 高さ	・屋根の部分毎に伏図表現ができる。	○		
						・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。			
						区分①: 部材符号	○		
						位置(部材配置)	○		
						外形形状	○		
						開口部位置	○		
						形状	○		
						区分②: 開口部寸法	○		
						位置(レベル)	○		
						区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。	
屋根版敷込方向(一方向版の場合)	△	2D加筆をしている場合がある。							
区分④: 同一部材の色別表示	○								
積載荷重の色別表示	△	積載荷重の情報をスラブの属性として与えるか、意匠の部屋(エリア)に床荷重を与えるかなど入力方法が統一されていない。また現状入れていない場合が多い。							
「指定することで表現されるもの」									
部材厚さ	○								
スパンの寸法	○								
床版	符号位置 高さ	・各階の床の部分毎に伏図表現ができる。	○						
		・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		区分①: 部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		外形形状	○						
		開口部位置	○						
		形状	○						
		区分②: 開口部寸法	○						
		位置(レベル)	○						
		区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
屋根版敷込方向(一方向版の場合)	△	2D加筆をしている場合がある。							
区分④: 同一部材の色別表示	○								
積載荷重の色別表示	△	2D加筆をしている場合がある。							
「指定することで表現されるもの」									
部材厚さ	○								
スパンの寸法	○								
大はり	符号位置 断面寸法	・各階の屋根又は床の部分毎に伏図表現ができる。	○						
		・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		区分①: 部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		外形形状	○						
		開口部位置	○						
		形状	○						
		区分②: 位置(レベル)	○						
		区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
		同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
同一レベルの色分け表示	△	梁の始端と終端でレベルが異なる場合など、色分けが行うことが困難な場合がある。							
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。							
スパンの寸法	○								
小はり	符号位置 断面寸法	・各階の屋根又は床の部分毎に伏図表現ができる。	○						
		・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		区分①: 部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		外形形状	○						
		開口部位置	○						
		形状	○						
		区分②: 位置(レベル)	○						
		区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
		同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
同一レベルの色分け表示	△	左端と右端でレベルが異なる場合があり。							
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。							
スパンの寸法	○								
柱	符号位置 断面寸法	・各階の部分毎に伏図表現ができる。	○						
		・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		区分①: 部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		外形形状	○						
		開口部位置	○						
		形状	○						
		区分②: 位置(基準からの寸法)	○						
		区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
		同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。							

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄筋コンクリート造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査にあたり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件		
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	各階床伏図 小屋伏図 柱、はり、床、壁(耐力壁、耐力壁以外の壁)の位置の記載 構造スリットの位置の記載 開口部の位置の記載	各階床伏ビュー 屋根伏ビュー	耐力壁	符号 位置 高さ 開口部位置 構造スリット (鉛直)位置	*各階の部分毎に伏図表現ができる。	○	
						*伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
						区分①: 部材符号	○	
						位置(部材配置)	○	
						外形形状	○	
						開口部位置	○	
						区分②:		
						区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。
						同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。
						「指定することで表現されるもの」		
						区分④: 部材厚さ	○	
						開口部形状	○	
	寸法	○						
	非耐力壁	符号 位置 高さ 開口部位置 構造スリット (鉛直)位置	*各階の部分毎に伏図表現ができる。	○				
	*伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
	区分①: 部材符号	○						
	位置(部材配置)	○						
	外形形状	○						
	開口部位置	○						
	構造スリット位置	○						
	区分②:							
	区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
	構造スリット寸法	○						
	「指定することで表現されるもの」							
区分④: 部材寸法(袖壁)	○							
部材厚さ	○							
二面以上の軸組図	柱、はり、壁(耐力壁、耐力壁以外の壁)の位置の記載 耐力壁の開口部の位置、形状及び寸法の記載 耐力壁以外の壁の開口部の位置の記載 構造スリットの位置の記載 コンクリート強度の記載	軸組ビュー	(屋根版)	位置	*各通り毎に軸組図表現ができる。	△	軸組図に屋根版を表現しない場合あり。	
*軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。								
区分①: 位置(部材配置)					△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。		
外形形状					△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。		
区分②: 位置(レベル)					△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。		
区分③: 特記事項の記載					×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。		
区分④:								
(床版)					位置	*各通り毎に軸組図表現ができる。	△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。
*軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。								
区分①: 位置(部材配置)						△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。	
外形形状						△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。	
区分②: 位置(レベル)						△	軸組図にスラブ表現をしない場合あり。	
区分③: 特記事項の記載			×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。				
区分④:								
大はり			符号 位置 断面寸法	*各通り毎に軸組図表現ができる。		○		
*軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。								
部材符号				○				
区分①: 位置(部材配置)				○				
外形形状				○				
区分②: 位置(レベル)				○				
区分③: 特記事項の記載				×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。			
同一部材の色別表示				△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。			
コンクリート強度の色別表示				△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。			
「指定することで表現されるもの」								
部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加算か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。						
スパンの寸法	○							
小はり	位置	*各通り毎に軸組図表現ができる。	○					
*軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。								
区分①: 位置(部材配置)		○						
外形形状		○						
区分②: 位置(レベル)		○						
区分③: 特記事項の記載		×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
区分④:								
柱		符号 位置 断面寸法	*各通り毎に軸組図表現ができる。	○				
*軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。								
部材符号			○					
区分①: 位置(部材配置)			○					
外形形状			○					
区分②:								
位置(基準からの寸法)	○							
区分③: 特記事項の記載	×		注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
同一部材の色別表示	△		ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
コンクリート強度の色別表示	△		出来なくはないが、入力ルールが各社で異なる。					
「指定することで表現されるもの」								
部材断面寸法	×		該当図での確認は2D加算か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。					
スパンの寸法	○							

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造（鉄筋コンクリート造）

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査にあたり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件		
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	二面以上の軸組図 柱、はり、壁(耐力壁、耐力壁以外の壁)の位置の記載 耐力壁の開口部の位置、形状及び寸法の記載 耐力壁以外の壁の開口部の位置の記載 構造スリットの位置の記載 コンクリート強度の記載	軸組ビュー	耐力壁	符号 位置 高さ 開口部位置・形状 開口部位置・形状・寸法	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○	
						・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。		
						部材符号	○	
						位置(部材配置)	○	
						区分①: 外形形状	○	
						開口部位置	○	
						形状	○	
						区分②: 開口部寸法	○	
						区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。
						同一部材の色別表示	△	ビュー毎で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。
						区分④: 「指定することで表現されるもの」		
						部材厚さ	○	
				非耐力壁	符号 位置 高さ 開口部位置・形状 構造スリット(鉛直・水平)位置	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○	
						・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。		
						部材符号	○	
						位置(部材配置)	○	
						区分①: 外形形状	○	
						開口部位置	○	
						形状	○	
						構造スリット位置	○	
						区分②: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。
						構造スリット寸法	×	表現の仕方が各社異なる。
						「指定することで表現されるもの」		
						部材寸法(垂壁)	○	
部材厚さ	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。						
部材寸法(腰壁)	○							
部材厚さ	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。						
部材寸法(軸壁)	○							
部材厚さ	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。						

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄骨造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査に当たり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト				代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なものの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項	部位		内容	条件			
法第20条	建築基準法施行令第3章第5節	各階床伏図 小屋伏図	柱、はり、床、斜材、横補剛材の位置の記載 継手の位置の記載 開口部の位置の記載	各階床伏ビュー 屋根伏ビュー	屋根版	符号位置厚さ	・屋根の部分毎に伏図表現ができる。	○	
							・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
							区分①: 部材符号	○	
							位置(部材配置)	○	
							区分①: 外形形状	○	
							開口部位置	○	
							形状	○	
							区分②: 開口部寸法	○	
							位置(レベル)	○	
							区分③: 特記事項の記載	×	
							屋根版敷込方向(一方向版の場合)	○	
							区分④: 「指定することで表現されるもの」		
							同一部材の色別表示	○	
							積載荷重の色別表示	△	
							構造諸元(合成スラブ版・鋼板屋根版等)	○	
					部材厚さ	○			
					スパンの寸法	○			
					床版	符号位置厚さ	・各階の床の部分毎に伏図表現ができる。	○	
							・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
							区分①: 部材符号	○	
							位置(部材配置)	○	
							区分①: 外形形状	○	
							開口部位置	○	
							形状	○	
							区分②: 開口部寸法	○	
							位置(レベル)	○	
							区分③: 特記事項の記載	×	
							床版敷込方向(一方向版の場合)	△	
							同一部材の色別表示	○	
							積載荷重の色別表示	△	
							構造諸元(合成スラブ版等)	○	
							部材厚さ	○	
					スパンの寸法	○			
					大はり	符号位置断面寸法継手位置梁端部接合仕様(仕口)	・各階の屋根又は床の部分毎に伏図表現ができる。	○	
							・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
							区分①: 部材符号	○	
							位置(部材配置)	○	
							区分①: 外形形状	○	
							継手位置	○	
							梁端部接合方法(剛接・ピン接)	○	
区分②: 位置(レベル)	○								
継手位置(通り芯からの寸法)	○								
区分③: 特記事項の記載	×								
同一部材の色別表示	△								
同一レベルの色別表示	△								
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×								
スパンの寸法	○								
小はり(横補剛材含む。)	符号位置断面寸法継手位置梁端部接合仕様(仕口)横補剛材配置寸法	・各階の屋根又は床の部分毎に伏図表現ができる。	○						
		・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		区分①: 部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		区分①: 外形形状	○						
		継手位置	○						
		梁端部接合方法(剛接・ピン接)	○						
		横補剛材の位置(部材配置)	○						
		区分②: 位置(レベル)	○						
		継手位置(通り芯からの寸法)	○						
		横補剛材の配置寸法	○						
		区分③: 特記事項の記載	×						
		同一部材の色別表示	△						
		同一レベルの色別表示	△						
		区分④: 「指定することで表現されるもの」							
部材断面寸法	×								
スパンの寸法	○								

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄骨造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査に当たり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なものの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)	
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件			
法第20条	建築基準法施行令第3章第5節	各階床伏図 小屋伏図	柱、はり、床、斜材、横補剛材の位置の記載 継手の位置の記載 開口部の位置の記載	各階床伏ビュー 屋根伏ビュー	柱 (間柱含む。)	符号位置 断面寸法	・各階の部分毎に伏図表現ができる。	○	
							・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。		
							区分①: 部材符号	○	
							位置(部材配置)	○	
							外形形状	○	
							区分②:		
							位置(基準からの寸法)	○	
							区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。
							同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。
							区分④: 「指定することで表現されるもの」		
							部材断面寸法	×	
							斜材	符号位置 断面寸法	・各階の部分毎に伏図表現ができる。
	・伏図表現に以下の区分による内容が表現される。								
	区分①: 部材符号	○							
	位置(部材配置)	○							
	外形形状	○							
	区分②:								
	区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。						
	同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。						
	区分④: 「指定することで表現されるもの」								
	部材断面寸法	×							
	二面以上の軸組図	柱、はり、斜材の位置の記載 継手の位置の記載	軸組ビュー	(屋根版)	位置	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○	軸組図にスラブを表現しない場合がある。	
						・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。			
						区分①: 位置(部材配置)	△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。	
外形形状						△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。		
区分②: 位置(レベル)						△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。		
区分③: 特記事項の記載						×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。		
区分④:									
(床版)						位置	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○	軸組図にスラブを表現しない場合がある。
							・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。		
							区分①: 位置(部材配置)	△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。
							外形形状	△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。
							区分②: 位置(レベル)	△	軸組図にスラブを表現しない場合がある。
	区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。						
	区分④:								
	大はり	符号位置 断面寸法 継手位置 梁端部接合 仕様(仕口)	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○					
			・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。						
			区分①: 部材符号	○					
			位置(部材配置)	○					
			外形形状	○					
継手位置			○						
梁端部接合方法(剛接・ピン接)			○						
位置(レベル)			○						
区分②: 継手位置(基準からの寸法)			○						
区分③: 特記事項の記載			×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
同一部材の色別表示			△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
鋼材種別の色別表示			△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加筆か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。							
スパンの寸法	○								
(小はり (耐風梁含む。))	位置	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○						
		・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。							
		部材符号	○						
		位置(部材配置)	○						
		区分①: 外形形状	○						
		継手位置	○						
		梁端部接合方法(剛接・ピン接)	○						
		位置(レベル)	○						
		区分②: 継手位置(基準からの寸法)	○						
		区分③: 特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
		区分④:							
		柱 (間柱含む。)	符号位置 断面寸法 継手位置 柱端部接合 仕様(仕口)	・各通り毎に軸組図表現ができる。	○				
・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。									
部材符号	○								
位置(部材配置)	○								
区分①: 外形形状	○								
継手位置	○								
柱端部接合方法(剛接、ピン接)	○								
継手位置(基準からの寸法)	○								
位置(基準からの寸法)	○								
区分③: 特記事項の記載	×			注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
同一部材の色別表示	△			ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
鋼材種別の色別表示	△			ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。					
区分④: 「指定することで表現されるもの」									
部材断面寸法	×								
スパンの寸法	○								

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄骨造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査にあたり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なものの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件		
法第20条	建築基準法施行令第3章第5節	二面以上の軸組図	軸組ビュー	斜材	符号位置断面寸法継手位置斜材端部接合仕様(仕口)	・各通り毎に軸組図表現ができる。 ・軸組図表現に以下の区分による内容が表現される。	○	
		柱、はり、斜材の位置の記載継手の位置の記載				部材符号	○	
						位置(部材配置)	○	
					区分①:	外形形状	○	
						継手位置	○	
						斜材端部接合方法(剛接、ピン接)	○	
					区分②:	部材断面寸法	×	
						継手位置(基準からの寸法)	○	
					区分③:	特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。
						同一部材の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。
						鋼材種別の色別表示	△	ビュー側で判別し、自動的に表示させる対応が望まれる。
					区分④:	「指定することで表現されるもの」		
						部材断面寸法	×	該当図での確認は2D加算か否かの確認とし、寸法値は該当オブジェクトの断面表の属性情報との確認する方法が考えられる。
						スパンの寸法	○	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄筋コンクリート造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①: モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②: モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③: モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④: 構造計算書の審査に当たり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)							
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件									
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、耐力壁の寸法、構造方法、材料種別の記載 鉄筋の配置、径、継手、定着の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載	柱リストビュー	柱	符号断面寸法 主筋径・本数・配置 帯筋径・間隔 材料種別	・各階の符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。 ・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。	○							
						区分①:	部材寸法 断面寸法 鉄筋配置 主筋径と本数 帯筋径と間隔 柱梁接合部内帯筋と間隔 材料種別(鉄筋種類)	○ ○ ○ ○ ○ ×							
						区分②:	材料種別(コンクリート強度)	△	入力方法が統一されていない。						
						区分③:	鉄筋の継手	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。						
							鉄筋の定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。						
							補助筋(配置)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。						
							補助筋(径と本数)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。						
						補助筋(材料種別(鉄筋種類))	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。							
						特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。							
						区分④:									
						法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、耐力壁の寸法、構造方法、材料種別の記載 鉄筋の配置、径、継手、定着の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載	大はりリストビュー	大はり	符号断面寸法 主筋径・本数・配置 あばら筋径・間隔 材料種別	・各階の符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。 ・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。	○	
												区分①:	部材符号 断面寸法 鉄筋配置 主筋径と本数 カットオフ長さ あばら筋径と間隔 材料種別(鉄筋種類)	○ ○ ○ ○ ×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
区分②:	材料種別(コンクリート強度)	△	入力方法が統一されていない。												
区分③:	鉄筋の継ぎ手	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。												
	定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。												
	腹筋(配置)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。												
	腹筋(径と本数)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。												
腹筋(材料種別)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。													
特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。													
区分④:															
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、耐力壁の寸法、構造方法、材料種別の記載 鉄筋の配置、径、継手、定着の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載	小はりリストビュー	小はり							符号断面寸法 主筋径・本数・配置 あばら筋径・間隔 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。 ・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。	○	
												区分①:	部材符号 断面寸法 鉄筋配置 主筋径と本数 あばら筋径と間隔 材料種別(鉄筋種類)	○ ○ ○ ○ ○	
						区分②:									
						区分③:	鉄筋の継手・定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。						
							腹筋(配置)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。						
							腹筋(径と本数)	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。						
							腹筋(材料種別(鉄筋種類))	△	構造解析で検討しないため、現状情報が入力されていない場合もある。						
						材料種別(コンクリート強度)	×	入力方法が統一されていない。							
						特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。							
						区分④:									
						法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、耐力壁の寸法、構造方法、材料種別の記載 鉄筋の配置、径、継手、定着の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載	スラブリストビュー	床版 屋根版	符号 厚さ 鉄筋の径・間隔 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。 ・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。	△	
												区分①:	部材符号 部材厚さ 鉄筋配置 鉄筋径と間隔 材料種別(鉄筋種類)	○ ○ △ △ △	BIMモデル化していない場合がある。 各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
区分②:															
区分③:	開口補強筋(鉄筋径・本数)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。												
	開口補強筋(材料種別(鉄筋種類))	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。												
	鉄筋の継手・定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。												
	材料種別(コンクリート強度)	×	入力方法が統一されていない。												
特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。													
区分④:															

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄筋コンクリート造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査にあたり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト				代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)	
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項	部位		内容	条件				
法第20条	建築基準法施行令第3章第6節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、耐力壁の寸法、構造方法、材料種別の記載 鉄筋の配置、径、継手、定着の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載	壁リストビュー	耐力壁	符号 厚さ 鉄筋の径・間隔 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○		
							・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。			
							部材符号	○		
							部材厚さ	○		
							区分①:	鉄筋配置	△	BIMモデル化していない。
								鉄筋径と間隔	△	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
								材料種別(鉄筋種類)	△	入力方法が統一されていない。
							区分②:			
								開口補強筋(鉄筋径・本数)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
								開口補強筋(材料種別(鉄筋種類))	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
							区分③:	鉄筋の継手・定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
								材料種別(コンクリート強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
						特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。		
					区分④:					
					非耐力壁	符号 厚さ 鉄筋の径・間隔 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○		
							・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。			
							部材符号	○		
							部材厚さ	○		
							区分①:	鉄筋配置	△	BIMモデル化していない。
								鉄筋径と間隔	△	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
								材料種別(鉄筋種類)	△	入力方法が統一されていない。
							区分②:			
								開口補強筋(鉄筋径・本数)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
								開口補強筋(材料種別(鉄筋種類))	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
区分③:	鉄筋の継手・定着の構造方法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。							
	材料種別(コンクリート強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。							
	特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。							
区分④:										

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄骨造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査にあたり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)					
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件							
法第20条	建築基準法施行令第3章第5節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、斜材の寸法、構造方法、材料種別の記載 継手・仕口・柱はり接合部の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載 圧縮材の有効細長比の記載	柱(間柱含む。)	符号 断面寸法 継手・仕口 柱脚の構造方法 材料種別	・各階の符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○						
						・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。							
						部材符号	○						
						区分①: 部材断面寸法 材料種別(鋼材種類)	○						
						区分②:							
						継手・仕口の構造方法							
						溶接	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						高力ボルト(ボルト)の 径と本数	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						高力ボルト(ボルト)の 配置	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						高力ボルト(ボルト)の 材料種別(強度)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						プレートの 寸法	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						プレートの 材料種別(鋼材種類)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						柱脚の構造方法							
						ベースプレート寸法	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						ベースプレートの材料種別(鋼材種類)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						アンカーボルトの径と本数	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						アンカーボルトの配置	△	データの持たせ方が各社異なる。					
						アンカーボルトの材料種別(強度)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						アンカーボルトの定着長さ	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						区分③: 礎柱の構造方法							
						断面寸法	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						鉄筋配置	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						主筋径と本数	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						帯筋径と間隔	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						材料種別(鉄筋種類)	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						材料種別(コンクリート強度)	△	会社によってモデリングルールが異なる。					
						柱はり接合部の構造方法							
						ダイヤフラム寸法	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。					
						材料種別(鋼材種類)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。					
						スタッドボルトの							
						径・本数・長さ	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。					
						配置	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。					
						材料種別(強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。					
						有効細長比	×	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。					
						特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。					
						区分④: 「指定することで表現されるもの」							
						柱脚回転剛性	×	解析の条件であり、入力しない。					
						大はりリストビュー	大はり	符号 断面寸法 継手・仕口 材料種別	大はり	符号 断面寸法 継手・仕口 材料種別	・各階の符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○	
											・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。		
											部材符号	○	
											区分①: 部材断面寸法 材料種別(鋼材種類)	○	
											区分②:		
											継手・仕口の構造方法		
											溶接	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。
											高力ボルト(ボルト)の径と本数	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。
											高力ボルト(ボルト)の配置	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。
											高力ボルト(ボルト)の材料種別(強度)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。
プレートの寸法	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。											
プレートの材料種別(鋼材種類)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。											
スタッドボルトの径と長さ・本数	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。											
スタッドボルトの配置	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。											
スタッドボルトの材料種別(強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。											
特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。											

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【構造】

建築物の構造(鉄骨造)

表中の条件欄の区分の位置付け 区分①：モデルビューの表現に必ず表現される内容 区分②：モデルビューの該当部分を指定することで表現される内容 区分③：モデルビューで表現されず、別途、表現される内容 区分④：構造計算書の審査に当たり、モデルビューで表現されることが望ましい内容	別表1
--	-----

法第20条の規定

審査内容の項目リスト			代替とするモデルビュー	モデルビューに必要なもの内容及びその条件			設計者におけるBIMモデルへの対応状況 ○ 対応している △ 対応可能 × できない、難しい等	考察(参考)	
①法令	②図書の種類	⑤明示、記載、審査事項		部位	内容	条件			
法第20条	建築基準法施行令第3章第5節	構造詳細図	杭、基礎、柱、はり、床、斜材の寸法、構造方法、材料種別の記載 接合部(継手・仕口・はり接合部)の寸法、構造方法、材料種別の記載 開口部の位置、形状、寸法の記載 圧縮材の有効細長比の記載	小はりリストビュー (横補剛材・耐風梁含む。)	符号 断面寸法 継手・仕口 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○		
						・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。			
						部材符号	○		
						区分①: 部材断面寸法	○		
						材料種別(鋼材種類)	○		
						区分②:			
						継手・仕口の構造方法			
						溶接	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の径と本数	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の配置	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の材料種別(強度)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						区分③: プレートの寸法	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						プレートの材料種別(鋼材種類)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						スタッドボルトの径と長さ・本数	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。	
						スタッドボルトの配置	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。	
				スタッドボルトの材料種別(強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。			
				特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。			
				スラブリストビュー	床版 屋根版	符号 厚さ 鉄筋の径・間隔 断面寸法 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。(合成スラブ、鋼板床)	△	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
							・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。		
							部材符号	○	
							部材厚さ	○	
							区分①: 鉄筋径と間隔	△	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
							材料種別(鉄筋種類)	△	現状特記事項として2D加筆している。
							区分②:		
							構造諸元(合成スラブ版・鋼板屋根版等)	△	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
							開口補強筋の径と本数	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
							開口補強筋の材料種別	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。
			区分③: 鉄筋の継手・定着の構造方法						
			材料種別(コンクリート強度)	×	各部への入力は手間がかかるため、要領図で表現する方が効率的である。				
			特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。				
			区分④:						
			斜材リストビュー	斜材	符号 断面寸法 継手・仕口 材料種別	・符号毎に表形式又は図形式で部材断面リスト表現ができる。	○		
						・部材断面リスト表現に以下の区分による内容が表現される。			
						部材符号	○		
						区分①: 部材断面寸法	○		
						材料種別(鋼材種類)	○		
						区分②:			
						継手・仕口の構造方法			
						溶接	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の径と本数	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の配置	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						高力ボルト(ボルト)の材料種別(強度)	△	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						区分③: プレートの寸法	△(架橋と取合う側は×)	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						プレートの材料種別(鋼材種類)	△(架橋と取合う側は×)	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						有効細長比(圧縮材の場合)	×	BIMデータに情報入力するかどうかは各社異なる。	
						特記事項の記載	×	注記によらずモデル情報から内容確認する方法とすべきという意見あり。	

(余白)

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

設計時の属性情報の入力条件

Aチーム	
使用ソフト名 (Ver)	意匠モデル：Revit2018,2019 設備モデル：Revit2018,2019(※別モデル相互リンク)
入力条件	設備は、意匠モデルと同じRevitを利用して、設備単独モデルを作成して意匠モデルと相互リンクを行った。 空間要素は、意匠モデルの部屋とは別に、設備モデルにスペースを配置して必要情報を入力した。意匠との整合性を確保するために、部屋名や床面積、天井高などは意匠モデルの属性情報を取得した。

Bチーム (Revit)	
使用ソフト名 (Ver)	意匠モデル：Revit2019 設備モデル：Revit2019(※意匠と同一モデル)
入力条件	設備は、意匠モデルと同じRevitモデルに入力した。 空間要素は、意匠モデルの部屋を利用し、設備として必要な属性情報を追加した。

Bチーム (Rebro)	
使用ソフト名 (Ver)	意匠モデル：Revit2019 設備モデル：Rebro2020
入力条件	設備作図時の建築情報は、意匠モデルから平面図をDWG形式、BIM (3D) 空間情報をIFC及びRebroリンク形式で書き出し、Rebroに読み込んで使用した。Rebroでの空間情報 (空間要素) はスペースとして取り込まれ、機器の系統情報等として使用した。 設備の計算はRevitの集計機能活用。Revitの空間要素 (部屋) を利用した。

Cチーム	
使用ソフト名 (Ver)	意匠モデル：Revit2019 設備モデル：CADWe'll Tfas11
入力条件	設備作図時にRevitよりDWG(2D)及びIFC(3D)を外部参照した。 部屋情報、階高、通り芯はIFCより取り込み機器の配置や作図に利用した。 部屋情報をTfas内で集計し換気計算時に利用した。 Tfasでは設備機器・器具・部材に任意の属性を割り当てることが可能だが、今回はデフォルトの属性を使用した。機番等コマンドを使用した後に付与されるパラメータについてはコマンドを使用した。

① 審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【設備】

令第112条 防火区画、及び令第114条 防火上主要な間仕切壁の貫通措置

注) ・課題別検証ツール「幹線の防火区画貫通処理」は、BIMデータ有効活用を鑑み、「幹線」を「風道(ダクト)」に置き換えて検討を行う。
 ・配管等に係る審査項目(防火区画と防火設備の隙間を埋める材料等)は検討対象外とする。
 ・令第112条「木造等の建築物の防火区画及び防火床」に係る審査項目は検討対象外とする。
 ・防火設備の確認知識照準動制御は、建築基準法の設置基準に合致する消防火災報知設備による場合が多い為、検討対象外とする。

審査内容の種類		審査内容の項目リスト			条件		Bチーム(Revit)									
①法令	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	審査内容	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Value)	備考	
令第112条第10項、第11項、第21項 法第36条	各階平面図	風道の配置	ダクト	ダクト経路	【風道(ダクト)の配置確認】 ●防火区画等貫通位置 ●2層以上にわたる系統 ●美理階等貫通位置 ●壁貫通部等の開口有無 ●スハントレール	ダクト ●制気口	角型ダクト 丸型ダクト	種別(固置埋込) 特記	防火 ユニバーサル吹出口等 VHS等	区画通過後の末端部は、詳細線分による2D加筆の場合もあり ※意匠モデルのスハントレールはオブジェクト化されていないことが多い	ダクト ダクトルート ダクト継手 制気口	角型ダクト 丸型ダクト ユニバーサル吹出口等	種別(固置埋込) 特記	防火 ユニバーサル吹出口等 VHS等	サンプルモデルでは防火ダクト固置埋込なし	
			防火区画等貫通位置	防火ダンパー	防火ダンパー付風道	【防火区画等貫通位置確認】 ●防火ダンパー(FD) ●防煙ダンパー(SD) ●防火防煙ダンパー(SFD) ●防火ダクト	ダクト ●制気口 ●ダクト付風道 品(ダンパー)	※上記参照 ※上記参照 ダンパー-角型 ダンパー-丸型	※上記参照	※上記参照 防火ダンパー、等 FD、等	区画通過後の末端部は、詳細線分による2D加筆の場合もあり ※意匠モデルのスハントレールはオブジェクト化されていないことが多い	ダクト ダクトルート ダクト継手 制気口 ダクト付風道	※上記参照	※上記参照	※上記参照	
		防火上主要な間仕切壁	防火区画	防火区画の開口	【風道(ダクト)の配置確認】 ●防火区画等貫通位置 ●2層以上にわたる系統 ●美理階等貫通位置 ●壁貫通部等の開口有無 ●スハントレール	ダクト ●制気口 ●ダクト付風道 品(ダンパー)	※上記参照	※上記参照	※上記参照	※上記参照 防火ダンパー、等 FD、等	区画通過後の末端部は、詳細線分による2D加筆の場合もあり ※意匠モデルのスハントレールはオブジェクト化されていないことが多い	ダクト ダクトルート ダクト継手 制気口	※上記参照	※上記参照	※上記参照	※上記参照
令第114条	各階平面図	防火上主要な間仕切壁の貫通措置	防火区画	防火区画の開口	【防火区画と防火設備の隙間を埋める材料の確認】 ●不燃材 【防火設備種別確認】 ●防火ダンパー(FD) ●防煙ダンパー(SD) ●防火防煙ダンパー(SFD) ●防火ダクト	ダクト ●制気口 ●ダクト付風道 品(ダンパー)	※上記参照	※上記参照	※上記参照 防火ダンパー、等 FD、等	区画通過後の末端部は、詳細線分による2D加筆の場合もあり	ダクト ダクトルート ダクト継手	※上記参照	※上記参照	※上記参照	※上記参照	※上記参照
			防火上主要な間仕切壁の貫通措置	防火区画	防火区画の開口	【風道(ダクト)の配置確認】 ●防火区画等貫通位置	ダクト ●制気口	※上記参照	※上記参照	※上記参照 防火ダンパー、等 FD、等	区画通過後の末端部は、詳細線分による2D加筆の場合もあり	ダクト ダクトルート ダクト継手	※上記参照	※上記参照	※上記参照	※上記参照

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【設備】

令第112条 防火区画、及び令第114条 防火上主要な間仕切壁の貫通措置

Bチーム (Rebro)		Cチーム (CADWe / ITFas)					考察 (参考)		
カテゴリ (業種グループ)	オブジェクト (業種名)	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト		属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)
ダクト ダクト/ダクト局部 ダクト ダクト/制気口	ダクト スハイルダクト スハイルダクト 手 レジスター等	用途・サイズとルー ト、 部材情報・ダクト形 状、 保温・スベース 等 名称 型番 部号	サイズ板厚等 MS型レジスター MS型 MS 等	部材 部材 部材 部品	部材 部材 部品 部品	ホダクト/保温 ホダクト/90°エル ボ 制気口/天井吹出口	※区画に關するパラ メータは子フォルド ーに存在しない 任意属性を追加し て対応 部品名称 ※制気口に符号関係 のない パラメータがない	※区画に關するパラ メータは子フォルド ーに存在しない 任意属性を追加し て対応 WIS消音 (消音BOX付) 等	設備ソフトのネットエイブデータの構造に依存するが、審査上必要な分類や属性情報は具備している。IFBなど中間ファイルに書き出した際にごとまで統一できるかは今後の課題。特に、耐火ダクトの扱いは検討が必要。また、建築モデルの区画情報を取得する方法をごとまで統一できるかも課題。
ダクト ダクト ダクト/ダクト局部 ダクト/制気口 ダクト	※上記参照 ダンパー	※上記参照 名称	※上記参照 FD、SFD等	部材 部材 部品 部材	※上記参照 部品 部品 部品 部材	※上記参照 丸ダンパ/FD	傍記名称 FD	FD	同上
-	-	-	-	系統図は、現時点では BIM以外の2D図書による	-	-	-	-	系統図は、現時点では BIM以外の2D図書による
-	-	-	-	系統図は、BIM以外の2D 図書による	-	-	-	-	要領図は、BIM以外の2D 図書による
ダクト ダクト ダクト/ダクト局部 ダクト	※上記参照	※上記参照	※上記参照	部材 部材	部材 部材	※上記参照	※上記参照	※上記参照	設備ソフトのネットエイブデータの構造に依存するが、審査上必要な分類や属性情報は具備している。IFBなど中間ファイルに書き出した際にごとまで統一できるかは今後の課題。特に、耐火ダクトの扱いは検討が必要。また、建築モデルの区画情報を取得する方法をごとまで統一できるかも課題。

①審査フローに基づくBIMデータ構築の整理【設備】

法第33条 避雷設備

①法令	審査内容の項目リスト				条件				Aチーム(Revit)					Bチーム(Revit)							
	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件(新JISのみ)	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目(Parameter)	属性情報値(Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目(Parameter)	属性情報値(Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目(Parameter)	属性情報値(Value)	備考	
	配置図	建築物の各部分の高さ	—	建築物の各部分の高さ 1.他の建物との位置関係を確認 2.高さ確認(明示が無くれば断面図等の他の図面で確認) 1.建築物の高さ0mラインが明示されているか確認(単線地の場合には平均地盤面からの20mラインを確認) 2.60m以上の建築物の場合は60mラインが明示されているか確認 3.その他 ロ接地線の施設高さ ハ、避雷確認	1.他の建物との位置関係を確認 2.高さ確認(明示が無くれば断面図等の他の図面で確認) 1.建築物の高さ0mラインが明示されているか確認(単線地の場合には平均地盤面からの20mラインを確認) 2.60m以上の建築物の場合は60mラインが明示されているか確認 3.その他 ロ接地線の施設高さ ハ、避雷確認					建築モデルを参照											
	二面以上の立面図	建築物の高さが0メートルを超える部分	機器・器具	塔屋面からの高さ 2.60m以上の建築物の場合は60mラインが明示されているか確認 3.その他 ロ接地線の施設高さ ハ、避雷確認	1.避雷範囲確認 イ 避雷球体法 ロ 避雷球体法一保護レベルに応じた球体半径を確認 ハ 保護球法一保護レベル及び建築物高さに応じた保護球内の半径を確認 ニ ハメッシュ法一保護レベルに応じたメッシュ幅を確認 2.R面に設置されている設備も含め保護範囲内か確認				1. 2. 3. 4											線分	
	小断欠図	受雷部システムの配置	機器・器具	尖針、水平導体又はメッシュ導体の配置	1.受雷部の配置確認					尖針、水平導体、メッシュ										線分	
	二面以上の立面図	建築物の各部分の高さ	機器・器具	屋上に設ける建築物の高さ 尖針、水平導体又はメッシュ導体の配置	1.最下層の地表面からの高さ関係を確認 1.代務図としてR階平面図の添付があるか確認 1.受雷部の配置を確認															線分	
法第33条	小断欠図	雨水等により腐食のおそれのある避雷設備の部分	機器・器具	屋外に設けられる部分と室内又は埋設される部分の判別	1.R階平面図及び立面図で確認															線分	
	避雷設備の構造詳細図	日本産業規格A4201-1982又は日本工業規格A4201-2003の別の別	機器・器具	尖針、水平導体又はメッシュ導体の配置	1.立面図等で規格番号の明示を確認 1.代務図としてR階平面図の添付があるか確認 1.受雷部の配置を確認															別図面にて確認	
	避雷設備の構造詳細図	受雷部システム及び引下げ導線の位置及び構造	機器・器具	引下げ導線の位置 1.新JISの表を確認 2.尖針、水平導体又はメッシュ導体の構造に適合していること 3.サイズ等 イ 受雷部一新JISの表2及び表5を確認 ロ その他一新JISの表5を確認 4.その他 イ PC工法の場合の鉄筋接続部確認	1.引下げ導線の位置が確認できる平面図の添付確認 ロ引下げ導線の位置確認 1.新JISの表を確認 2.尖針、水平導体又はメッシュ導体の構造に適合していること 3.サイズ等 イ 受雷部一新JISの表2及び表5を確認 ロ その他一新JISの表5を確認 4.その他 イ PC工法の場合の鉄筋接続部確認															別図面にて確認	
	避雷設備の構造詳細図	接地極の位置及び構造	機器・器具	接地極の位置、形状、材料、寸法、埋設深さ	1.接地システムの確認 イ 接地材料による接地システム(A型又はB型) ロ 接地材料利用接地システム 2.接地極の位置が確認できる平面図の添付確認 イ 設置間隔を確認 3.形状を確認 4.材料一凡例に明示があるか確認 5.埋設深さ一立面図で0.5m以上に埋設されていることを確認																別図面にて確認
	避雷設備の使用材料表	腐食しにくい材料を用い、又は有効な腐食防止のための措置を講じた避雷設備の部分	機器・器具	避雷設備の腐食対策	1.凡例で確認 イ 表4の材料を使用しているか確認																別図面にて確認

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【設備】

法第33条 避雷設備

Bチーム (Rebro)				Cチーム (CAD/Well/Tfas)				考察(参考)	
カテゴリ (要素グループ)	オブジェクト (要素名)	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)		属性情報値 (Parameter Value)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	建築モデルを参照
-	-	-	-	2D加筆・線分	-	-	-	-	2D加筆によることが多いが、BIMモデル上にオブジェクトを配置して確認する方法も不可能ではない。
-	-	-	-	2D加筆・線分	-	-	-	-	同上
-	-	-	-	突針以外は2D加筆	-	-	-	-	2D加筆によることが多いが、BIMモデル上にオブジェクトを配置して確認する方法も不可能ではない。 (※避雷部を建築材料で代替する場合は、材料、断面積の属性情報の要否は判断が必要)
-	-	-	-	2D加筆・線分	-	-	-	-	2D加筆によることが多いが、BIMモデル上にオブジェクトを配置して確認する方法も不可能ではない。
機器・器具	電気器具	名称 記号	避雷針 備置	突針以外は2D加筆	-	-	-	-	同上
-	-	-	-	2D加筆・線分	-	-	-	-	同上
-	-	-	-	別図面にて確認	-	-	-	-	BIMモデルから出力することが困難なため、2D図書によらざるを得ない。
-	-	-	-	別図面にて確認	-	-	-	-	同上
-	-	-	-	別図面にて確認	-	-	-	-	同上
-	-	-	-	別図面にて確認	-	-	-	-	同上

2. 「一般建築」検討内容

2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

① 審査フローに基づきBIMデータ構築の整理【設備】
 法第28条 法28条の2 換気設備

審査内容の項目リスト					条件														
①法令	②図書の種類	③明示、記載、審査事項	部位	内容	条件	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Value)	備考				
法第28条第3項第4項	換気設備の計算書、機器リスト、ダクト図	①明示、記載、審査事項	機器・器具 換気経路	換気設備の計算書 ダクト図	①換気室・有窓、無窓の部屋～窓による換気か、自然換気か、機械換気か、の確認 (有効開口面積が床面積の0.1/20あれば機械換気は不要となるので、設備チェックは無し。ただし、劇場・映画館等の場合は除く【階層換気必要】) → BIMモデル上で確認 (階層換気必要) ②換気室の有窓・無窓の面積・高さの確認 (AF:換気室の床面積、NI:1人当たりの必要床面積) ③換気室の床面積、NI:1人当たりの必要床面積、建築物用途により、NOの値を確認 (BIMモデルから床面積必要) ④換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑤換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑥換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑦換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑧換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑨換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑩換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑪換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑫換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑬換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑭換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑮換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑯換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑰換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑱換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑲換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑳換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積)	①換気室・有窓、無窓の部屋～窓による換気か、自然換気か、機械換気か、の確認 (有効開口面積が床面積の0.1/20あれば機械換気は不要となるので、設備チェックは無し。ただし、劇場・映画館等の場合は除く【階層換気必要】) → BIMモデル上で確認 (階層換気必要) ②換気室の有窓・無窓の面積・高さの確認 (AF:換気室の床面積、NI:1人当たりの必要床面積) ③換気室の床面積、NI:1人当たりの必要床面積、建築物用途により、NOの値を確認 (BIMモデルから床面積必要) ④換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑤換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑥換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑦換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑧換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑨換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑩換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑪換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑫換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑬換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑭換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑮換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑯換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑰換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑱換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑲換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積) ⑳換気室の開口面積の確認 (換気室の開口面積)	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋
法第28条第2号	換気設備の計算書、機器リスト、ダクト図	①換気設備の型式と有効換気量 ②換気設備図	機器・器具 換気経路	換気設備の計算書 ダクト図	①換気設備の型式と有効換気量 ②換気設備図	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋			
法第28条第2号の2	換気設備の計算書、機器リスト、ダクト図	換気設備の型式と有効換気量 換気設備図	機器・器具 換気経路	換気設備の計算書 ダクト図	①換気設備の型式と有効換気量 ②換気設備図	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋	部屋			

①審査フローに基づくBIMデータ構成の整理【設備】

法第28条 法28条の2 換気設備

		Bチーム (Rebro)					Cチーム (CADWe'll Tfas)				
カテゴリ (要素グループ)	オブジェクト (要素名)	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	カテゴリ	オブジェクト	属性情報項目 (Parameter)	属性情報値 (Parameter Value)	備考	考慮(参考)	
機器・器具				建築Revitの情報を利用	部屋図形	部屋図形	部屋名称 高さ 下端 面積 容積	附帯 2438.4 mm 0 mm 15.2 m ² 37.06 m ³		BIMソフトの機能に依存するが、建築BIMモデルの部屋や、設備BIMモデルのスペースに属性情報を付与して、換気計算を行い、確認することができる。	
機器・器具	ファン類	機器番号 名称 流量 [m ³ /h] 静圧 [Pa] 相 電圧 [V] 電動機出力 [W]	FE-1-1 ストロークコフィン 天吊 リタイアブ 消音型 150 59 100 57	経路の圧力損失計算は可能。計算書の出力も可能。ただし、数が多くなった場合、モテリングの手間が発生する。	部品	交換機① 送風機/熱交換器内 送風機/送風機 送風機/遠心式送風機	部品名称 重量 50ヘルツ 送風機 電圧 電機仕様 相 電圧 電機仕様	熱交換器 業務用 天吊七形スタント FD LGH-N156S2 150 [m ³ /h] 75 [Pa] 100 [V] R-2	「機器」は基礎設置コードを実行する方向で実行するが、圧力計算が可能なものの一部で表現することは不可能。またモテリング作業に時間がかかる。	BIMソフトの機能に依存するが、機器の属性情報を元に確認することができる。	
					部屋図形	※上記参照	※上記参照	※上記参照		BIMソフトの機能に依存するが、建築BIMモデルの部屋や、設備BIMモデルのスペースに属性情報を付与して、換気計算を行い、確認することができる。 ※居室と一体とみなされる範囲の確認方法は、目視によらないと難しい	
					部屋図形	※上記参照	※上記参照	※上記参照		同上	
機器・器具				計算書と機器仕様の比較は自動確認	部品	※上記参照	※上記参照	※上記参照	換気計算書と機器仕様の比較は自動確認	BIMソフトの機能に依存するが、スペースの必要換気量と、対象機器の風量を比較することで、入力・確認が可能。 いずれは、機器の能力線図URLに、メーカーのPQ線図を連携することも可能。	
機械設備				経路の圧力損失計算は可能。計算書の出力も可能。ただし、数が多くなった場合、モテリングの手間が発生する。	部品	※上記参照	※上記参照	※上記参照	圧力損失の計算はダクト機後モデルを使用すれば可能。ただし、流れ方向等の負荷が必要。圧力計算が可能なものを迎モデル中で表現することは不可能。またモテリング作業に時間がかかる。	BIMによる圧力損失計算は本可能ではないが、設計者側のモテリングの手間と、審査上のように判断するか①M上で圧力損失計算が可能かどうかの判断結果を正しいと判断して良いか、解決すべきことが多いので、置くは2D図書に寄らせるを得ない。	

(余白)

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理

◆検討対象(整理対象とした BIM オブジェクトの部位等)

【意匠】	空間オブジェクト(部屋)／空間オブジェクト(エリア)／間仕切り壁／内部建具(両開き扉)
【構造】	鉄筋コンクリート造(柱・梁)／鉄骨造(柱・梁)／基礎／床／壁
【設備】	空調機／全熱交換機／送風機／排煙機／スペース・部屋／ダンパー / 制気口／排煙口／避雷針

◆検討成果

【意匠】

- ・意匠では、想定する審査フローおよびその審査フローで使用する代表的な BIM オブジェクトについて、建築確認で参照するパラメータ標準の検討を試みた。
- ・①の検討成果と同様に、表縦方向の項目1つに対し、表横方向へ設計側の BIM モデル別整理結果と、これに対する審査側の審査における参照の要否を示した。このため、横方向に長い整理表となっており、縦方向1項目に対する検討成果を、2ページに分割して示した。
- ・整理作業のもととした「建築設計三会カテゴリ別パラメータリスト」では、項目名が BIM オブジェクトパラメータ項目固有の表現のままとなっていることが影響し、普段より BIM の属性情報を参照する機会が無い又は乏しいと思われる審査側回答の一部に、パラメータ項目固有の表現の意味が不明として、審査における参照の要否への回答に苦慮する面も見受けられた。そのため、BLCJ 等へ質疑を行い、回答を得ることで、審査側の理解度が向上し、ある程度の見解の統一が可能となったことから、審査側の見解としてまとめた。(回答数8者)
- ・本検討結果をもとに、パラメータ標準検討等において情報集約するための方向性等について、「考察(参考)」において可能な限り示した。
- ・整理結果を総括すると以下のとおりである(「①審査フローに基づく BIM データ構成の整理」を含む考察)。

【審査で最大公約数的に必要なパラメータの絞り込みの必要性】

- ・作業協力者側で想定した審査で必要と思われるパラメータは、審査側の必要項目を概ね満たしていたと考えられる。
- ・審査側の整理においては、見解の相違や、ある特定のケースでの必要性が挙げられたが、検討に至る段階で審査側の意見をある程度集約することができ、審査における参照の要否についてまとめることができた。
- ・確認申請で必要なモデリングルールの策定、および審査ビューアへの実装には最大公約数的なパラメータの絞り込みが必要となるため、継続した議論が必要である。

【BIM ソフトウェアの特性や各チームのモデリングルールに起因するパラメータのばらつき】

- ・各チームのパラメータを横並びで整理した際、BIM ソフトウェアの特性の違いで入力対象のオブジェクトが異なるケースが見られた。
- ・また、同一ソフトウェアであっても、各チームのモデリングルールや運用ルールの違いによって、対象となるオブジェクトが異なるケース、使用するパラメータの数や種類が異なるケースが見られた。
- ・BIM ソフトウェアでの設計(確認申請図書作成)では、その表現や振る舞いが BIM オーサリングソフトウェアや各社のテンプレートに依存する部分も多く、それらを完全に統一することは難しいことが予想される。

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

- 一方で、審査に必要なパラメータが絞り込めた際には、パラメータの違いを突き合わせるためのマッピングテーブルの策定や、共通事項として中間的なパラメータを整理できる可能性がある。
- 審査ビューアにおいては、それらマッピングテーブルに基づいたパラメータ読み替えを行うことも想定されるため、ばらつきを許容しながらも、標準的なパラメータを考察する意義はあると考えられる。

建築設計三会							審査側参照		チームB (Revit)			チームC (Revit)		チームD (GLOBBE)			考察 (参考)
項目	属性	種類	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	備考	審査における参照項目 ○: 必要 △: 場合による ×: 不要	備考	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
○	○		スタブ高	文字	-100		×		壁	文字	構造モデルと一致なので未使用	文字	-200	-	-	-	建築側の設計にて、ある程度の高さでの仕様を定められた。建築側の仕様と一致させる必要がある。
○	○		裏切線	文字	0		△	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる
○	○		仕上げ 壁	文字	09-6		○	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる
△	○		仕上げ 欄干	文字	ソフト欄干		△	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる
○	○		仕上げ 床	文字	タイルカーペットB		△	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる
○	○		仕上げ 天井	文字	09(15/000)スチングラフ上天井		○	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる
○	○		仕上げ 柱	文字	09		○	内装仕上(各フロア)の裏面に必要となる。	壁_廻り	文字	シール	文字	値は0				「内装仕上」オブジェクトによる

建築設計三会パラメータリスト

審査における参照の要否と、設計側の
入力状況

考察
(参考)

図一[意匠]②審査で参照の可能性がある BLCJ オブジェクト標準の整理 (抜粋)

[構造]

- ・属性情報入力状況の整理手法は、主に建築確認での BIM 利用を視野に、審査において参照する部材のカテゴリ別に、各オブジェクトに持たせているパラメータに着目して整理することにした。
- ・現状、buildngSMART Japan(bSJ)や一般社団法人 日本建築構造技術者協会(JSCA)、Revit User Group (RUG)などの各団体では、各部材に持たせるべき属性情報の整理はなされてきているが、汎用的なパラメータリストの形式で BLCJ がまとめているため、これを利用することにした。
- ・整理結果は、建築確認で参照する情報の標準化に資する情報として BLCJ と情報共有し、BLCJ パラメータ標準としての反映を期待する。
- ・[意匠]の検討成果と同様に、表縦方向の項目1つに対し、設計側の BIM モデル別整理結果と、これに対する審査側の審査における参照の要否と、その情報を参照する場合の重要度についても併せて示した。
- ・整理作業のもととした「BLCJ パラメータリスト」では、項目名が BIM オブジェクトパラメータ項目固有の表現のままとなっていることが影響し、普段より BIM の属性情報を参照する機会が無い又は乏しいと思われる審査側回答の一部に、パラメータ項目固有の表現の意味が不明として、審査時の情報参照要否回答に苦慮する面も見受けられた。そのため、BLCJ へ質疑を行い、回答を得ることで、審査側の理解度が向上し、ある程度の見解の統一が可能となったことから、審査側の見解としてまとめた。(回答数7者)
- ・整理結果を総括すると以下のとおりである(BLCJ のリストにおいて審査において参照されるパラメータは以下の状況であると考察する)
 - ・審査で参照される主なパラメータは、現状でもほぼ含まれていた。
 - ・審査における参照の要否と、その情報を参照する場合の重要度をまとめることができた。
 - ・設計者が、構造設計時に利用する解析モデルから BIM ソフトウェアにインポート可能な情報かどうかについて整理できた。
 - ・審査において参照する情報のうち、解析モデルの情報と、作図で用いる BIM モデルの情報とをデジタルな手法により比較が可能かどうかについて整理できた。
- ・検討結果を基に、計算書と確認申請図書の整合性チェックに BIM データ等を活用する等、数的情報を連携、突合するような、デジタルな手法を用いる構造審査に反映されることを期待する。

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解			
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RC梁3 断面標準		始端	主筋	径	D_main_start	String	○		○	高	○	○	
				総本数	N_main_top_total_start	Integer	○		○	高	○	△	
				1段目本数	N_main_top_1st_start	Integer	○		○	高	○	△	
				総本数	N_main_bottom_total_start	Integer	○		○	高	○	△	
				1段目本数	N_main_bottom_1st_start	Integer	○		○	高	○	△	
				本数	N_stirrup_start	Integer	○		○	高	○	○	
				ピッチ	pitch_stirrup_start	Double	○		○	高	○	○	
				本数	N_web_start	Integer	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×	

BLCJ パラメータリスト

審査における参照の要否と、
設計者の入力状況

図一[構造]②審査で参照の可能性がある BLCJ オブジェクト標準の整理(抜粋)

【設備】

・設備では、以下の審査フローを想定して、この審査フローで必要とされる BIM オブジェクトの代表的なものを抽出した上で、審査において参照するパラメータ標準の検討を試みた。

- ・計算書との整合性
- ・避雷針の範囲
- ・防火区画貫通部措置

表一 審査フローを元に検討対象とした代表オブジェクト

審査フロー	BIM オブジェクト									
	空調機	全熱交換器	送風機	排煙機	部屋	スペース	ダンパー	制気口	排煙口	避雷針
計算書との整合性	○	○	○	○	○					
避雷針の範囲										○
防火区画貫通部措置							○	○	○	

・設備 BIM モデルの建築確認で参照するパラメータ標準の検討にあたっては、属性情報標準を整備している、BLCJで編成しているオブジェクト標準を元に、審査において参照する情報の標準化に資する整理を試みた。ただし、空間要素である部屋やスペースの属性情報標準は BLCJ では未整備であるため、RUG の設備部会で編成している属性情報標準(共有パラメータ)を元に検証することとした。さらに、今後の展開も見据えて、建築確認申請で必要となるパラメータ標準だけではなく、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく「建築物エネルギー消費性能適合性判定(以下、「省エネ適判」とする)」において必要となるパラメータ標準についても考慮することとした。

・検討に際して、まずは、BLCJ で編成されているオブジェクト標準のうち、建築確認申請や省エネ適判で参照する可能性があるパラメータを抽出した一覧表を作成した上で、この一覧表をもとに、設計側のチーム A,B,C や、審査側の意見を反映し、取りまとめた。

・[意匠]の検討成果と同様に、表縦方向の項目1つに対し、表横方向へ設計側の BIM モデル別整理結果と、これに対する審査側の審査における参照の要否と、それについての意見を参考として備考に示した。このため、横方向に長い整理表となっており、縦方向1項目に対する検討成果を、2ページに分割して示した。

・整理作業のもととした「BLCJ パラメータリスト」では、項目名が BIM オブジェクトパラメータ項目固有の表現のままとなっていることが影響し、普段より BIM の属性情報を参照する機会が無い、又は乏しいと思われる審査側回答の一部に、パラメータ項目固有の表現の意味が不明として、審査時の情報参照要否回答に苦慮する面も見受けられた。そのため、BLCJ へ質疑を行い、回答を得ることで、審査側の理解度が向上し、ある程度の見解の統一が可能となったことから、審査側の見解としてまとめた。(回答数4者)

・本検討結果をもとに、パラメータ標準検討等において情報集約するための方向性等について、「考察(参考)」において可能な限り示した。

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

BLCJパラメータリスト		BLCJパラメータリスト (BLCJ Parameter List)					審査対象項目				BLCJパラメータ			審査機序			備考
項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目
○	○	○	3750	SHM	記号	ナキスト	符号	共	文字	ASD-MF-E	□	□	○				
○	○	○	1700	DESNA	符号	ナキスト	符号	共	文字	ユニット型窓設置 仕様	■	■	○	○	○	○	○
○	○	○	3010	SA-O	採光量	採光	採光	共	採光量	10,000 [m2/h]	■	■	○	○	○	○	○
○	○	○	3040	EVA-O	採光量	採光	採光	共	採光量	10,000 [m2/h]	□	□	○	○	○	○	○
○	○	○	3090	PA-O	採光量	採光	採光	共	採光量	7,000 [m2/h]	□	□	○	○	○	○	○
○	○	○	3080	DA-O	採光量	採光	採光	共	採光量	3,000 [m2/h]	□	□	○	○	○	○	○
○	○	○	3070	EA-O	採光量	採光	採光	共	採光量	3,000 [m2/h]	□	□	○	○	○	○	○
○	○	○	3050	SP	採光量	採光	採光	共	採光量	700 [m2/h]	■	■	○	○	○	○	○

BLCJパラメータリスト(+省エネ適判関係)

審査における参照の要否と、
設計者の入力状況

考察
(参考)

図- [設備]②審査で参照の可能性があるBLCJオブジェクト標準の整理(抜粋)

次ページ以降に、具体的検討成果(一覧表)を[意匠]、[構造]、[設備]の分野別に示す。

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト 【部屋】

建築設計3会							審査側見解		チームB(Revit)			
申請 要否	意匠	構造	設備	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)	備考	審査における参 照項目 ○:必要 △:場合による ×:不要	備考	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)
○	○			スラブ高	文字	-100		×		SL	文字	構造モデルと一体なので未使用
○	○			見切縁	文字	V		△	内装制限H21告示225号の審査で必要な場合がある	k_廻縁	文字	シール
○	○			仕上げ 壁	文字	EP-G		○		k_壁仕上	文字	ビニルクロス
△	○			仕上げ 幅木	文字	ソフト幅木		△	内装制限H21告示225号や、ハリアフリー法が適用される場合、必要になるケースがある	k_幅木 k_幅木下地	文字 文字	木製巾木H60・オレフィンシート RC打放
○	○			仕上げ 床	文字	タイルカーペットB		△	ハリアフリー法の移動等円滑化経路に該当する場合には、粗面又は滑りにくい材料等の表層処理の記載が必要となる。	k_床仕上 k_床仕上厚	文字 長さ	フローリング 12
○	○			仕上げ 天井	文字	DR1T5(600mmシステムグリッド天井)		○		k_天井仕上	文字	ビニルクロス
○	○			仕上高	文字	±0		○		FL	文字	-55
○	○			床下地	文字	0直均し、防塵塗装、FAフロアh100		△	木造等の構造に係る下地の場合は、審査対象となる。	k_床下地	文字	システム二重床
○	○			天井下地	文字	GB-R t9.5		○		k_天井下地	文字	GB-R t9.5
○	○		○	天井高	文字	2600		○		天井高	文字	2540
○	○			壁下地	文字	LGSボード		○		k_壁下地	文字	GB-R t12.5
○	○		○	名前	文字	事務室		○		名前	文字	部屋
○	○		○	面積	面積	654.211		○		面積	面積	102.71
○	○		○	積載荷重	文字	事務室		△	構造計算書に記載がある場合は、不要となる。	-	-	-
○	○		○	省エネ法上用途	文字	事務所		×	意匠審査では、記載不要となる	-	-	-
○	○		○	スプリンクラー	はい/いいえ	✓		○	設備図に記載されている場合は、不要となる。	-	-	-
○	○		○	換気上の有窓	はい/いいえ	✓		○		-	-	-
○	○		○	基準法上用途	文字	1		○		消火設備	文字	ガス消火
○	○		○	居室	はい/いいえ	✓		○		換気方式	文字	第三種
○	○		○	最大収容人員	整数			△	避難安全検証法が適用されている場合は必要となる。	-	-	-
○	○		○	採光上の有窓	はい/いいえ	✓		○		居室	文字	居室
○	○		○	特定天井	はい/いいえ	✓		○	特定天井に該当する場所を示すものであれば、あった方がよい。	-	-	-
○	○			内装制限_壁	文字	不2		○		-	-	-
○	○			内装制限_天井	文字	不2		○		天井下地	文字	未使用
○	○		○	排煙区分区分及び告示	文字	機械排煙		○		内装制限	文字	準不
○	○		○	排煙上の有窓	はい/いいえ	✓		○		内装制限根拠	文字	令120-2
○	○			容積対象	文字	容積対象		○	面積算定と連携するのであれば、あった方がよい。	排煙	文字	機械

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト 【部屋】

チームB (Archicad)			チームC (Revit)			チームD (GLOOBE)			考察 (参考)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
床スラブ高1	数値	0	仕上表 SL	文字	-300	-	-	-	審査側の整理にて、ある特定のケースでの必要性が挙げられたため、継続して議論が必要
-	-	-	仕上表 廻り縁	文字	塩ビ製	「廻縁」オブジェクトによる			審査側の整理にて、ある特定のケースでの必要性が挙げられたため、継続して議論が必要
壁:仕上	文字列	ビニルクロス	仕上表 仕上 壁	文字	ビニルクロス	「内壁仕上」「外壁仕上」オブジェクトによる			建築確認申請が必要
幅木:仕上	文字列	ビニル幅木	仕上表 幅木	文字	ソフト幅木	「巾木」オブジェクトによる			建築確認申請が必要
床:仕上	文字列	タイルカーペット	仕上表 仕上 床	文字	タイルカーペット	「床仕上」オブジェクトによる			バリアフリーに対する表記は、凡例によるものが多いと考えられ、部屋パラメータに情報として持たせる事は得策では無いと想定される。
天井:仕上	文字列	ビニルクロス	仕上表 仕上 天井	文字	DR	「内部天井仕上」「外部天井仕上」オブジェクトによる			建築確認申請が必要
床仕上高1	数値	0	仕上表 FL	文字	±0	床高	実数		建築確認申請が必要
床:下地	文字列	コンクリート直押え	仕上表 下地 床	文字	コンクリート 0Aフロア(B)	「床仕上」オブジェクトによる			意匠モデルでは仕上げの下地処理(コンクリート直押え、0Aフロアなど)を示しており、耐火構造の判定をずらす属性情報としては用いていない。
天井:下地	文字列	GB-R捨張り	仕上表 下地 天井	文字	LGS-19 GB-R(B)	「内部天井仕上」「外部天井仕上」オブジェクトによる			建築確認申請が必要
天井高1	数値	3000	仕上表 OH	文字	3000	天井高	実数		建築確認申請が必要
壁:下地	文字列	GB-R	仕上表 下地 壁	文字	LGS-65 GB-R(A)	「内壁仕上」「外壁仕上」オブジェクトによる			チームA~Cは空間要素内の文字データ、チームDは各オブジェクト
ゾーン名(室名)	文字列		名前	文字	ショールーム	名称	文字列		建築確認申請が必要
ゾーン面積	面積	100㎡	面積	面積	105.830㎡	面積	実数		建築確認申請が必要
積載荷重[N/m2]_床	数値	100	-	-	-	-	-	-	意匠モデルには不要と判断される。
-	-	-	-	-	-	-	-	-	省エネ法については検証対象外のため、基準法に準じた整理であれば不要(コメントで省エネ法に対する言及を入れる)事で良いのではないかと。
-	-	-	-	-	-	-	-	-	設備図との連動は自動では行われておらず、手動での整合となる。
法規 換気 換気方式	オプションセット	-/機械/自然	-	-	-	「LVS」機能により自動計算 →判定結果を計算結果(別オブジェクト)に表記			チームDは計算結果を別のオブジェクト(表オブジェクト)に持たせている
-	-	-	-	-	-	-	-	-	審査側見解にて「用途別求置図などと連携するのであればあってもよい。」とあり、どのようなケースで審査される属性情報が継続議論が必要。
居室・非居室	オプションセット	居室/非居室/対象外	居室	はい/いいえ	☑	形態	選択肢	選択肢は「外部」、「内部居室」、「内部非居室」のいずれか。	チームDは同一パラメータで、屋内内外も判断している
収容人数[人]	数値	-	-	-	-	-	-	-	パラメータの運用によっては様々な目的で活用が出来てしまうため、審査対象で無ければ不要として良いのではないかと。
-	-	-	-	-	-	有効採光対象居室	真偽値	-	建築確認申請が必要
-	-	-	-	-	-	有効採光居室の種類	選択肢	選択肢は「住宅の居室」、「幼稚園・小中高校の教室」、「その他の学校の教室」、「保育園の保育室」、「病院・診療所(病室類)」、「病院・診療所(外来類)」、「寄居室・下宿(寮室類)」、「児童福祉施設(児童室類)」、「児童福祉施設(保育類)」、「児童福祉施設(娯楽類)」、「その他」のいずれか。	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	建築確認申請が必要
内装制限	オプションセット	《不》/ 《不》/ 《準》/ 《準》/ 《難》	仕上表 内装制限	文字	<難>	内装制限	選択肢	選択肢は「なし」、「不燃」、「準不燃」、「難燃」のいずれか。	建築確認申請が必要
-	-	-	仕上表 内装制限	文字	<難>	-	-	-	建築確認申請が必要
排煙方式	オプションセット	自然/ 機械/ 免除/ 令116の2	仕上表 排煙	文字	自然	「防煙区画」オブジェクトによる			チームBは排煙方式と免除根拠の2パラメータを使用
免除根拠	オプションセット	告示/告示/告示(1)~ 告示/令126	-	-	-	「LVS」機能により自動計算			
-	-	-	-	-	-	「LVS」機能により自動計算			建築確認申請が必要
申請ゾーン分類	オプションセット	建築面積/容積算定	-	-	-	容積率不算入区分	選択肢	選択肢は「昇降路部分」、「共用廊下等(共住・老人ホーム等)」、「車庫部分」、「備蓄倉庫部分」、「蓄電池部分」、「自家発電部分」、「貯水槽部分」、「宅配ボックス」のいずれか。	建築確認申請が必要 一方でエリアで容積対象面積を測定している場合は、このパラメータがプランクになる場合もある。
-	-	-	-	-	-	床面積区画種別	選択肢	選択肢は「容積率対象」、「容積率不算入対象」、「床面積対象外」のいずれか。	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト【エリア】

建築設計三会							審査側見解		チームB (Revit)			
申請 要否	憲証	構造	設備	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)	備考	審査における参 照項目 ○:必要 △:場合による ×:不要	備考	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)
○	○			レベル	文字	1FL		○		レベル	文字	2FL
○	○			面積	面積	223.2202		○		面積	面積	79.5
○	○			周長	長さ	70388		△	・屋外階段の場合は必要となる。(ただし一見して分かる場合は不要) ・ルード庇の場合は必要となる。	周長	長さ	36315.26
○	○			根拠式	文字	26.894 × 8.300		○		根拠式	文字	不要
○	○			計算面積	文字	223.22		○		計算面積	面積	0
○	○			番号	文字	6		○		番号	文字	1
○	○			名前	文字	事務室		○		名前	文字	エリア名
○	○			基準法用途	文字	事務所		○	用途別求積図等の主たる用途を表すの欄であればあった方がよい。	-	-	-
○	○			容積対象	文字	はい		○		容積対象	文字	対象内

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト【エリア】

チームB (Archicad)			チームC (Revit)			チームD (GLOOBE)			考察 (参考)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
配置フロア	文字列	1FL	レベル	レベル	1FL	-	-	-	
面積	面積	100	面積	面積	105.830㎡	-	-	-	
外周	長さ	40	周長	長さ	30800	-	-	-	建築確認申請では不要
-	-	-	面積 エリア 根拠式	文字	6.3000 x 9.1000	根拠式は自動算定	-	-	建築確認申請が必要
計算面積	面積	98	面積 エリア 計算値	文字	105.830㎡	計算面積は自動算定	-	-	建築確認申請が必要
ゾーン番号	文字列	A-001	面積 エリア 番号	文字	1	符号	文字列	-	建築確認申請が必要
名前	文字列	事務所A	面積 エリア 室名	文字	ショールーム	-	-	-	
ゾーンカテゴリ	文字列	事務所	-	-	-	-	-	-	
対象区分	文字列	地階の住宅又は老人ホーム等の部分/ EVの昇降路の部分/ 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下部分/ 自動車車庫等の部分/ 備蓄倉庫の部分/ 蓄電池の設置部分/ 自家発電設備の設置部分/ 貯水槽の設置部分/ 宅配ボックスの設置部分/ 老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの部分/ 容積対象外	-	-	-	種別	選択肢	選択肢は、“容積率対象”、“容積率不算入対象”、“床面積対象外”、“吹き抜け”のいずれか。	エリアで何を扱うにより、用意するパラメータ値が異なる ・床面積求積 ・防火区画 ・排煙区画 特にチームDはソフトウェアの特性上、各区画を扱う専用のオブジェクトが設けられている。一方でA~Cチームは汎用的なエリアオブジェクトを用いて様々な区画等に対応させている。
車庫_床認識が困難な駐輪場・駐輪場	文字列	自走式駐輪場・駐輪場/ 機械式駐輪場 (全てが機械式) / 機械式駐輪場 (自走式+機械式) / 機械式駐輪場 (全てが機械式) / 機械式駐輪場 (自走式+機械式)	-	-	-	容積率不算入区分	選択肢	選択肢は“昇降路部分”、“共用廊下等(共住・老人ホーム等)”、“車庫部分”、“備蓄倉庫部分”、“蓄電池部分”、“自家発電部分”、“貯水槽部分”、“宅配ボックス”のいずれか。	
車庫_床認識が困難な駐車・駐輪台数	数値	6	-	-	-	上記まで、オブジェクト名称「床面積区画」			
※以下、エリアに類似のオブジェクトを記載します ⇒Revitでいうエリアが、それぞれによって専用で用意されている									
建築面積区画									
符号		文字列							
種別	選択肢	選択肢は、“通常”、“吹き抜け”のいずれか。							
防火区画									
名称		文字列							
種別	選択肢	選択肢は“面積”、“高層”、“壁穴”、“異種用途”、“面積 (旧)”、“高層 (旧)”、“壁穴 (旧)”、“異種用途 (旧)”のいずれか。							
分類	選択肢	選択肢は“建令112-1”、“建令112-4”、“建令112-5”、“(旧)建令112-2”、“(旧)建令112-3”、“建令112-7”、“建令112-8”、“建令112-9”、“(旧)建令112-5”、“(旧)建令112-6”、“(旧)建令112-7”、“建令112-11”、“建令112-12”、“建令112-13”、“(旧)建令112-9”、“建令112-18”、“(旧)建令112-12”、“(旧)建令112-13”のいずれか。							
自動消火設備	真偽値								
面積	実数	平方メートル単位で自動算定							
建令114条区画									
名称		文字列							
面積	実数	平方メートル単位で自動算定							
防煙区画									
名称		文字列							
種別	選択肢	選択肢は“面積”、“排煙免除”、“排煙免除 (旧)”のいずれか。							
排煙方式	選択肢	選択肢は“自然排煙”、“機械排煙”、“スモークタワー”、“なし”のいずれか。							
免除理由	選択肢	選択肢は“建令126の2-1”、“建令126の2-1-1”、“建令126の2-1-2”、“建令126の2-1-3”、“建令126の2-1-4”、“告1436-4-1”、“告1436-4-1ロ”、“告1436-4-1ニ”、“(1)”、“告1436-4-1ニ(2)”、“告1436-4-1ニ(3)”、“告1436-4-1ニ(4)”、“(旧)告1436-4-1ニ(1)”、“(旧)告1436-4-1ニ(2)”、“(旧)告1436-4-1ニ(3)”、“(旧)告1436-4-1ニ(4)”、“(旧)告1436-4-1ロ”、“なし”のいずれか。							
面積	実数	平方メートル単位で自動算定							

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト【間仕切壁】

建築設計三会							審査側見解		チームB (Revit)			
申請 要否	意匠	構造	設備	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)	備考	審査における参 照項目 ○:必要 △:場合による ×:不要	備考	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)
△	○			マテリアル(内容と表現)	選択	マテリアルブラウザ	仕上げは仕上表の文字情報として扱う 【211109】仕様を決めているパラメータマテリアル内に壁種の情報を表裏でそれぞれマテリアルに設定する	△	内装制限がかかる場合は、審査対象となる。	外部仕上	文字	【211109】表層の仕上げに対して使っている
※	○			(区画)31m超排煙免除	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○		防火性能のフィルターで対応		
※	○			(区画)異種用途区画	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○				
※	○			(区画)性能上変更する壁(防煙壁)	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○				
※	○			(区画)壁穴区画	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○				
※	○			(区画)表現上変更する壁(赤)	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	△	条例等の別の区画がある場合			
※	○			(区画)表現上変更する壁(赤)	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	△	条例等の別の区画がある場合			
※	○			(区画)防火上主要な間仕切り壁	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○				
※	○			(区画)面積区画	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○				
○	○			区画分類	文字	壁穴区画	区画情報を保持する	○		防火性能	文字	壁穴区画
△	○			上部レベルからのオフセット	長さ	-170	課題：天井裏の界壁	×	記載内容不明のため「？」としました。	上部レベル オフセット	長さ	-860
○	○			(建具)建具種別	文字	※OWの場合		○		-	-	-
○	○			(建具)建具番号	文字	※OWの場合		○		-	-	-

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト【間仕切壁】

チームB (Archicad)			チームC (Revit)			チームD (GLOOBE)			考察 (参考)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
ビルディングマテリアル			※マテリアルブラウザから設定			マテリアルブラウザから設定	マテリアルブラウザから設定		
-	-	-	区画種類	選択 (集計キー)	選択	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	1火 異種用途区画 27条	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	-	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	1火 竪穴区画	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	-	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	-	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	1火 防火上主要な間仕切壁 114条区画	-	-	-	
-	-	-	区画種類	選択	1火 面積区画	-	-	-	
区画	オプションセット	防火区画/防火区画 (異種用途間) / 防煙区画 / 界壁/防火上主要な間仕切壁/防火上主要な間仕切壁/対象外	区画種類 ※区画種類はこのパラメータで選択する。選択肢は集計表にて管理している。 1以下選択肢 1火 異種用途区画 27条 1火 竪穴区画 1火 竪穴区画 兼 面積区画 1火 防火上主要な間仕切壁 114条区画 1火 面積区画 1火 高層 住戸200㎡ (10項-7項対象) 1火 高層 住戸200㎡ (10項-8,9項対象) 1火 高層 準不燃200㎡/不燃500㎡ (8,9項) 1火 高層 難燃100㎡ (7項) 2煙 垂れ壁/常閉不燃扉 2煙 間仕切壁 3音 遮音区画 4虫 防虫区画 5 その他区画	選択		※区画種類はこのパラメータで選択する。選択肢は集計表にて管理している。 1以下選択肢 1火 異種用途区画 27条 1火 竪穴区画 1火 竪穴区画 兼 面積区画 1火 防火上主要な間仕切壁 114条区画 1火 面積区画 1火 高層 住戸200㎡ (10項-7項対象) 1火 高層 住戸200㎡ (10項-8,9項対象) 1火 高層 準不燃200㎡/不燃500㎡ (8,9項) 1火 高層 難燃100㎡ (7項) 2煙 垂れ壁/常閉不燃扉 2煙 間仕切壁 3音 遮音区画 4虫 防虫区画 5 その他区画	※区画種類はこのパラメータで選択する。選択肢は集計表にて管理している。 1以下選択肢 1火 異種用途区画 27条 1火 竪穴区画 1火 竪穴区画 兼 面積区画 1火 防火上主要な間仕切壁 114条区画 1火 面積区画 1火 高層 住戸200㎡ (10項-7項対象) 1火 高層 住戸200㎡ (10項-8,9項対象) 1火 高層 準不燃200㎡/不燃500㎡ (8,9項) 1火 高層 難燃100㎡ (7項) 2煙 垂れ壁/常閉不燃扉 2煙 間仕切壁 3音 遮音区画 4虫 防虫区画 5 その他区画	選択肢	選択肢は“なし”、“防火区画”、“防煙区画”、“排煙免除区画”、“防火”、“排煙免除区画”、“防煙”、“排煙免除区画”、“防火上主要な間仕切壁”、“その他間仕切壁”のいずれか。
-	-	-	上層レベル オフセット	長さ	-200				
-	-	-	建具 種類 (※CWの場合)	文字	AD	CWの場合	CWの場合		
-	-	-	建具 番号 (※CWの場合)	文字	1	CWの場合	CWの場合		
耐火性能	オプションセット	3時間耐火構造/2時間耐火構造/1時間耐火構造 /30分耐火構造/1時間標準耐火構造/45分標準耐火構造/30分標準耐火構造/防火構造/準防火構造							
認定番号	文字列						認定番号	文字列	
告示番号	文字列						耐火・防火性能	選択肢	選択肢は“なし”、“耐火”、“準耐火”、“防火”、“不燃”のいずれか。
							基準時間	選択肢	選択肢は“なし”、“30分”、“45分”、“60分”、“75分”、“90分”、“2時間”のいずれか。
							構造	選択肢	選択肢は“—”、“構造”、“非構造”のいずれか。
							耐力壁	真偽値	耐力壁か否かを表す。
							壁種別	選択肢	選択肢は“—”、“RC”、“ALC縦”、“ALC横”、“コンクリートブロック”、“G鋼縦”、“G鋼横”、“角鋼縦”、“角鋼横”、“LGS”、“押出成形板縦”、“押し出し生成板横”、“PC板”、“木”、“その他壁”、“複合壁”

2. [一般建築] 検討内容

2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト 【ドア_両開き扉】

建築設計三会							審査側見解		チームB(Revit)			
申請 要否	意匠	構造	設備	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)	備考	審査における参 照項目 ○:必要 △:場合による ×:不要	備考	パラメータ名	パラメータ タイプ	実施設計2 S4 (入力例)
○	○			幅	長さ	1800		○		幅	長さ	1600
※	○			(建具) 条文名	文字	常時閉鎖式不燃性扉		○	H46は文言ではなく「告示2564号」や「OAS-○○○」など、根拠を明確にすべきでは。	耐火等級	文字	未使用
※	○			(建具) 常開	はい/いいえ			○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	法_常時開放	はい/いいえ	はい
※	○			(建具) 随開	はい/いいえ			○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 特c	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	ドアタグで対応		
※	○			(建具) 特Sc	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	ドアタグで対応		
※	○			(建具) 防c	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	ドアタグで対応		
※	○			(建具) 防Sc	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	ドアタグで対応		
※	○			(建具) 特o	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 特So	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 防o	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 防So	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	ドアタグで対応		
※	○			(建具) 防og	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 不c	はい/いいえ	✓	※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 不_常開	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 不So	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
※	○			(建具) 不_随開	はい/いいえ		※入力パラメータ	○	防火性能がパラメータに記載されているのであれば、ここでの記載は不要である。	-	-	-
○	○			防火性能	文字	不c	防火性能を保持する中間パラメータとして活用審査側として幾つパラメータが必要かについては、ビューワのあり方と同時に議論が必要か。	○	告示番号や個別認定番号の表現が必要	法_防火性能	文字	特
○	○			タイプの説明	文字	両開き扉		○		文字_本体機構	文字	片開き
○	○			(建具) 建具種別	文字	SD		○		符号_記号	文字	SD(参考入力)
○	○			(建具) 建具番号	文字	26		○		符号_番号_主	文字	90(参考入力)
○	○			(建具) 姿図番号	文字	D-11		○		符号_番号_副	文字	n(参考入力)
○	○			(建具) パニックオープン	はい/いいえ	✓		○		形状_姿	文字	n(参考入力)
○	○			(建具) ガラス_種類と厚さ	文字			○		仕様_ガラス仕様	文字	PWC
△	○			(建具) ガラス_H	文字			○		文字_ガラスサイズ	文字	150x800(参考入力)
△	○			(建具) ガラス_W	文字			○				
○	○			(建具) 制御方式_感知器	文字	※シャッターの場合		○		金物_特殊金物	文字	障害物検知装置(参考入力)
○	○			開口係数	文字			△	排煙窓開放角度、採光補正係数等を示している場合は、必要である。	開口係数	数字	0
○	○			排煙窓幅	文字			○		排煙窓幅	長さ	0
○	○			排煙窓高さ	文字			○		排煙窓高さ	長さ	0
										排煙有効高さ	長さ	0

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【意匠】

意匠パラメータリスト 【ドア_両開き扉】

チームB (Archicad)			チームC (Revit)			チームD (GLOOBE)			考察 (参考)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
幅	長さ	1600	幅	長さ	1400		同左		
-	-	-	建具 性能	文字	S-1		防火設備性能	選択肢	選択肢は「なし」、「遮炎」、「遮煙」、「遮炎遮煙」、「遮煙遮炎」のいずれか。
							性能時間	選択肢	選択肢は「なし」、「10分」、「20分」、「30分」、「60分」、「75分」、「90分」のいずれか。
							運動装置	選択肢	選択肢は「なし」、「煙感運動」、「熱感運動」、「煙熱感運動」のいずれか。
							法的区画種別	選択肢	選択肢は「なし」、「防火区画・建具」、「防煙区画・開口部」、「排煙免除区画・建具」、「排煙免除区画・開口部」、「防火上主要な間仕切等・建具」、「防火上主要な間仕切等・開口部」、「その他間仕切等・建具」、「その他間仕切等・開口部」のいずれか。
-	-	-	建具 法	-	-	-	閉鎖方式	選択肢	選択肢は「無指定」、「常時閉鎖式」、「随時閉鎖式」のいずれか。
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	平面図凡例の表記文字については「凡例」機能により、建具データに設定済のパラメーターから自動表記	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
-	-	-	建具 法	-	-	-	-	-	
法規制 (申請図)	文字列	防火設備	建具 法	文字	防		防火設備種別	選択肢	選択肢は「なし」、「不燃」、「防火設備」、「特定防火設備」のいずれか。
形式	文字列	引き違い	-	-	-	必要であれば「建具備考」パラメータ (文字) に記載	区画種別	特殊	「FIX」、「引き違い戸」、「両開き戸」などの区画種別がある。一つの建具オブジェクトに、複数の種別の区画を設定できる。
要素ID/建具種類	文字列	AW101/AW	建具 種類	文字	AD		記号	文字列	
建具番号	文字列	101	-	-	-		番号	整数	
形式記号	文字列	A	建具 番号	文字	1		姿図記号	文字列	
パネル	選択	くぐり戸	-	-	-		姿図番号	整数	
-	-	-	-	-	-		-	-	
ガラス:種類及び厚さ	文字列	FL65	建具 ガラス 略号・厚さ	文字	F64		ガラス種類	文字列	
							ガラス厚	文字列	
			建具 機能 感知器	文字	-		-	-	
有効開口率	数値	0.5	排煙開口比率	文字	0.5	採光、換気共	開口係数は「法規LVS」機能の設定値	-	
排煙上有効な部分の幅	長さ	800	排煙有効幅	文字	1500	採光、換気共	-	-	
排煙上有効な部分の高さ	長さ	600	排煙有効高	文字	360	採光、換気共	排煙窓高は「法規LVS」機能により自動算定	-	
高さ	長さ	1000							

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理

◆鉄筋コンクリート造 柱

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認中 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない		
RC柱標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	○		
				種別(柱種別。COLUMN(柱)、POST(間柱))	kind_column	String	○		○	中	△	△		
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	△		
	材料情報	コンクリート	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	○	
			鉄筋	種類の記号	柱頭_主筋	strength_main_top	String	○		○	高	△	△	
					柱頭_帯筋	strength_hoop_top	String	○		○	高	△	△	
					柱頭_幅止筋	strength_bar_spacing_top	String	○		×		—	×	×
					柱頭_芯鉄筋	strength_axial_top	String	○		○		高	△	△
					柱脚_主筋	strength_main_bottom	String	○		○		高	△	△
					柱脚_帯筋	strength_hoop_bottom	String	○		○		高	△	○
					柱脚_幅止筋	strength_bar_spacing_bottom	String	○		×		—	×	×
					柱脚_芯鉄筋	strength_axial_bottom	String	○		○		高	△	△
					寸法情報			断面	幅	width_X	Double	○	○	高
					せい	width_Y	Double	○		○	高	○	○	
	配筋情報	共通	主筋	径	D_main	String	○		○	高	△	△		
				芯鉄筋	径	D_axial	String	○		○	高	△	△	
			柱頭	主筋	X方向_片側総本数	N_main_X_total_top	Integer	○		○	高	○	△	
					X方向_1段目本数	N_main_X_1st_top	Integer	○		○	高	○	△	
					Y方向_片側総本数	N_main_Y_total_top	Integer	○		○	高	○	△	
					Y方向_1段目本数	N_main_Y_1st_top	Integer	○		○	高	○	△	
					帯筋	径	D_hoop_top	String	○		○	高	△	△
			帯筋	X方向本数	N_hoop_direction_X_top	Integer	○		○	高	○	○		
				Y方向本数	N_hoop_direction_Y_top	Integer	○		○	高	○	○		
				ピッチ	pitch_hoop_top	Double	○		○	高	○	○		
			幅止筋	X方向本数	N_bar_spacing_X_top	Integer	○		×		—	×	×	
				Y方向本数	N_bar_spacing_Y_top	Integer	○		×		—	×	×	
			柱脚	芯鉄筋	本数	N_axial_top	Integer	○		○	高	○	△	
					主筋	X方向_片側総本数	N_main_X_total_bottom	Integer	○		○	高	○	△
						X方向_1段目本数	N_main_X_1st_bottom	Integer	○		○	高	○	△
						Y方向_片側総本数	N_main_Y_total_bottom	Integer	○		○	高	○	△
						Y方向_1段目本数	N_main_Y_1st_bottom	Integer	○		○	高	○	△
					帯筋	径	D_hoop_bottom	String	○		○	高	○	△
						X方向本数	N_hoop_direction_X_bottom	Integer	○		○	高	○	○
Y方向本数						N_hoop_direction_Y_bottom	Integer	○		○	高	○	○	
幅止筋	ピッチ	pitch_hoop_bottom			Double	○		○	高	○	○			
	X方向本数	N_bar_spacing_X_bottom			Integer	○		×		—	×	×		
幅止筋	Y方向本数	N_bar_spacing_Y_bottom	Integer	○		×		—	×	×				
	本数	N_axial_bottom	Integer	○		○	高	○	△					
パネル	帯筋	径	D_hoop_panel	String	○		○	高	△	×				
		X方向本数	N_hoop_direction_X_panel	Integer	○		○	高	△	×				
		Y方向本数	N_hoop_direction_Y_panel	Integer	○		○	高	△	×				
		ピッチ	pitch_hoop_panel	Double	○		○	高	△	×				
RC丸柱標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	○		
				種別(柱種別。COLUMN(柱)、POST(間柱))	kind_column	String	○		○	中	△	△		
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	○		
	材料情報	コンクリート	コンクリート		コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	○	
			鉄筋	種類の記号	柱頭_主筋	strength_main_top	String	○		○	高	△	△	
					柱頭_帯筋	strength_hoop_top	String	○		○	高	△	△	
					柱頭_幅止筋	strength_bar_spacing_top	String	○		×		—	△	×
					柱頭_芯鉄筋	strength_axial_top	String	○		○		高	△	△
					柱脚_主筋	strength_main_bottom	String	○		○		高	△	△
					柱脚_帯筋	strength_hoop_bottom	String	○		○		高	△	△
					柱脚_幅止筋	strength_bar_spacing_bottom	String	○		×		—	×	×
					柱脚_芯鉄筋	strength_axial_bottom	String	○		○		高	○	△

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解		
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない
RC丸柱標準	寸法情報	断面	径	D	Double	○		○	高	○	○	
			配筋情報	共通	主筋	径	D_main	String	○		○	高
	芯鉄筋	径			D_axial	String	○		○	高	△	△
	柱頭	主筋		本数	N_main_top	Integer	○		○	高	○	○
		帯筋		径	D_hoop_top	String	○		○	高	△	△
				ピッチ	pitch_hoop_top	Double	○		○	高	○	○
		幅止筋		X方向本数	N_bar_spacing_X_top	Integer	○		○	低	×	×
	Y方向本数			N_bar_spacing_Y_top	Integer	○		○	低	×	×	
	芯鉄筋			本数	N_axial_top	Integer	○		○	高	○	△
	柱脚			主筋	本数	N_main_bottom	Integer	○		○	高	○
		帯筋		径	D_hoop_bottom	String	○		○	高	○	△
				ピッチ	pitch_hoop_bottom	Double	○		○	高	○	○
		幅止筋		X方向本数	N_bar_spacing_X_bottom	Integer	○		×	一	×	×
				Y方向本数	N_bar_spacing_Y_bottom	Integer	○		×	一	×	×
		芯鉄筋		本数	N_axial_bottom	Integer	○		○	高	○	△
	パネル	帯筋	径	D_hoop_panel	String	○		○	高	△	×	
			ピッチ	pitch_hoop_panel	Double	○		○	高	△	×	

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

◆ 鉄筋コンクリート造 梁

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に同じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない		
RC梁3 断面標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	○		
				種別(基礎・片持ちを含む梁種別で以下による。GIRDER(大梁)、BEAM(小梁)、FOUNDATION GIRDER(基礎大梁)、FOUNDATION BEAM(基礎小梁))	kind_beam	String	○		○	中	△	△		
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	○		
	材料情報			コンクリート	コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	○	
				鉄筋 種類の記号	始端_主筋	strength_main_start	String	○		○	高	△	○	
					始端_肋筋	strength_stirrup_start	String	○		○	高	△	○	
					始端_腹筋	strength_web_start	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×	
					始端_幅止筋	strength_spacing_start	String	○		×	—	×	×	
					中央_主筋	strength_main	String	○		○	高	△	○	
					中央_肋筋	strength_stirrup	String	○		○	高	△	○	
					中央_腹筋	strength_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×	
					中央_幅止筋	strength_bar_spacing	String	○		×	—	×	×	
					終端_主筋	strength_main_end	String	○		○	高	△	○	
					終端_肋筋	strength_stirrup_end	String	○		○	高	△	○	
					終端_腹筋	strength_web_end	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×	
					終端_幅止筋	strength_spacing_end	String	○		×	—	×	×	
	寸法情報				始端	断面	幅	width_start	Double	○	○	高	○	○
				せい			depth_start	Double	○		○	高	○	○
				ハンチ		形状	kind_haunch_start	String	○		○	中	△	△
						長さ	haunch_start	Double		○	○	高	△	△
						水平方向寄りの種類	kind_haunch_position_H_start	String			○	低	×	×
						水平方向寄りの数値	haunch_position_H_start	Double		○	○	低	×	×
				中央		幅	width	Double	○		○	高	○	○
						せい	depth	Double	○		○	高	○	○
				終端		断面	幅	width_end	Double	○	○	高	○	○
							せい	depth_end	Double	○		○	高	○
					ハンチ	形状	kind_haunch_end	String	○		○	中 (水平ハンチと鉛直ハンチを分けるべき)	△	△
						長さ	haunch_end	Double		○	○	高	△	△
						水平方向寄りの種類	kind_haunch_position_H_end	String			○	低	×	×
						水平方向寄りの数値	haunch_position_H_end	Double		○	○	低	×	×
	配筋情報			共通	上端筋	1段目芯鉛直位置	position_V_main_top_1st	Double	○	○	高	△	△	
						下端筋	1段目芯鉛直位置	position_V_main_bottom_1st	Double	○		○	高	△
					肋筋 腹筋		径	D_stirrup	String	○		○	高	△
			径			D_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×	
			幅止筋			径	D_bar_spacing	String	○		×	—	×	
				ピッチ	pitch_bar_spacing	Double	○		×	—	×			

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解						
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない				
RC梁3 断面標準	始端	主筋	径	D_main_start	String	○			○	高	○	○				
			上端筋	総本数	N_main_Top_total_start	Integer	○			○	高	○	△			
				1段目本数	N_main_top_1st_start	Integer	○			○	高	○	△			
		下端筋	総本数	N_main_bottom_total_start	Integer	○			○	高	○	△				
			1段目本数	N_main_bottom_1st_start	Integer	○			○	高	○	△				
		肋筋	本数	N_stirrup_start	Integer	○			○	高	○	○				
			ピッチ	pitch_stirrup_start	Double	○			○	高	○	○				
		腹筋	本数	N_web_start	Integer	○			○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×				
													幅止筋	本数	N_bar_spacing_start	Integer
		中央	主筋	径	D_main	String	○			○	高	○	○			
				上端筋	総本数	N_main_Top_total	Integer	○			○	高	○	△		
					1段目本数	N_main_top_1st	Integer	○			○	高	○	△		
			下端筋	総本数	N_main_bottom_total	Integer	○			○	高	○	△			
				1段目本数	N_main_bottom_1st	Integer	○			○	高	○	△			
			肋筋	本数	N_stirrup	Integer	○			○	高	○	○			
	ピッチ			pitch_stirrup	Double	○			○	高	○	○				
	腹筋		本数	N_web	Integer	○			○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×				
													幅止筋	本数	N_bar_spacing	Integer
	終端		主筋	径	D_main_end	String	○			○	高	○	○			
				上端筋	総本数	N_main_Top_total_end	Integer	○			○	高	○	△		
					1段目本数	N_main_top_1st_end	Integer	○			○	高	○	△		
			下端筋	総本数	N_main_bottom_total_end	Integer	○			○	高	○	△			
				1段目本数	N_main_bottom_1st_end	Integer	○			○	高	○	△			
			肋筋	本数	N_stirrup_end	Integer	○			○	高	○	○			
		ピッチ		pitch_stirrup_end	Double	○			○	高	○	○				
		腹筋	本数	N_web_end	Integer	○			○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×				
													幅止筋	本数	N_bar_spacing_end	Integer
		RC梁2 断面標準	識別情報	符号	name	String	○			○	高	○	△			
					kind_beam	String	○			○	中	△	△			
			配置情報	所属階	floor	String	○	○		○	高	○	△			
														材料情報	鉄筋	種類の記号
			元端_主筋	strength_main	String	○			○	高	△	○				
													元端_肋筋			
元端_腹筋	strength_web		String	○			○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×						
											元端_幅止筋	strength_bar_spacing	String			
先端_主筋	strength_main_end		String	○				○	高	△						
											先端_肋筋	strength_stirrup_end	String			
先端_腹筋	strength_web_end		String	○				○	高	×						
											先端_幅止筋	strength_spacing_end	String			
寸法情報	元端		断面	幅	width	Double	○			○						
				せい	depth	Double	○			○	高	○	△			
				ハンチ	形状	kind_haunch_start	String	○			○	高	△			
		長さ			haunch_start	Double			○	○	高	△	△			
		水平方向寄りの種類			kind_haunch_position_H_start	String	○			○	高	×	×			
先端	断面	幅	width_end	Double	○			○	高	○	○					
		せい	depth_end	Double	○			○	高	○	○					

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解					
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない			
RC梁1 断面標準	配筋情報	共通	上端筋	1段目芯鉛直位置	position_V_main_top_1st	Double	○		○	高	△	△			
			下端筋	1段目芯鉛直位置	position_V_main_bottom_1st	Double	○		○	高	△	△			
			肋筋	径	D_stirrup	String	○		○	高	△	△			
			腹筋	径	D_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×			
			幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		×	—	×	×			
		元端	主筋	径	D_main	String	○		○	高	○	△			
			上端筋	総本数	N_main_Top_total	Integer	○		○	高	○	△			
				1段目本数	N_main_top_1st	Integer	○		○	高	○	△			
			下端筋	総本数	N_main_bottom_total	Integer	○		○	高	○	△			
				1段目本数	N_main_bottom_1st	Integer	○		○	高	○	△			
			肋筋	本数	N_stirrup	Integer	○		○	高	○	△			
			腹筋	径	D_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×			
			幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		×	—	×	×			
			先端	主筋	径	D_main_end	String	○		○	高	○	△		
				上端筋	総本数	N_main_Top_total_end	Integer	○		○	高	○	△		
		1段目本数		N_main_top_1st_end	Integer	○		○	高	○	△				
	下端筋	総本数		N_main_bottom_total_end	Integer	○		○	高	○	△				
		1段目本数		N_main_bottom_1st_end	Integer	○		○	高	○	△				
	RC梁1 断面標準	識別情報		符号	name	String	○		○	高	○	△			
					種別基礎・片持ちを含む梁種別で以下による。 GIRDER(大梁)、BEAM(小梁)、CANTI GIRDER(片持ち梁)、CANTI BEAM(片持ち小梁)、FOUNDATION GIRDER(基礎大梁)、FOUNDATION BEAM(基礎小梁)、FOUNDATION CANTI GIRDER(基礎片持ち大梁)、FOUNDATION CANTI BEAM(基礎片持ち小梁)	kind_beam	String	○		○	中	○	△		
				配置情報	所属階	floor	String	○	○	○	高	○	△		
			材料情報	鉄筋	種類の記号	主筋	強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	△
						肋筋	強度	strength_stirrup	String	○		○	高	△	○
	腹筋	強度				strength_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×		
	幅止筋	強度				strength_bar_spacing	String	○		×	—	×	×		
	寸法情報	断面		幅	width	Double	○		○	高	○	△			
				せい	depth	Double	○		○	高	○	△			
	配筋情報	全断	主筋	径	D_main	String	○		○	高	○	△			
				上端筋	総本数	N_main_Top_total	Integer	○		○	高	△	△		
					1段目本数	N_main_top_1st	Integer	○		○	高	○	△		
下端筋			1段目芯鉛直位置	position_V_main_top_1st	Double	○		○	高	△	△				
			総本数	N_main_bottom_total	Integer	○		○	高	○	△				
			1段目本数	N_main_bottom_1st	Integer	○		○	高	○	△				
肋筋			1段目芯鉛直位置	position_V_main_bottom_1st	Double	○		○	高	△	△				
			径	D_stirrup	String	○		○	高	△	△				
			本数	N_stirrup	Integer	○		○	高	△	△				
腹筋			径	D_web	String	○		○	中 (特殊な応力を受ける場合は必要)	×	×				
			本数	N_web	Integer	○		○	高	×	×				
			幅止筋	径	D_bar_spacing	String	○		×	—	×	×			
			本数	N_bar_spacing	Integer	○		×	—	×	×				
			ピッチ	pitch_bar_spacing	Double	○		×	—	×	×				

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【構造】

◆ 鉄骨造 柱

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解					
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない		
S柱H形鋼_標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	○		
				種別(以下による柱種別。COLUMN(柱)、POST(間柱))	kind_column	String	○		○	中	△	△		
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	○		
				鉄骨の向き	isReferenceDirection	Boolean	○		○	高	○	○		
	材料情報			フランジ材質	strength_main	String	○		○	高	○	○		
				ウェブ材質	strength_web	String	○		○	高	○	○		
	寸法情報			形状タイプ	type	String	○		○	低	△	△		
				高さ	H	Double	○		○	高	○	○		
				幅	B	Double	○		○	高	○	○		
				ウェブ厚さ	tw	Double	○		○	高	○	○		
				フランジ厚さ	tf	Double	○		○	高	○	○		
				ウェブフィレット	r	Double	○		△	中 (断面性能に影響あり)	△	△		
	接合情報			共通	継手	符号	name_joint	String	○	○	低	△	×	
						距離	joint	Double		○	○	低	△	△
				柱頭	仕口	条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_top	String	○		○	高	△	△
						条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_bottom	String	○		○	高	△	△
柱脚				仕口	形式(以下による。NONE(鉄骨柱脚なし)、EXPOSE(露出)、EMBEDDED(埋込)、WRAP(根巻))	base_type	String	○		○	高	△	△	
	S柱角形鋼管_標準				識別情報	符号	name	String	○	○	高	○	○	
識別情報			種別(以下による柱種別。COLUMN(柱)、POST(間柱))	kind_column	String	○		○	中	△	△			
			配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	○
配置情報			鉄骨の向き	isReferenceDirection	Boolean	○		○	高	○	○			
			材料情報			材質	strength_main	String	○		○	高	○	○
寸法情報			形状タイプ	type	String	○		○	高	△	△			
			高さ	H	Double	○		○	高	○	○			
			幅	B	Double	○		○	高	○	○			
			板厚	t1	Double	○		○	高	○	○			
			板厚2	t2	Double	○		○	高	○	△			
			外側フィレット	r	Double	○		△	中 (断面性能に影響あり)	△	△			
接合情報			共通	継手	符号	name_joint	String	○	○	低	△	×		
					距離	joint	Double		○	○	低	△	△	
			柱頭	仕口	条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_top	String	○		○	高	△	△	
					条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_bottom	String	○		○	高	△	△	
			柱脚	仕口	形式(以下による。NONE(鉄骨柱脚なし)、EXPOSE(露出)、EMBEDDED(埋込)、WRAP(根巻))	base_type	String	○		○	高	△	△	
S柱鋼管_標準					識別情報	符号	name	String	○	○	高	○	○	
識別情報			種別(以下による柱種別。COLUMN(柱)、POST(間柱))	kind_column	String	○		○	高	△	△			
			配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	△	○
材料情報			材質	strength_main	String	○		○	高	○	○			
寸法情報			直径	D	Double	○		○	高	○	○			
			板厚	t	Double	○		○	高	○	○			

2. [一般建築] 検討内容
 2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類								審査側見解		設計側見解	
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない
S柱鋼管標準	接合情報	共通	継手	符号	name_joint	String		○	○	低	△	×
				距離	joint	Double		○	○	低	△	△
		柱頭	仕口	条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_top	String	○		○	高	△	△
		柱脚	仕口	条件(以下による。FIX(固定)、PIN(ピン))	condition_bottom	String	○		○	高	△	△
				形式(以下による。NONE(鉄骨柱脚なし)、EXPOSE(露出)、EMBEDDED(埋込)、WRAP(根巻))	base_type	String	○		○	高	△	△

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

◆ 鉄骨造 梁

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解						
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない			
S梁H形鋼3断面標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	○			
				種別(片持ちを含む梁種別で以下による。GIRDER(大梁)、BEAM(小梁)、CANTIGIRDER(片持ち梁)、CANTI BEAM(片持ち小梁))	kind_beam	String	○		○	中	○	△			
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	○	○			
	材料情報	始端	中央	フランジ材質	strength_main_start	String	○		○	○	高	○	○		
				ウェブ材質	strength_web_start	String	○		○	○	高	○	△		
		終端	中央	フランジ材質	strength_main	String	○		○	○	高	○	○		
				ウェブ材質	strength_web	String	○		○	○	高	○	△		
			終端	フランジ材質	strength_main_end	String	○		○	○	高	○	○		
				ウェブ材質	strength_web_end	String	○		○	○	高	○	△		
	寸法情報	共通	位置合わせ	梁天端合わせ	alignment_top	String	○		○	○	高	×	×		
				ハンチ	水平方向寄りの種類	type_haunch_H	String		○	○	○	低	×	×	
			水平方向寄りの数値		haunch_position_H	Double		○	○	○	低	×	×		
			鉛直方向寄りの種類		type_haunch_V	String		○	○	○	低	×	×		
			鉛直方向寄りの数値		haunch_position_V	Double		○	○	○	低	×	×		
			始端	断面	形状タイプ	type_start	String	○			○	○	低	△	△
		高さ			H_start	Double	○			○	○	高	○	○	
		幅			B_start	Double	○			○	○	高	○	○	
		ウェブ厚さ			tw_start	Double	○			○	○	高	○	○	
		フランジ厚さ			tf_start	Double	○			○	○	高	○	○	
		ウェブ フィレット			r_start	Double	○			△	△	中 (断面性能に影響あり)	○	△	
		ハンチ			種類	kind_haunch_start	String	○			○	○	中 (鉛直ハンチと水平ハンチを分けるべき)	×	×
					長さ	haunch_start	Double	○			○	○	高	△	△
					水平部長さ	horizontal_haunch_start	Double	○			○	○	高	△	×
					サイドPL長さ	side_plate_start	Double	○			○	○	高	△	×
					サイドPL水平長さ	horizontal_side_plate_start	Double	○			○	○	高	△	×
					サイドPL先端立上り長さ	tip_side_plate_start	Double	○			○	×	一	△	×
		中央		断面	形状タイプ	type	String	○			○	○	低	△	△
					高さ	H	Double	○			○	○	高	○	○
					幅	B	Double	○			○	○	高	○	○
					ウェブ厚さ	tw	Double	○			○	○	高	○	○
					フランジ厚さ	tf	Double	○			○	○	高	○	○
					ウェブ フィレット	r	Double	○			△	△	中 (断面性能に影響あり)	○	△
			終端	断面	形状タイプ	type_end	String	○			○	○	低	△	△
					高さ	H_end	Double	○			○	○	高	○	○
					幅	B_end	Double	○			○	○	高	○	○
					ウェブ厚さ	tw_end	Double	○			○	○	高	○	○
					フランジ厚さ	tf_end	Double	○			○	○	高	○	○
					ウェブ フィレット	r_end	Double	○			△	△	中 (断面性能に影響あり)	○	△
		ハンチ	種類	kind_haunch_end	String	○			○	○	中 (鉛直ハンチと水平ハンチを分けるべき)	×	×		
	長さ		haunch_end	Double	○			○	○	高	△	△			
水平部長さ	horizontal_haunch_end		Double	○			○	○	高	△	×				
サイドPL長さ	side_plate_end		Double	○			○	○	高	△	×				
サイドPL水平長さ	horizontal_side_plate_end		Double	○			○	○	高	△	×				
サイドPL先端立上り長さ	tip_side_plate_end		Double	○			○	×	一	△	×				

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類								審査側見解		設計側見解		
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
S梁H形鋼3断面標準	接合情報	始端	仕口	条件	condition_start	String		○	○	高	△	△	
				継手	符号	name_joint_start	String		○	○	中	△	△
			距離	joint_start	Double		○	○	中	△	△		
		終端	仕口	条件	condition_end	String		○	○	高	△	△	
				継手	符号	name_joint_end	String		○	○	中	△	△
			距離	joint_end	Double		○	○	中	△	△		
S梁H形鋼2断面標準	識別情報			符号	name	String	○	○	○	高	○	△	
				種別(片持ちを含む梁種別で以下による。GIRDER(大梁)、BEAM(小梁)、CANTI GIRDER(片持ち梁)、CANTI BEAM(片持ち小梁))	kind_beam	String	○		○	中	△	△	
		配置情報		所属階		floor	String	○	○	○	高	△	△
		材料情報	元端	フランジ材質		strength_main	String	○		○	高	○	△
				ウェブ材質		strength_web	String	○		○	高	○	△
			先端	フランジ材質		strength_main_end	String	○		○	高	○	△
				ウェブ材質		strength_web_end	String	○		○	高	○	△
		寸法情報	元端	断面	形状タイプ	type	String	○		○	中	△	△
					高さ	H	Double	○		○	高	○	△
					幅	B	Double	○		○	高	○	△
					ウェブ厚さ	tw	Double	○		○	高	○	△
					フランジ厚さ	tf	Double	○		○	高	○	△
					ウェブ フィレット	r	Double	○		△	中 (断面性能に影響あり)	○	△
					種類	kind_haunch	String	○		○	中 (鉛直ハンチと水平ハンチを分けるべき)	×	×
					長さ	haunch	Double	○		○	高	△	△
					水平部長さ	horizontal_haunch	Double	○		○	高	△	×
			サイドPL長さ	side_plate	Double	○		○	高	△	×		
			サイドPL水平長さ	horizontal_side_plate	Double	○		○	高	△	×		
			サイドPL先端立上り長さ	tip_side_plate	Double	○		×	一	△	×		
			水平方向寄りの種類	type_haunch_H	String		○	○	低	×	×		
			水平方向寄りの数値	haunch_position_H	Double		○	○	低	×	×		
			鉛直方向寄りの種類	type_haunch_V	String		○	○	低	×	×		
			鉛直方向寄りの数値	haunch_position_V	Double		○	○	低	×	×		
			先端	断面	形状タイプ	type_end	String	○		○	低	△	△
					高さ	H_end	Double	○		○	高	○	△
		幅			B_end	Double	○		○	高	○	△	
		ウェブ厚さ			tw_end	Double	○		○	高	○	△	
フランジ厚さ	tf_end	Double			○		○	高	○	△			
ウェブ フィレット	r_end	Double			○		△	中 (断面性能に影響あり)	○	△			
接合情報	元端	仕口	条件	condition_start	String		○	○	高	×	△		
			継手	符号	name_joint	String		○	○	高	△	△	
		距離	joint	Double		○	○	中	△	△			

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解		
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない
S梁H形鋼1断面標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	△
				種別(片持ちを含む梁種別で以下による。GIRDER(大梁)、BEAM(小梁)、CANTI GIRDER(片持ち梁)、CANTI BEAM(片持ち小梁))	kind_beam	String	○		○	中	△	△
	配置情報			所属階	floor	String	○	○	○	高	○	△
	材料情報			フランジ材質	strength_main	String	○		○	高	○	△
				ウェブ材質	strength_web	String	○		○	高	○	△
	寸法情報			形状タイプ	type	String	○		○	低	○	△
				高さ	H	Double	○		○	高	○	△
				幅	B	Double	○		○	高	○	△
				ウェブ厚さ	tw	Double	○		○	高	○	△
				フランジ厚さ	tf	Double	○		○	高	○	△
				ウェブフレット	r	Double	○		△	中 (断面性能に影響あり)	○	△
	接合情報	始端	仕口	条件	condition_start	String		○	○	高	×	△
		終端	仕口	条件	condition_end	String		○	○	高	×	△

②審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【構造】

◆鉄筋コンクリート造 基礎

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RC矩形基礎標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	△	△	
	配置情報			節点から荷重点のオフセット(X方向)	X_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				節点から荷重点のオフセット(Y方向)	Y_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				節点から作用点のオフセット(X方向)	X_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				節点から作用点のオフセット(Y方向)	Y_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				回転角度	rotate	Double	○		○	高	△	×	
	材料情報	コンクリート	コンクリート強度		strength concrete	String	○	○	○	高	△	△	
			鉄筋	種類の記号	X方向 上端筋	strength X_top	String	○	○	○	高	△	△
					X方向 下端筋	strength X_bottom	String	○	○	○	高	△	△
					Y方向 上端筋	strength Y_top	String	○	○	○	高	△	△
					Y方向 下端筋	strength Y_bottom	String	○	○	○	高	△	△
					横筋	strength horizontal	String	○	○	○	中	△	×
		寸法情報	断面	X幅		Lx	Double	○	○	○	高	△	△
				Y幅		Ly	Double	○	○	○	高	△	△
				厚さ		D	Double	○	○	○	高	△	△
				回転角度		rotate	Double	○	○	○	高	△	△
	配筋情報	X方向	上端筋	径	D X_top	String	○	○	○	高	△	△	
				本数	N X_top	Integer	○	○	○	高	△	△	
			下端筋	径	D X_bottom	String	○	○	○	高	△	△	
				本数	N X_bottom	Integer	○	○	○	高	△	△	
Y方向		上端筋	径	D Y_top	String	○	○	○	高	△	△		
			本数	N Y_top	Integer	○	○	○	高	△	△		
		下端筋	径	D Y_bottom	String	○	○	○	高	△	△		
			本数	N Y_bottom	Integer	○	○	○	高	△	△		
横筋		径	D horizontal	String	○	○	○	中	△	×			
		本数	N horizontal	Integer	○	○	○	中	△	×			
杭情報	配置	下端筋かぶり厚さ		bottom_cover	Double	○	○	○	高	△	×		
RC直角三角形基礎標準	識別情報			符号	name	String	○	○	○	高	△	△	
	配置情報			節点からのオフセット(X方向)	X_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				節点からのオフセット(Y方向)	Y_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				荷重点からのオフセット(X方向)	X_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				荷重点からのオフセット(Y方向)	Y_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×	
				回転角度	rotate	Double	○		○	高	△	×	
	材料情報	コンクリート	コンクリート強度		strength concrete	String	○	○	○	高	△	△	
			鉄筋	種類の記号	主筋方向 上端筋	strength_main_top	String	○	○	○	高	△	△
					主筋方向 下端筋	strength_main_bottom	String	○	○	○	高	△	△
					配筋方向 上端筋	strength_transverse_top	String	○	○	○	高	△	△
					配筋方向 下端筋	strength_transverse_bottom	String	○	○	○	高	△	△
					横筋	strength horizontal	String	○	○	○	中	△	×
		寸法情報	断面	X幅		Lx	Double	○	○	○	高	△	△
				Y幅		Ly	Double	○	○	○	高	△	△
				厚さ		D	Double	○	○	○	高	△	△
				回転角度		rotate	Double	○	○	○	高	△	△

2. [一般建築] 検討内容

2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類								審査側見解		設計側見解		
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RC直角三角形基礎標準	配筋情報	主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_main_top	Integer	○		○	高	△	△	
			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		○	高	△	△	
		配力筋方向	上端筋	径	D_transverse_top	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_transverse_top	Integer	○		○	高	△	△	
			下端筋	径	D_transverse_bottom	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_transverse_bottom	Integer	○		○	高	△	△	
	横筋	径	D_horizontal	String	○		○	中	△	×			
		本数	N_horizontal	Integer	○		○	中	△	×			
	杭情報	配置	下端筋かぶり厚さ		bottom_cover	Double	○		○	高	△	×	
			符号		name	String	○		○	高	△	△	
	RC正三角形基礎標準	識別情報	配置情報		符号	name	String	○		○	高	△	△
			配置情報		節点からのオフセット(X方向)	X_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×
			配置情報		節点からのオフセット(Y方向)	Y_load_point_offset	Double		○	○	高	△	×
配置情報			荷重点からのオフセット(X方向)	X_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×		
配置情報			荷重点からのオフセット(Y方向)	Y_work_point_offset	Double		○	○	高	△	×		
配置情報			回転角度	rotate	Double	○		○	高	△	×		
材料情報			コンクリート	種類		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		○	高	△
		鉄筋		種類	主筋方向 上端筋	main_top_strength	String	○		○	高	△	△
			主筋方向 下端筋		main_bottom_strength	String	○		○	高	△	△	
			記号	外周 上端筋	outside_top_strength	String	○		○	高	△	△	
				外周 下端筋	outside_bottom_strength	String	○		○	高	△	△	
				横筋	horizontal_strength	String	○		○	中	△	×	
		寸法情報	断面	底辺幅		Lx	Double	○		○	高	△	△
面取り幅				Ly	Double	○		○	高	△	△		
厚さ				D	Double	○		○	高	△	△		
配筋情報				主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		○	高	△
配筋情報		主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_main_top	Integer	○		○	高	△	△	
			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_main_bottom	Integer	○		○	高	△	△	
				外周	上端筋	径	D_outside_top	String	○		○	高	△
			配力筋方向	上端筋	径	D_transverse_top	String	○		○	高	△	△
					本数	N_transverse_top	Integer	○		○	高	△	△
		下端筋		径	D_transverse_bottom	String	○		○	高	△	△	
				本数	N_transverse_bottom	Integer	○		○	高	△	△	
		横筋	径	D_horizontal	String	○		○	中	△	×		
			本数	N_horizontal	Integer	○		○	中	△	×		
	杭情報		配置	下端筋かぶり厚さ		bottom_cover	Double	○		○	高	△	×
		符号		name	String	○		○	高	△	△		
	RC連続基礎標準	識別情報	配置情報		オフセット	offset	Double	○		○	高	△	△
配置情報			符号	name	String	○		○	高	△	△		
材料情報		コンクリート	種類		コンクリート強度	strength_concrete	String	○		○	高	△	△
			鉄筋	種類	主筋方向 上端筋	main_top_strength	String	○		○	高	△	△
		主筋方向 下端筋			main_bottom_strength	String	○		○	高	△	△	
		記号		配力筋方向 上端筋	transverse_top_strength	String	○		○	高	△	△	
				配力筋方向 下端筋	transverse_bottom_strength	String	○		○	高	△	△	
				横筋	horizontal_strength	String	○		○	中	△	×	
		寸法情報	断面	幅		W	Double	○		○	高	△	△
根元厚さ				D	Double	○		○	高	△	△		
先端厚さ				De	Double	○		○	高	△	△		
配筋情報				主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		○	高	△
配筋情報		主筋方向	上端筋	径	D_main_top	String	○		○	高	△	△	
				ピッチ	N_main_top	Double	○		○	高	△	△	
			下端筋	径	D_main_bottom	String	○		○	高	△	△	
				ピッチ	N_main_bottom	Double	○		○	高	△	△	
				配力筋方向	上端筋	径	D_transverse_top	String	○		○	高	△
			配力筋方向	上端筋	本数	N_transverse_top	Integer	○		○	高	△	△
					径	D_transverse_bottom	String	○		○	高	△	△
		下端筋		本数	N_transverse_bottom	Integer	○		○	高	△	△	
				径	D_horizontal	String	○		○	中	△	×	
		横筋	本数	N_horizontal	Integer	○		○	中	△	×		

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

◆ 鉄筋コンクリート造 床

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RCスラブ標準	識別情報 荷重情報			符号	name	String	○		○	高	○	△	
				室用途	use	String		○	○	○	高	×	×
				仕上り重量	weight	Double		○	○	○	高	○	△
				積載荷重(床用)	liveload_slab	Double		○	○	○	高	○	△
				積載荷重(小梁用)	liveload_beam	Double		○	○	○	高	○	△
				積載荷重(架構用)	liveload_frame	Double		○	○	○	高	○	△
	材料情報	コンクリート	鉄筋	種類の記号	積載荷重(地震用)	liveload_seismic	Double		○	○	高	○	△
					コンクリート強度	strength_concrete	String	○		○	高	○	△
					主筋方向 上端筋 太径	strength_main_bar1_top	String	○		○	高	○	×
					主筋方向 上端筋 細径	strength_main_bar2_top	String	○		○	高	○	×
					主筋方向 下端筋 太径	strength_main_bar1_bottom	String	○		○	高	○	×
					主筋方向 下端筋 細径	strength_main_bar2_bottom	String	○		○	高	○	×
					配力筋方向 上端筋 太径	strength_transverse_bar1_top	String	○		○	高	○	×
					配力筋方向 上端筋 細径	strength_transverse_bar2_top	String	○		○	高	○	×
					配力筋方向 下端筋 太径	strength_transverse_bar1_bottom	String	○		○	高	○	×
					配力筋方向 下端筋 細径	strength_transverse_bar2_bottom	String	○		○	高	○	×
					型枠	製品種別	kind_form	String	○		△	低	○ (合床床板以外は不要)
	寸法情報	断面			厚さ	depth	Double	○		○	高	○	○ (合床床板などは等価厚さとなる)
	配筋情報	主筋方向	端部		上端筋 太径	D_main_bar1_end_top	String	○		○	高	○	×
					上端筋 細径	D_main_bar2_end_top	String	○		○	高	○	×
					上端筋 ピッチ	pitch_main_end_top	Double	○		○	高	○	×
					下端筋 太径	D_main_bar1_end_bottom	String	○		○	高	○	×
					下端筋 細径	D_main_bar2_end_bottom	String	○		○	高	○	×
			中央	下端筋 ピッチ	pitch_main_end_bottom	Double	○		○	高	○	×	
				上端筋 太径	D_main_bar1_center_top	String	○		○	高	○	×	
				上端筋 細径	D_main_bar2_center_top	String	○		○	高	○	×	
上端筋 ピッチ				pitch_main_center_top	Double	○		○	高	○	×		
下端筋 太径				D_main_bar1_center_bottom	String	○		○	高	○	×		
配力筋方向		端部			下端筋 細径	D_main_bar2_center_bottom	String	○		○	高	○	×
					下端筋 ピッチ	pitch_main_center_bottom	Double	○		○	高	○	×
					上端筋 太径	D_transverse_bar1_end_top	String	○		○	高	○	×
					上端筋 細径	D_transverse_bar2_end_top	String	○		○	高	○	×
					上端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_top	Double	○		○	高	○	×
		中央	下端筋 太径	D_transverse_bar1_end_bottom	String	○		○	高	○	×		
			下端筋 細径	D_transverse_bar2_end_bottom	String	○		○	高	○	×		
			下端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_bottom	Double	○		○	高	○	×		
			上端筋 太径	D_transverse_bar1_center_top	String	○		○	高	○	×		
			上端筋 細径	D_transverse_bar2_center_top	String	○		○	高	○	×		
配筋角度				上端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_top	Double	○		○	高	○	×	
				下端筋 太径	D_transverse_bar1_center_bottom	String	○		○	高	○	×	
				下端筋 細径	D_transverse_bar2_center_bottom	String	○		○	高	○	×	
				下端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_bottom	Double	○		○	高	○	×	
				主筋方向角度	angle_main_bar	Double		○	○	高	○	全オブジェクトへの入力 は現実的ではない	×
RC片持ちスラブ標準	識別情報 荷重情報			符号	name	String	○		○	高	○	△	
				室用途	use	String		○	○	高	×	×	
				仕上り重量	weight	Double		○	○	高	○	△	
				積載荷重(床用)	liveload_slab	Double		○	○	高	○	△	
				積載荷重(小梁用)	liveload_beam	Double		○	○	高	○	△	
				積載荷重(架構用)	liveload_frame	Double		○	○	高	○	△	
				積載荷重(地震用)	liveload_seismic	Double		○	○	高	○	△	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解							
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが △:出せるチームがある ×:出せない、出さない					
RC片持ちスラブ標準	材料情報	コンクリート	鉄筋 種類の記号	コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	△					
				主筋方向 上端筋 太径	strength_main_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×					
				主筋方向 上端筋 細径	strength_main_bar2_top	String	○	○	○	高	○	×					
				主筋方向 下端筋 太径	strength_main_bar1_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
				主筋方向 下端筋 細径	strength_main_bar2_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
				配力筋方向 上端筋 太径	strength_transverse_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×					
				配力筋方向 上端筋 細径	strength_transverse_bar2_top	String	○	○	○	高	○	×					
				配力筋方向 下端筋 太径	strength_transverse_bar1_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
				配力筋方向 下端筋 細径	strength_transverse_bar2_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
				寸法情報	断面	元端厚さ	depth_base	Double	○	○	○	高	○	△			
						先端厚さ	depth_tip	Double	○	○	○	高	○	△			
						配筋情報	主筋方向	元端	上端筋 太径	D_main_bar1_base_top	String	○	○	○	高	○	×
									上端筋 細径	D_main_bar2_base_top	String	○	○	○	高	○	×
									上端筋 ピッチ	pitch_main_base_top	Double	○	○	○	高	○	△
	先端	下端筋 太径	D_main_bar1_base_bottom					String	○	○	○	高	○	×			
		下端筋 細径	D_main_bar2_base_bottom					String	○	○	○	高	○	×			
		下端筋 ピッチ	pitch_main_base_bottom					Double	○	○	○	高	○	△			
	配力筋方向	上端筋 太径	D_main_bar1_tip_top			String	○	○	○	高	○	×					
		上端筋 細径	D_main_bar2_tip_top			String	○	○	○	高	○	×					
		上端筋 ピッチ	pitch_main_tip_top			Double	○	○	○	高	○	△					
		下端筋 太径	D_main_bar1_tip_bottom			String	○	○	○	高	○	×					
		下端筋 細径	D_main_bar2_tip_bottom			String	○	○	○	高	○	×					
		下端筋 ピッチ	pitch_main_tip_bottom	Double	○	○	○	高	○	△							
		上端筋 太径	D_transverse_bar1_base_top	String	○	○	○	高	○	×							
	上端筋 細径	D_transverse_bar2_base_top	String	○	○	○	高	○	×								
	上端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_top	Double	○	○	○	高	○	△								
	配筋角度	主筋方向角度	上端筋 太径	D_transverse_bar1_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×						
			上端筋 細径	D_transverse_bar2_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×						
			上端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_bottom	Double	○	○	○	高	○	△						
			下端筋 太径	D_transverse_bar1_base_top	String	○	○	○	高	○	×						
	基礎スラブ標準	識別情報	符号	name	String	○	○	○	高	○	△						
			室用途	use	String	○	○	○	高	○	×						
		荷重情報	仕上げ重量	weight	Double	○	○	○	高	○	△						
			積載荷重(床用)	liveload_slab	Double	○	○	○	高	○	△						
			積載荷重(小梁用)	liveload_beam	Double	○	○	○	高	○	△						
			積載荷重(架構用)	liveload_frame	Double	○	○	○	高	○	△						
			積載荷重(地震用)	liveload_seismic	Double	○	○	○	高	○	△						
			材料情報	コンクリート	鉄筋 種類の記号	コンクリート強度	strength_concrete	String	○	○	○	高	○	△			
						主筋方向 上端筋 太径	strength_main_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×			
		主筋方向 上端筋 細径				strength_main_bar2_top	String	○	○	○	高	○	×				
		主筋方向 下端筋 太径				strength_main_bar1_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
		主筋方向 下端筋 細径				strength_main_bar2_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
		配力筋方向 上端筋 太径				strength_transverse_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×				
	配力筋方向 上端筋 細径	strength_transverse_bar2_top				String	○	○	○	高	○	×					
	寸法情報	断面	厚さ	depth	Double	○	○	○	高	○	△ (地下ピットの場合は等価厚さで入力する場合もある)						

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解						
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない			
基礎スラブ標準	配筋情報	主筋方向	端部	上端筋 太径	D_main_bar1_end_top	String	○	○	○	高	○	×			
				上端筋 細径	D_main_bar2_end_top	String	○	○	○	高	○	×			
				上端筋 ピッチ	pitch_main_end_top	Double	○	○	○	高	○	△			
				下端筋 太径	D_main_bar1_end_bottom	String	○	○	○	高	○	×			
				下端筋 細径	D_main_bar2_end_bottom	String	○	○	○	高	○	×			
				下端筋 ピッチ	pitch_main_end_bottom	Double	○	○	○	高	○	△			
				中央	上端筋 太径	D_main_bar1_center_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 細径	D_main_bar2_center_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 ピッチ	pitch_main_center_top	Double	○	○	○	高	○	△		
					下端筋 太径	D_main_bar1_center_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 細径	D_main_bar2_center_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 ピッチ	pitch_main_center_bottom	Double	○	○	○	高	○	△		
			配力筋方向	端部	上端筋 太径	D_transverse_bar1_end_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 細径	D_transverse_bar2_end_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_top	Double	○	○	○	高	○	△		
					下端筋 太径	D_transverse_bar1_end_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 細径	D_transverse_bar2_end_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 ピッチ	pitch_transverse_end_bottom	Double	○	○	○	高	○	△		
				中央	上端筋 太径	D_transverse_bar1_center_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 細径	D_transverse_bar2_center_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_top	Double	○	○	○	高	○	△		
					下端筋 太径	D_transverse_bar1_center_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 細径	D_transverse_bar2_center_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
					下端筋 ピッチ	pitch_transverse_center_bottom	Double	○	○	○	高	○	△		
			配筋角度	主筋方向角度	angle_main_bar	Double	○	○	○	高	全オブジェクトへの入力 は現実的ではない	×			
			基礎片持ちスラブ標準	識別情報	符号		name	String	○	○	○	高	○	△	
					荷重情報	室用途		use	String	○	○	○	高	○	×
						仕上り重量		weight	Double	○	○	○	高	○	△
				積載荷重(床用)		liveload_slab	Double	○	○	○	高	○	△		
				材料情報	コンクリート	積載荷重(小梁用)		liveload_beam	Double	○	○	○	高	○	△
積載荷重(架構用)		liveload_frame				Double	○	○	○	高	○	△			
積載荷重(地震用)		liveload_seismic				Double	○	○	○	高	○	△			
コンクリート強度		strength_concrete				String	○	○	○	高	○	△			
鉄筋	種類の記号	主筋方向 上端筋 太径				strength_main_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×		
		主筋方向 上端筋 細径				strength_main_bar2_top	String	○	○	○	高	○	×		
		主筋方向 下端筋 太径				strength_main_bar1_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
		主筋方向 下端筋 細径				strength_main_bar2_bottom	String	○	○	○	高	○	×		
		配力筋方向 上端筋 太径				strength_transverse_bar1_top	String	○	○	○	高	○	×		
		配力筋方向 上端筋 細径		strength_transverse_bar2_top	String	○	○	○	高	○	×				
寸法情報	断面	厚さ		depth	Double	○	○	○	高	○	△				
		配筋情報	主筋方向	元端	上端筋 太径	D_main_bar1_base_top	String	○	○	○	高	○	×		
					上端筋 細径	D_main_bar2_base_top	String	○	○	○	高	○	×		
上端筋 ピッチ	pitch_main_base_top				Double	○	○	○	高	○	△				
先端	下端筋 太径			D_main_bar1_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
	下端筋 細径			D_main_bar2_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
	下端筋 ピッチ			pitch_main_base_bottom	Double	○	○	○	高	○	△				
配力筋方向	上端筋 太径		上端筋 太径	D_main_bar1_tip_top	String	○	○	○	高	○	×				
			上端筋 細径	D_main_bar2_tip_top	String	○	○	○	高	○	×				
			上端筋 ピッチ	pitch_main_tip_top	Double	○	○	○	高	○	△				
	下端筋 太径		下端筋 太径	D_main_bar1_tip_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
			下端筋 細径	D_main_bar2_tip_bottom	String	○	○	○	高	○	×				
			下端筋 ピッチ	pitch_main_tip_bottom	Double	○	○	○	高	○	△				
配力筋方向	上端筋 太径	上端筋 太径	D_transverse_bar1_base_top	String	○	○	○	高	○	×					
		上端筋 細径	D_transverse_bar2_base_top	String	○	○	○	高	○	×					
		上端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_top	Double	○	○	○	高	○	△					
	下端筋 太径	下端筋 太径	D_transverse_bar1_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
		下端筋 細径	D_transverse_bar2_base_bottom	String	○	○	○	高	○	×					
		下端筋 ピッチ	pitch_transverse_base_bottom	Double	○	○	○	高	○	△					
配筋角度	主筋方向角度	angle_main_bar	Double	○	○	○	高	全オブジェクトへの入力 は現実的ではない	×						

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

◆鉄筋コンクリート造 壁

部材の種類	パラメータの分類						審査側見解		設計側見解					
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが △:出せるチームがある ×:出せない、出さない		
RC壁1 断面標準	識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	△		
				耐力区分	kind_wall	String	○		○	高	△	△		
	材料情報	コンクリート	種類の記号	コンクリート強度			strength_concrete	Integer	○		○	高	○	○
				縦筋_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1	String	○		○	高	○	○
				縦筋_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2	String	○		○	高	○	△
				横筋_主筋1_種類の記号			strength_horizontal_bar1	String	○		○	高	○	○
				横筋_主筋2_種類の記号			strength_horizontal_bar2	String	○		○	高	○	△
				幅止筋_種類の記号			strength_spacing_bar	String	○		×	—	×	×
	寸法情報	断面		厚さ	t	Double	○		○	高	○	○		
	配筋情報	配筋		配筋タイプ			bar_layout	String	○		○	高	○	△
		縦筋	径1		D_vertical_bar1	String	○		○	高	○	○		
			径2		D_vertical_bar2	String	○		○	高	○	△		
			ピッチ		pitch_vertical_bar	Double	○		○	高	○	○		
		横筋	径1		D_horizontal_bar1	String	○		○	高	○	○		
			径2		D_horizontal_bar2	String	○		○	高	○	△		
			ピッチ		pitch_horizontal_bar	Double	○		○	高	○	○		
		幅止筋	径		D_bar_spacing	String	○		×	—	×	×		
ピッチ			pitch_bar_spacing	Double	○		×	—	×	×				
RC壁3 断面標準		識別情報			符号	name	String	○		○	高	○	△	
				耐力区分	kind_wall	String	○		○	高	△	△		
				土圧壁か否か	isPress	boolean	○		○	高	△	×		
				土に接するか否か(外側)	soil_outside	boolean		○	○	高	×	×		
				土に接するか否か(内側)	soil_inside	boolean		○	○	高	×	×		
	材料情報	コンクリート	種類の記号	コンクリート強度			strength_concrete	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_上部_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_outside_top	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_上部_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2_outside_top	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_中央_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_outside_center	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_中央_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2_outside_center	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_下部_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_outside_bottom	String	○		○	高	○	△
				縦筋_外側_下部_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2_outside_bottom	String	○		○	高	○	△
				縦筋_内側_上部_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_inside_top	String	○		○	高	○	△
				縦筋_内側_上部_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2_inside_top	String	○		○	高	○	△
				縦筋_内側_中央_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_inside_center	String	○		○	高	○	△
				縦筋_内側_中央_主筋2_種類の記号			strength_vertical_bar2_inside_center	String	○		○	高	○	△
				縦筋_内側_下部_主筋1_種類の記号			strength_vertical_bar1_inside_bottom	String	○		○	高	○	△
縦筋_内側_下部_主筋2_種類の記号				strength_vertical_bar2_inside_bottom	String	○		○	高	○	△			
横筋_外側_始端_主筋1_種類の記号				strength_horizontal_bar1_outside_start	String	○		○	高	○	△			
横筋_外側_始端_主筋2_種類の記号				strength_horizontal_bar2_outside_start	String	○		○	高	○	△			
横筋_外側_中央_主筋1_種類の記号				strength_horizontal_bar1_outside_center	String	○		○	高	○	△			
横筋_外側_中央_主筋2_種類の記号				strength_horizontal_bar2_outside_center	String	○		○	高	○	△			
横筋_外側_終端_主筋1_種類の記号			strength_horizontal_bar1_outside_end	String	○		○	高	○	△				

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解			
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RC壁3 断面標準	材料情報	鉄筋	種類の記号	横筋_外側_終端_主筋2_種類の記号	strength_horizontal_bar2_outside_end	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_始端_主筋1_種類の記号	strength_horizontal_bar1_inside_start	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_始端_主筋2_種類の記号	strength_horizontal_bar2_inside_start	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_中央_主筋1_種類の記号	strength_horizontal_bar1_inside_center	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_中央_主筋2_種類の記号	strength_horizontal_bar2_inside_center	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_終端_主筋1_種類の記号	strength_horizontal_bar1_inside_end	String	○		○	高	○	△	
				横筋_内側_終端_主筋2_種類の記号	strength_horizontal_bar2_inside_end	String	○		○	高	○	△	
				幅止筋_種類の記号	strength_spacing_bar	String	○		×	—	×	×	
	寸法情報	断面	上部	厚さ	t_top	Double	○		○	高	○	△	
				切り替え位置	switch_top	Double	○		○	高	△	×	
			中央	厚さ	t	Double	○		○	高	○	△	
				切り替え位置	switch_center	Double	○		○	高	△	×	
	下部	厚さ	t_bottom	Double	○		○	高	○	△			
		配筋タイプ	共通	外側_最外縁の主筋方向	outside_outermost_main_direction	String	○		○	高	△	×	
	内側_最外縁の主筋方向			inside_outermost_main_direction	String	○		○	高	△	×		
	外側のタイプ			type_outside	String		○	○	高	△	×		
	配筋情報	縦筋	共通	上部_鉄筋切り替え位置	switch_top_bar	Double	○		○	高	△	×	
				中央_鉄筋切り替え位置	switch_center_bar	Double	○		○	高	△	×	
				外側	上部_径1	D_vertical_bar1_outside_top	String	○		○	高	△	△
					上部_径2	D_vertical_bar2_outside_top	String	○		○	高	△	△
					上部_ピッチ	pitch_vertical_bar_outside_top	Double	○		○	高	△	△
			上部_最内側ピッチ		innermost_pitch_vertical_bar_outside_top	Double	○		○	高	△	×	
			上部_段数		layer_vertical_bar_outside_top	Integer	○		○	高	△	×	
			内側	中央_径1	D_vertical_bar1_outside_center	String	○		○	高	△	△	
				中央_径2	D_vertical_bar2_outside_center	String	○		○	高	△	△	
				中央_ピッチ	pitch_vertical_bar_outside_center	Double	○		○	高	△	△	
		中央_最内側ピッチ		innermost_pitch_vertical_bar_outside_center	Double	○		○	高	△	×		
		中央_段数		layer_vertical_bar_outside_center	Integer	○		○	高	△	×		
		下部_径1		D_vertical_bar1_outside_bottom	String	○		○	高	△	△		
		下部_径2		D_vertical_bar2_outside_bottom	String	○		○	高	△	△		
		下部_ピッチ		pitch_vertical_bar_outside_bottom	Double	○		○	高	△	△		
		下部_最内側ピッチ		innermost_pitch_vertical_bar_outside_bottom	Double	○		○	高	△	×		
		下部_段数		layer_vertical_bar_outside_bottom	Integer	○		○	高	△	×		
		内側	上部_径1	D_vertical_bar1_inside_top	String	○		○	高	△	△		
			上部_径2	D_vertical_bar2_inside_top	String	○		○	高	△	△		
			上部_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_top	Double	○		○	高	△	△		
	上部_最内側ピッチ		innermost_pitch_vertical_bar_inside_top	Double	○		○	高	△	×			
上部_段数	layer_vertical_bar_inside_top		Integer	○		○	高	△	×				

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類							審査側見解		設計側見解			
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが △:出せるチームがある ×:出せない、出さない	
RC壁3 断面標準	配筋情報	縦筋	内側	中央_径1	D.vertical_bar1_inside_center	String	○		○	高	△	△	
				中央_径2	D.vertical_bar2_inside_center	String	○		○	高	△	△	
				中央_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_center	Double	○		○	高	△	△	
				中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_inside_center	Double	○		○	高	△	×	
				中央_段数	layer_vertical_bar_inside_center	Integer	○		○	高	△	×	
				下部_径1	D.vertical_bar1_inside_bottom	String	○		○	高	△	△	
				下部_径2	D.vertical_bar2_inside_bottom	String	○		○	高	△	△	
				下部_ピッチ	pitch_vertical_bar_inside_bottom	Double	○		○	高	△	△	
				下部_最内側ピッチ	innermost_pitch_vertical_bar_inside_bottom	Double	○		○	高	△	×	
			下部_段数	layer_vertical_bar_inside_bottom	Integer	○		○	高	△	×		
			横筋	外側	始端_径1	D.horizontal_bar1_outside_start	String	○		○	高	△	△
					始端_径2	D.horizontal_bar2_outside_start	String	○		○	高	△	△
					始端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_outside_start	Double	○		○	高	△	△
					始端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_outside_start	Double	○		○	高	△	×
					始端_段数	layer_horizontal_bar_outside_start	Integer	○		○	高	△	×
					中央_径1	D.horizontal_bar1_outside_center	String	○		○	高	△	△
					中央_径2	D.horizontal_bar2_outside_center	String	○		○	高	△	△
					中央_ピッチ	pitch_horizontal_bar_outside_center	Double	○		○	高	△	△
		中央_最内側ピッチ			innermost_pitch_horizontal_bar_outside_center	Double	○		○	高	△	×	
		中央_段数		layer_horizontal_bar_outside_center	Integer	○		○	高	△	×		
		終端_径1		D.horizontal_bar1_outside_end	String	○		○	高	△	△		
		終端_径2		D.horizontal_bar2_outside_end	String	○		○	高	△	△		
		終端_ピッチ		pitch_horizontal_bar_outside_end	Double	○		○	高	△	△		
		終端_最内側ピッチ		innermost_pitch_horizontal_bar_outside_end	Double	○		○	高	△	×		
		終端_段数		layer_horizontal_bar_outside_end	Integer	○		○	高	△	×		
		内側		始端_径1	D.horizontal_bar1_inside_start	String	○		○	高	△	△	
				始端_径2	D.horizontal_bar2_inside_start	String	○		○	高	△	△	
				始端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_start	Double	○		○	高	△	△	
			始端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_start	Double	○		○	高	△	×		
			始端_段数	layer_horizontal_bar_inside_start	Integer	○		○	高	△	×		
			中央_径1	D.horizontal_bar1_inside_center	String	○		○	高	△	△		
			中央_径2	D.horizontal_bar2_inside_center	String	○		○	高	△	△		
			中央_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_center	Double	○		○	高	△	△		
			中央_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_center	Double	○		○	高	△	×		
		中央_段数	layer_horizontal_bar_inside_center	Integer	○		○	高	△	×			
		終端_径1	D.horizontal_bar1_inside_end	String	○		○	高	△	△			

2. [一般建築] 検討内容
 2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

② 審査で参照の可能性のあるオブジェクト標準の整理【構造】

部材の種類	パラメータの分類								審査側見解		設計側見解	
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報	審査における参照項目 ○:必要 ×:不要	参照する場合の重要度 高:必ず確認 中:必要に応じて確認 低:参考程度	解析とBIMデータで整合確認すべきと思われる項目 ○:必要 △:必要に応じ ×:不要	現状解析から出力可能な項目 ○:全チームが出せる △:出せるチームがある ×:出せない、出さない
RC壁3 断面標準	配筋情報	横筋	内側	終端_径2	D_horizontal_bar2_inside_end	String	○		○	高	△	△
				終端_ピッチ	pitch_horizontal_bar_inside_end	Double	○		○	高	△	△
				終端_最内側ピッチ	innermost_pitch_horizontal_bar_inside_end	Double	○		○	高	△	×
				終端_段数	layer_horizontal_bar_inside_end	Integer	○		○	高	△	×
	幅止筋			径	D_bar_spacing	String	○		×	—	×	×
				ピッチ	picch_bar_spacing	Double	○		×	—	×	×

(余白)

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (空調機)

建築確認申請上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否 (モデル建物法)	省エネ適用上の可否 (標準入力法)	パラメータ名				Revit			入力例			審査側見解				
				BLCIオブジェクト標準Ver1.0				Shared Parameters(RUG)			■: オブジェクトにデフォルトで値入力 □: プロジェクトでユーザーが値入力 G: ジェネリック、M: メーカー	G	M	備考	確認審査における参照項目 ○: 必要 △: 場合による ×: 不要	備考	省エネ適用審査における参照項目 ○: 必要 △: 場合による ×: 不要	備考
				仕様属性ID	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ	記号	単位	値								
○	○	○		1710	SIGH	記号	テキスト	記号	共	文字	ACU-1F-1	□	□		○		○	
○	○	○		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	ユニット形空調機	■	■		○	明示事項ではないが表記があるケースが多く、審査上、一目で種類が分かるため出来れば明示してもらいたい。	○	
○				3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	■	■		○	外調機の場合	○	
	○			3040	SVA_Q	給気量	数字	給気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□		×		○	
		BEST		3050	RA_Q	運気量	数字	運気量	共	空気密度	7,000 [m3/h]	□	□		×		○	
○	○	○		3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	空気密度	3,000 [m3/h]	□	□		○	エアバランスの確認	○	設計最大外気量 外気冷房制御に関連する (標準入力法で必要)
○	○	○		3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	空気密度	3,000 [m3/h]	□	□		○	エアバランスの確認	○	(標準入力法で必要)
○		BEST		4010	SP	機外静圧	数字	機外静圧、 機外静圧_送風機、 機外静圧_運風機	共	圧力	300 [Pa]	□	■		○		×	
	○	○		4338	ENTEF_A CL	エンタルピー交換効率_冷房	数字	エンタルピー交換効率_冷房	共	係数	60 [%]	□	■		×		○	
	○	○		4339	ENTEF_H TS	エンタルピー交換効率_暖房	数字	エンタルピー交換効率_暖房	共	係数	60 [%]	□	■		×		○	
				4342	STEX_EF	温度交換効率	数字	温度交換効率	共	係数	60 [%]	□	■		×		×	
		○		2010	CL_AB	冷却能力	数字	冷却能力	共	冷房負荷	100 [kW]	□	■		×		○	
		○		2050	HT_AB	加熱能力	数字	加熱能力	共	暖房負荷	50 [kW]	□	■		×		○	
		BEST		3230	CH_Q	冷温水量	数字	冷温水量	共	流量	300 [l/min]	□	■		×		○	
		BEST		3210	C_Q	冷水量	数字	冷水量	共	流量	300 [l/min]	□	■		×		○	
		BEST		3220	H_Q	温水量	数字	温水量	共	流量	300 [l/min]	□	■		×		○	
		BEST		4210	COIL_N	コイル列数	数字	コイル列数_冷温水、 コイル列数_冷水、コイル 列数_温水	共	整数	4	□	■		×		○	
		BEST		4464	FAN_TY PE	ファンの種類	テキスト	ファンの種類	共	文字	プラグファン	■	■		×		×	
				4520	PHASE	相	数字	相	共	極数	3	■	■		×		×	
				4510	ELEC_Y CL	周波数	数字	周波数	共	周波数	50 [Hz]	□	■		×		×	
				4530	VOLTAGE	電圧	数字	電圧	共	電圧	200 [V]	□	■		×		×	
	○	○		4540	ELEC_O UT	電動機出力	数字	電動機出力_送風機、 電動機出力_運風機、 電動機出力_外気、 電動機出力_排気	共	電力	7.5[kW]	□	■		×		○	
(○)	(○)			4560	ELECON SUM	消費電力	数字	消費電力_全熱交換器	共	電力	100 [W]	□	■		×		○	
		BEST		"	"	"	"	消費電力_加湿器	共	電力	15 [W]	□	■		×		×	BESTによる検討の場合 は、必要となるケースが ある。
	○	○		4720	STR_TY PE	始動方式	テキスト	始動方式	共	文字	INV	□	□		×		○	
		BEST		4730	MOTOR_ TYPE	電動機種別	テキスト	電動機_種別	共	文字	高効率	□	■		×		○	厨房や機械室等の空調を 機械換気設備で評価する 場合に求められる。
○				7610	FSEL_C HART	送風機選定線図	ファイル名	能力線図URL	共	URL		□	■		○	P0線図のことであれば、 必要となる場合がある。	×	
				1300	NAME1	メーカー型番	テキスト	説明	組	文字	AAA-AAAA	□	■		△	完了検査において、確認 申請図書に記載の設備と 同じ設備であることを確 認するときには、メー カー名・型番があれば確 認しやすい。 構造計算の積載荷重の検 討に必要な。設備審 査においては、置き方が 明記されているほうがよ い。床面は荷重、天井 りだと天井の荷重を見込 みが必要。	△	仕様書添付の場合があ り、機器と仕様書を整合 確認する際に確認する。
				6120	SET_FOR M	設置形態	コード	設置方法	共	文字	床置形	■	■		×		×	
	○	○		4540	ELEC_O UT	電動機出力	数字	電動機出力_送風機、等	共	電力	7.5[kW]	□	■		△	場合による (非常用6回路 など)	○	
				4420	PRD_QA	製品質量	数字	製品質量	共	質量	1,000[kg]	□	■		×	構造計算の積載荷重の検 討に必要な。	×	
																	○	定格冷却能力、定格加熱 能力、風量制御、変風量 時最小風量比
																	○	VAV (換気、空調機で、風 量制御を行っている場合 は必要) 変風量の件一有 り無しのチェック
																	○	外壁熱貫流率 (断熱材熱 伝導率)、窓 (熱貫流 率・自対熱取得率)、熱 源、蓄熱システム、空調 用ポンプ、照明、給湯機 器、節水器具、給湯配管 保温、エレベーター、太 陽光発電、ユーティエ

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (空調機)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADwe'll Tfas)			考察(参照)		
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)			
記号	文字	ACU-1F-1				機器番号		AH1-1-1	機種		PAC-1	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要		
呼称	文字	ユニット形空調機	サンプルモデルで 確認申請に関わる外気処理系統の 空調機は該当なし			名称		ブラグファン空調機 水平型2管式	中分類名称		円形ブラグファン空調機 (空冷HP)	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要 (標準仕様書で規定されている名称との紐づけるため)		
風量	空気密度	10,000 [m3/h]				定格風量 [m ³ /h]		36800	送風量 50ヘルツ電源 弱:		4.8 [m3/min]			建築確認申請で必要。省エネ通判でも良いが、給気量などで代替可能
給気量	空気密度	10,000 [m3/h]												モデル建物法による省エネ通判で必要
送気量	空気密度	7,000 [m3/h]												申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)
外気量	空気密度	3,000 [m3/h]												建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
排気量	空気密度	3,000 [m3/h]												建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
機外静圧、機外静圧送風機、機外静圧送風機	圧力	300 [Pa]				機外静圧 [Pa]		400	機外静圧 50ヘルツ電源:		5 [Pa]			建築確認申請で必要
エンタルピー交換効率_冷房	係数	60 [%]												省エネ通判で必要
エンタルピー交換効率_暖房	係数	60 [%]												省エネ通判で必要
冷却能力	冷房負荷	100 [kW]												申請上不要
加熱能力	暖房負荷	50 [kW]												標準入力法による省エネ通判で必要
冷温水量	流量	300 [l/min]												申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)
冷水量	流量	300 [l/min]												申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)
温水量	流量	300 [l/min]												申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)
コイル列数_冷温水、コイル列数_冷水、コイル列数_温水	整数	4												申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)
ファンの種類	文字	ブラグファン									申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)			
											申請上不要だが、三相かどうかを判断するために必要			
											申請上不要			
											申請上不要			
電動機出力_送風機、電動機出力_送風機、電動機出力_外気、電動機出力_排気	文字	7.5 [kW]	電動機容量 [kW/P]		18.5/6P	電動機出力 送風機:		0.023 [kW]			省エネ通判で必要			
消費電力_全熱交換器	電力	100 [W]									単相助力の場合に省エネ通判で必要			
消費電力_加湿器	電力	15 [W]									申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)			
始動方式	文字	INV									省エネ通判で必要			
電動機_種別	文字	高效率									申請上不要 (BESTによる省エネ計算以外)			
能力線図URL	URL		サンプルモデルで 確認申請に関わる外気処理系統の 空調機は該当なし									建築確認申請で必要 (P0線図)		
						型番		#35	メーカー型番:		PEFY-P22ML05			申請上不要 完了検査時には必須ではないがあると良い
						設置区分		屋内						申請上不要
						電動機容量 [kW/P]		18.5/6P	電動機出力 送風機:		0.023 [kW]			省エネ通判で必要 (上記に記載済み)
						製品重量 [kg]		2600	製品質量:		25 [kg]			申請上不要
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目 ※RebroのプロパティはIFD書き出し時に、BLDオブジェクト標準の「仕様属性ID」と紐づいた情報を書き出し可能			※Tfasの「図形情報」に含まれるプロパティ項目。機種は「機種-配置」コマンドを実行すると付加される					
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目			※Tfasの「図形情報」に含まれるプロパティ項目。					

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (全熱交換器)

建築確認申請上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否 (モデル建物法)	省エネ適判上の可否 (標準入力法)	パラメータ名				Revit Shared Parameters(RUG)				入力例			審査側見解			
				BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		仕様属性名称		フィールド形式		パラメータタイプ		G	M	備考	確認審査における参照項目	備考	省エネ適判審査における参照項目	備考
				Items	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ	単位	値	単位	値							
○	○	○		1710	SIGH	記号	テキスト	記号	共	文字	HEU-1F-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			○		
○	○	○		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	全熱交換ユニット	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			○		
○				3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	空気密度	1,000 [m3/h]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			○		
○	○	○		3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	空気密度	1,000 [m3/h]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			○		
○	○			3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	空気密度	1,000 [m3/h]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			○		
○				4010	SP	機外静圧	数字	機外静圧、機外静圧_送風機、機外静圧_運風機	共	圧力	100 [Pa]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			○	×	
	○	○		4338	ENTEFA	エンタルピー交換効率_冷房	数字	エンタルピー交換効率_冷房	共	係数	60 [%]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	○	
	○	○		4339	ENTEHTS	エンタルピー交換効率_暖房	数字	エンタルピー交換効率_暖房	共	係数	60 [%]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	○	
				4342	STEX_EF	温度交換効率	数字	温度交換効率	共	係数	60 [%]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			×	×	
○				7610	FSEL_CHART	送風機選定線図	ファイル名	能力線図URL	共	URL		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			○	P0線図のことであれば、必要となる場合がある。	×
				1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字	HEU	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			×		
				1300	NAME1	メーカー型番	テキスト	説明	組	文字	AAA-AAAA	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			△	完了検査時において、確認申請図書に記載の設備と同じ設備であることを確認する際、メーカー名・型番があれば確認しやすい。	×
				4520	PHASE	相	数字	相	共	種数	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	○	全熱交換機の単相、三相の仕様を判断するため、厨房で出るかもしれない。
				4510	ELECYCLE	周波数	数字	周波数	共	周波数	50 [Hz]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	×	
				4530	VOLTAGE	電圧	数字	電圧	共	電圧	200 [V]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	×	
	○	○		4560	ELECONSUM	消費電力	数字	消費電力	共	電力	100 [W]	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	○	
				6120	SET_FOR M	設置形態	コード	設置方法	共	文字	床置形	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	×	構造計算の積載荷重の検討が必要となる。設備審査においては、置き方が明記されているほうがよい。床置きは荷重、天吊りだと天井の荷重を見込みが必要。
				1110	MAKERN AME	企業名	テキスト	製造元	組	文字	A社	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			×	×	
																○	JIS B 8628全熱交換効率ローター消費電力	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (全熱交換器)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
記号	文字	HEU-1F-1	記号	同左	I-1	機器番号		HEX-1-1	機種		HEU-1	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
呼称	文字	全熱交換ユニット	呼称	同左	全熱交換ユニット	名称		全熱交換器 天井埋込形	中分類名称		熱交換器内蔵送風機	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要(標準仕様書で規定されている名称との補正のため)
風量	空気密度	1,000 [m3/h]	風量	風量	150 [m3/h]				処理風量 50ヘルツ電源 弱:		90 [m3/h]	建築確認申請で必要。省エネ通判でもあるが良いが、外気量や排気量などで代替可能
外気量	空気密度	1,000 [m3/h]	外気量	風量	150 [m3/h]				接続口番号: 1/風量		200[m3/h]	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
排気量	空気密度	1,000 [m3/h]	排気量	風量	150 [m3/h]				接続口番号: 2/風量		200[m3/h]	建築確認申請で必要、モデル建物法による省エネ通判で必要
機外静圧、機外静圧_送風機、機外静圧_送風機	圧力	100 [Pa]	機外静圧_機外静圧_排気	同左	200 [Pa]				機外静圧 50ヘルツ電源 弱:		25 [Pa]	建築確認申請で必要
エンタルピー交換効率_冷房	係数	60 [%]	エンタルピー交換効率_冷房	同左	65%							省エネ通判で必要
エンタルピー交換効率_暖房	係数	60 [%]	エンタルピー交換効率_暖房	同左	76%							省エネ通判で必要
			温度交換効率	同左	74%							線図
能力線図URL	URL											建築確認申請で必要 (PO線図)
			符号	文字	HEU							申請上不要
						型番		50型	メーカー型番:		LGH-N15CS2	申請上不要 完了検査時には必須ではないがあると良い
						相		単層	相:		1 [φ]	申請上不要だが、三相かどうかを判断するために必要
						周波数[Hz]						申請上不要
						電圧[V]		100	電圧:		100 [V]	申請上不要
消費電力	電力	100 [W]	消費電力	同左	108[W]							省エネ通判で必要
						設置区分		屋内				申請上不要
						メーカー名						申請上不要
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目。全熱交換器換気扇記入			※Tfasの「図形情報」に含まれるプロパティ項目。機種番は「機種-配置」コマンドを実行すると付加される。			

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (送風機)

建築確認申請上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否 (モデル建物法)	省エネ適判上の可否 (標準入力法)	パラメータ名				Revit			入力例			審査側見解					
				BLCIオブジェクト標準Ver.1.0				Shared Parameters(RUG)				■: オブジェクトにデフォルトで値入力 □: プロジェクトでユーザーが値入力 G: ジェネリック M: メーカー			確認審査における参照項目	備考	省エネ適判審査における参照項目	備考	
				仕様属性ID	仕様属性名	フィールド形式	単位	パラメータタイプ	単位	値	単位	値	単位	値					単位
○	○	○		1710	SIGH	記号	テキスト	記号	共	文字	FE-1F-1	□	■			○			
○	○	○		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	遠心送風機	■	■			○	明示事項ではないが表記があるケースが多く、一目で種類が分かるため出来れば明示してもらいたい。	○	
○	○	○		3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	■	■			○			
○				3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□			○			
○				3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□			○			
○		BEST		4010	SP	機外静圧	数字	機外静圧	共	圧力	300 [Pa]	□	■			○		×	
○				7610	FSEL_CHART	送風機選定線図	ファイル名	能力線図URL	共	URL		□	■			○	PO線図のことであれば、必要となる場合がある。	×	
		BEST		4464	FAN_TYP	ファンの種類	テキスト	ファンの種類	共	文字	多翼形	■	■			×		△	BESTによる検討の場合は、必要となるケースがある。
				1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字	FE					×	FE-1F-1と内容が重複しており不要。	×	
				1300	NAME1	メーカー型番	テキスト	説明	組	文字	AAA-AAAA	□	■			△	記号検査において、確認申請図書に記載の設備と同じ設備であることを確認するときには、メーカー名・型番があれば確認しやすい。	×	
				4520	PHASE	相	数字	相	共	整数	3	■	■			×		○	
				4510	ELECYCLE	周波数	数字	周波数	共	周波数	50 [Hz]	□	■			×		×	
				4530	VOLTAGE	電圧	数字	電圧	共	電圧	200 [V]	□	■			×		×	
(○)	(○)			4560	ELECONSUM	消費電力	数字	消費電力	共	電力	100 [W]	□	■			×		○	
				4570	POLE_N	極数	数字	極	共	整数	4	□	■			×		△	JIS C 9603で規定された消費電力に電動機効率0.75を乗じた値が必要。
○	○			4720	STR_TYPER	始動方式	テキスト	始動方式	共	文字	INV	□	□			×		○	標準入力で、換気代替空調機の場合は、求められる。
○	○			4725	START_STOP_TYPER	発停方法	テキスト	発停方法	共	文字	CO2制御	□	□			×		○	他に温度制御が必要。
○	○			4730	MOTOR_TYPE	電動機種別	テキスト	電動機種別	共	文字	高効率	□	■			×		○	JIS C 4212、4213 高効率電動機の有無が必要。
				6110	SET_CLASSES	設置区分	コード									×		×	
				6120	SET_FORM	設置形態	コード	設置方法	共	文字	床置形	■	■			△	置き方が明記されているほうがよい。床置きは荷重、天井りたど天井の荷重を見込みが必要。	×	
○	○			4540	ELEC_OUTPUT	電動機出力	数字	電動機出力	共	電力	7.5[kW]	□	■			△	場合による (非常用0回路など)	○	JIS B 8330、又はJIS C 9603で規定された消費電力に電動機効率0.75を乗じた値が必要。
				4420	PRD_QAMAKERNAME	製品質量	数字	製品質量	共	質量	1,000[kg]	□	■			×		×	
				1110	AME	企業名	テキスト	製造元	組	文字	A社	□	■			×		×	
																	○	JIS C 4212、4213 高効率電動機の有無が必要。	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (送風機)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
記号	文字	FE-1F-1	記号	同左	1-1	機器番号		FE-1-1	機番		FE-1	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
呼称	文字	遠心送風機	呼称	同左	消音ボックス付送風機	名称		片取込シロッコファン SNW2型	部品名称		ストレートシロッコファン消音形前置タイプ BFS-150SYA	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要(標準仕様書で規定されている名称との紐づけるため)
風量	空気密度	10,000 [m3/h]	風量	風量	150 [m3/h]	送風量最小[m ³ /h] 送風量最大[m ³ /h]			送風量 50ヘルツ電源:		1500 [m3/h]	建築確認申請でも、省エネ通判でも必要
外気量	空気密度	10,000 [m3/h]	外気量	風量	150 [m3/h]							建築確認申請が必要
排気量	空気密度	10,000 [m3/h]	排気量	風量	150 [m3/h]							建築確認申請が必要
機外静圧	圧力	300 [Pa]	機外静圧	同左	100 [Pa]	静圧最小[Pa] 静圧最大[Pa]			機外静圧 50ヘルツ電源:		180 [Pa]	建築確認申請が必要
能力線図URL	URL											建築確認申請が必要(P0線図)
ファンの種類	文字	多翼形	ファンの種類	同左	多翼形							申請上不要(BESTIによる省エネ計算以外)
			符号	文字	FE							申請上不要
						型番		No. 5 (低圧)	メーカー型番:		BFS-150SYA	申請上不要 完了検査時には必須ではないががあると良い
						相		三相	相:		1 [φ]	申請上不要だが、 三相かどうかを判断するために必要
						周波数[Hz]		50				申請上不要
						電圧[V]		200	電圧:		100 [V]	申請上不要
消費電力	電力	100 [W]	消費電力	同左	20.5[W]							単相動力の場合に省エネ通判が必要
			極	同左	未設定							申請上不要
始動方式	文字	1W	始動方式	同左	直入れ							省エネ通判が必要
発停方法	文字	CO2制御	発停方法	同左	中央発停							周エネ通判が必要
電動機_種別	文字	高効率	電動機_種別	同左	未設定							周エネ通判が必要
						設置区分		屋内				申請上不要
						設置形態		床置				申請上不要
電動機出力	文字	7.5[kW]				電動機出力[kW]		1.5~15	電動機出力 50ヘルツ電源:		340 [W]	省エネ通判が必要
						製品質量[kg]		301	製品質量:		21.5 [kg]	申請上不要
						メーカー名		荏原テクノサーブ(株)				申請上不要
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目		※Tfasの「図形情報」に含まれるプロパティ項目。機番は「機番-配置」コマンドを実行すると付加される。				

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (排煙機)

建築確認申請上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否	注意	パラメータ名				入力例			審査側見解							
						BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		Revit		備考	G	M	確認審査における参照項目	備考	省エネ適判審査における参照項目	備考				
						仕様属性ID	フィールド形式	フィールド形式	パラメータタイプ								備考	備考	備考	
○	-	-	-	-		1710	SIGH	記号	記号	共	文字	FSM-1	□	□	○					
○	-	-	-	-		1720	DESINA	呼称	呼称	共	文字	排煙機	■	■	○	明示事項ではないが表記があるケースが多く、審査上、一目で種類が分かるため出来れば明示してもらいたい。	x			
○	-	-	-	-		3010	SA_Q	送風量	風量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	■	■	○		x			
-	-	-	-	-		1730	ASIGN	符号	符号	共	文字	FSM	■	■	x		x			
-	-	-	-	-		1300	NAME1	メーカー型番	テキスト	説明	組	文字	AAA-AAAA	□	■	△	完了検査において、確認申請図書に記載の設備と同じ設備であることを確認するときには、メーカー名・型番があれば確認しやすい。	x		
-	-	-	-	-		1110	MAKERN	企業名	テキスト	製造元	組	文字	A社	□	■	x		x		
-	-	-	-	-		4520	PHASE	相	数字	相	共	極数	3	■	■	x		x		
-	-	-	-	-		4510	ELECCL	周波数	数字	周波数	共	周波数	50 [Hz]	□	■	x		x		
-	-	-	-	-		4530	VOLTAGE	電圧	数字	電圧	共	電圧	200 [V]	□	■	x		x		
-	-	-	-	-		6110	SET_CLAS	設置区分	コード							x		x		
-	-	-	-	-		6120	SET_FORM	設置形態	コード	設置方法	共	文字	床置形	■	■	○	室内、屋外、まれに天井裏など、置き場には色々なケースがあり、それにより規制が生じる可能性がある。	x		
-	-	-	-	-		4010	SP	機外静圧	数字	機外静圧	共	圧力	300 [Pa]	□	■	○		x		
○	-	-	-	-		4540	ELEC_OUT	電動機出力	数字	電動機出力	共	電力	7.5[kW]	□	■	x		x		
-	-	-	-	-		4420	PRD_QA	製品質量	数字	製品質量	共	質量	1,000[kg]	□	■	x	構造計算の積載荷重の検討に必要な為。	x		
															○	電動機出力必要。予備電源（非常用発電機）の容量計算確認の為。	x			

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (排煙機)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
記号	文字	FSM-1	記号	同左	I	機器番号		FSM-1				建築確認申請が必要
呼称	文字	排煙機	呼称	同左	遠心送風機	名称		遠心式排煙機 電動機駆動 低圧床置形上部垂直				建築確認申請でも必要 (標準仕様書で規定されている名称との紐づけるため)
風量	空気密度	10,000 [m3/h]	風量	風量	48,000 [m3/h]	排煙風量 (最小) [m3/h]						建築確認申請が必要
			符号	文字	FSM	排煙風量 (最大) [m3/h]						申請上不要
						型番						申請上不要 完了検査時には必須ではないがあると良い
						メーカー名						申請上不要
						相						申請上不要
						周波数[Hz]						申請上不要
						電圧[V]						申請上不要
						設置区分						申請上不要
						設置形態		床置				申請上不要
						静圧 (最小) [Pa]						申請上必要?
電動機出力	電力	7.5[kW]				静圧 (最大) [Pa]						建築確認申請が必要(発電機の計算)
						製品重量[kg]						申請上不要
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目						

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (スペース)

建築確認申請上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否 (モデル建物法)	省エネ適判上の可否 (標準入力法)	パラメータ名				Revit		入力例		備考	審査側見解						
				BLCIオブジェクト標準Ver.1.0				Shared Parameters(RUG)		G	M		確認審査における参照項目	備考	省エネ適判審査における参照項目	備考			
				仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ	レベル	名称	単位								値	値	備考
								レベル	組	文字	5F								
								名称	組	文字	事務室								
								床面積	共	面積	500 [m3/h]								
								天井高_長さ	共	長さ	2.8 [m]								
								基準法上用途	共	文字	事務所								
								省エネ法上用途	共	文字	事務所								
								居室	共	はい/いいえ	✓								
								換気上の用途	共	はい/いいえ	✓								
								採光上の用途	共	はい/いいえ	✓								
								排煙区画及び告示	共	文字	機械排煙								
								排煙上の有窓	共	はい/いいえ	✓								
								給気機器記号	共	文字	FS-5F-1								
								排気機器記号	共	文字	FE-5F-1								
								排煙機器記号	共	文字	FSM-1								
								給気パス	共	文字	廊下から								
								排気パス	共	文字	廊下へ								
				3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]								
				3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]								
								人員密度	共	実数	0.2 [人/m ²]								
								N値	共	実数	5 [-]								
								人数	共	実数									
								換気回数	共	実数	5 [回/h]								
								換気方式	共	文字	1 [第○種]								
								PA+風量	共	風量	1,000 [m3/h]								
								PA-風量	共	風量	1,000 [m3/h]								
								排煙風量	共	風量	30,000 [m3/h]								
								火気_燃料消費量	共	実数	9.3 [kW]								
								火気_電力消費量	共	実数	6.7 [kW]								
								火気_フード形態係数	共	実数	40 [-]								

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (スペース)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
レベル	文字	5F				基準フロア		1FL				建築確認申請、標準入力法による省エネ通判が必要
名称	文字	事務室				部屋名		待合室				建築確認申請、標準入力法による省エネ通判が必要
床面積	面積	500 [m ² /h]				面積		148.2m ²				建築確認申請、標準入力法による省エネ通判が必要
天井高_長さ	長さ	2.8 [m]				天井高さ		4000mm				建築確認申請が必要
						体積		592.8m ³				建築確認申請が必要(床面積と天井高の積でも可能)
基準法上用途	文字	事務所										建築確認申請が必要
省エネ法上用途	文字	事務所										標準入力法による省エネ通判が必要
居室	はい/いいえ	✓										建築確認申請が必要
換気上の用途	はい/いいえ	✓										建築確認申請が必要
採光上の用途	はい/いいえ	✓										建築確認申請が必要
排煙区画及び告示	文字	機械排煙										建築確認申請が必要
排煙上の有窓	はい/いいえ	✓										建築確認申請が必要
給気機器記号	文字	FS-5F-1										建築確認申請が必要
排気機器記号	文字	FE-5F-1										建築確認申請が必要
排気機器記号	文字	FSM-1										建築確認申請が必要
給気パス	文字	廊下から										建築確認申請であると確認しやすい
排気パス	文字	廊下へ										建築確認申請であると確認しやすい
外気量	空気密度	10.000 [m ³ /h]										建築確認申請が必要
排気量	空気密度	10.000 [m ³ /h]										建築確認申請が必要
人員密度	実数	0.2 [人/m ²]										建築確認申請が必要
N値	実数	5 [-]										建築確認申請が必要
人数	実数											建築確認申請が必要
換気回数	実数	5 [回/h]										建築確認申請が必要
換気方式	文字	1 [第○種]										建築確認申請が必要
PA-風量	風量	1.000 [m ³ /h]										建築確認申請であると確認しやすい
PA-風量	風量	1.000 [m ³ /h]										建築確認申請であると確認しやすい
排煙風量	風量	30.000 [m ³ /h]										建築確認申請が必要
火気_燃料消費量	実数	9.3 [kW]										建築確認申請が必要
火気_電力消費量	実数	6.7 [kW]										建築確認申請が必要
火気_ブロード形態係数	実数	40 [-]										建築確認申請が必要
						※Revit「部屋」をRebroLinを利用しRebroLinに取り込み						

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (部屋)

建築確認申請上の可否	省エネ適判上の可否	省エネ適判上の可否 (モデル建物法)	意匠 (標準入力法)	パラメータ名				Revit		入力例		備考	審査側見解				
				BLCIオブジェクト標準Ver.1.0				Shared Parameters(RUG)		G	M		確認審査における参照項目	備考	省エネ適判審査における参照項目	備考	
				仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ	レベル	組	文字								5F
○	○	○			レベル	組	文字	5F				○		○			
○	○	○			名称	組	文字	事務室				○		○			
○	○	○			床面積	共	面積	500 [m3/h]				○		○			
○	○	○			天井高_長さ	共	長さ	2.8 [m]				○		○			
○	○	○			基準法上用途	共	文字	事務所				○		○			
○	○	○			省エネ法上用途	共	文字	事務所				x		○			
○	○	○			窓室	共	はい/いいえ	✓				○		△			
○	○	○			換気上の用途	共	はい/いいえ	✓				○		△			
○	○	○			採光上の用途	共	はい/いいえ	✓				○		△			
○	○	○			排煙区画及び告示	共	文字	機械排煙				○		△			
○	○	○			排煙上の有窓	共	はい/いいえ	✓				○		△			
○	△	△			給気機器記号	共	文字	FS-5F-1				○		○			
○	△	△			排気機器記号	共	文字	FE-5F-1				○		○			
○	△	△			排煙機器記号	共	文字	FSM-1				○		△			
○					給気パス	共	文字	廊下から				○		○			
○					排気パス	共	文字	廊下へ				○		○			
○				3060	OA_Q	外気量	数字	外気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□	○		○	
○				3070	EA_Q	排気量	数字	排気量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□	○		○	
○						人員密度	共	実数	0.2 [人/m]		□	□	○		△		
○						N値	共	実数	5 [-]		□	□	○		△		
○						人数	共	実数						○		△	
○						換気回数	共	実数	5 [回/h]		□	□	○		△		
○						換気方式	共	文字	1 [第○種]		□	□	○		△		
○						PA+風量	共	風量	1,000 [m3/h]		□	□	x		○		
○						PA-風量	共	風量	1,000 [m3/h]		□	□	x		○		
○						排煙風量	共	風量	30,000 [m3/h]		□	□	○		△		
○						火気_燃料消費量	共	実数			□	□	○		△		
○						火気_電力消費量	共	実数			□	□	△		建築基準法上、電気コンロの規定は無いが、実態上、適当な排気が必要とされる。	△	給湯としての項目を含むのであれば必要となる。
○						火気_フード形態係数	共	実数			□	□	○		△		
○				1860	D_DA_Q	設計風量	数字	設計風量	共	空気密度	10,000 [m3/h]	□	□	○		○	

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (部屋)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
			レベル	同左	1FL							建築確認申請、標準入力法による省エネ適用が必要
			名前	文字	休憩室				部屋名称		休憩室	建築確認申請、標準入力法による省エネ適用が必要
			面積	面積	23.75[m]				面積		15.72 m2	建築確認申請が必要
			オフセット (上部レベル)	長さ	2.7[m]				高さ		2500 mm	建築確認申請が必要(床面積と天井高の積でも可能)
												建築確認申請が必要
												標準入力法による省エネ適用が必要
												建築確認申請が必要
												建築確認申請が必要
												建築確認申請が必要
												建築確認申請が必要
			給気機器記号	同左	廊下よりPASS							建築確認申請が必要
			排気機器記号	同左	FE 1-14							建築確認申請が必要
												建築確認申請が必要
												建築確認申請であると確認しやすい
												建築確認申請であると確認しやすい
												建築確認申請が必要
			PARM_人員密度	同左	0.4 [人/m ²]							建築確認申請が必要
			PARM_人数	同左								建築確認申請が必要
			PARM_換気回数	同左								建築確認申請が必要
			換気方式	同左	第三種							建築確認申請が必要
												建築確認申請であると確認しやすい
												建築確認申請であると確認しやすい
												建築確認申請が必要
												建築確認申請が必要
			設計換気量	風量	300[m ³ /h]							建築確認申請が必要

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (ダンパー)

建築確認申請上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	意匠	パラメータ名				入力例		審査側見解								
						BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		Revit		備考	G	M	確認審査における参照項目	備考	省エネ適用審査における参照項目	備考				
						仕様属性名称	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ								Shared Parameters(RUG)			
○	-	-	-	-		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	防火ダンパー	■	■	○				
○	-	-	-	-		1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字	FD	■	■	○				

■カテゴリ別パラメータリスト (制気口)

建築確認申請上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	意匠	パラメータ名				入力例		審査側見解											
						BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		Revit		備考	G	M	確認審査における参照項目	備考	省エネ適用審査における参照項目	備考							
						仕様属性名称	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ								Shared Parameters(RUG)						
-	-	-	-	-		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	ユニバーサル形状出口_VHS	■	■	○				給気と排気を分けて明示を求めているケースがあり、制気口を足し合わせて、エアバランスをチェックする。東京都建築安全条例75条は、材質(不燃)の明示が求められる。	△		空調対象室の確認において含まれるとよい。
○	-	-	-	-		1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字	VHS	■	■	○							
○	-	-	-	-		3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	空気密度	1,000 [m3/h]	□	□	○				エアバランスを確認するケースもある、	△		エアバランスを確認するケースもある、
○	-	-	-	-		4222	PASSA_V	通過風速	数字	面風速	共	速度	2.5 [m/s]	□	□	△							
-	-	-	-	-		4370	SIZE_W	外形寸法 W	数字	Width	共	長さ	800 [mm]	■	■	△							
-	-	-	-	-		4380	SIZE_D	外形寸法 D	数字	Depth	共	長さ	1,500 [mm]	■	■	△							
○	-	-	-	-						用途	共	文字	OA	□	□	△							

■カテゴリ別パラメータリスト (排煙口)

建築確認申請上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	意匠	パラメータ名				入力例		審査側見解									
						BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		Revit		備考	G	M	確認審査における参照項目	備考	省エネ適用審査における参照項目	備考					
						仕様属性名称	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ								Shared Parameters(RUG)				
○	-	-	-	-		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	排煙口	■	■	○					
-	-	-	-	-		1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字		■	■	△					
○	-	-	-	-		3010	SA_Q	送風量	数字	風量	共	空気密度	1,000 [m3/h]	□	□	○					
○	-	-	-	-		4222	PASSA_V	通過風速	数字	面風速	共	速度	2.0 [m/s]	□	□	△					法的に必須ではないが、目安で確認している。
○	-	-	-	-		4370	SIZE_W	外形寸法 W	数字	開口率	共	係数	70 [%]	□	□	○					押し出し排煙など
○	-	-	-	-		4380	SIZE_D	外形寸法 D	数字	Width	共	長さ	800 [mm]	■	■	○					
○	-	-	-	-						Depth	共	長さ	1,500 [mm]	■	■	○					
○	-	-	-	○						区画面積	共	面積	300 [㎡]	□	□	○					部屋パラメータ
○	-	-	-	○						排煙範囲	共	文字	1	□	□	○					部屋パラメータ

■カテゴリ別パラメータリスト (避雷針)

建築確認申請上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	省エネ適用上の可否	意匠	パラメータ名				入力例		審査側見解									
						BLCIオブジェクト標準Ver.1.0		Revit		備考	G	M	確認審査における参照項目	備考	省エネ適用審査における参照項目	備考					
						仕様属性名称	仕様属性ID	フィールド形式	パラメータタイプ								Shared Parameters(RUG)				
-	-	-	-	-		1720	DESINA	呼称	テキスト	呼称	共	文字	雷保護装置	■	■	△					内容が曖昧なため、場合によって必要となると考えられる。
-	-	-	-	-		1730	ASIGN	符号	テキスト	符号	共	文字		■	■	△					内容が曖昧なため、場合によって必要となると考えられる。

2. [一般建築] 検討内容
2-1) 確認審査に必要な情報、審査機序、表現方法の検討

②審査で参照の可能性があるオブジェクト標準の整理【設備】

■カテゴリ別パラメータリスト (ダンパー)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
呼称	文字	防火ダンパー	呼称	同左	防火ダンパー	名称		FD	部品名称		FD	申請上不要(符号で特定可能なため)
符号	文字	FD	符号	同左	FD	名称		FD	傍記名称		FD	建築確認申請が必要

■カテゴリ別パラメータリスト (制気口)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
呼称	文字	ユニバーサル形状出口_VHS	呼称	同左	ユニバーサル形状出口_VHS	名称		VHS型レジスター	部品名称		HS (BOX付)	申請上不要(符号で特定可能なため)
符号	文字	VHS	符号	同左	VHS	略号		VHS				建築確認申請が必要
風量	空気密度	1.000 [m3/h]	風量	風量	1.000 [m3/h]	風量		550m ³ /h	接続口番号: 3/風量		400[m3/h]	建築確認申請が必要
面風速	速度	2.5 [m/s]	面風速	同左	2.0 [m/s]							建築確認申請が必要
			Width	同左	150 [mm]	W (横)		300	サイズ		W:1500	申請上不要
			Depth	同左	150 [mm]	H (縦)		300	サイズ		L:150	申請上不要
用途	文字	DA				用途		給気	接続口番号: 3/用途分類:		外気	建築確認申請が必要
						給排気の区別		吹出口				
						型番		VHS型				
						ボックス付き制気口		はい/いいえ				
						※Rebroのシステム部材に含まれるプロパティ項目			※Tfasの「図形情報」に含まれるプロパティ項目。			

■カテゴリ別パラメータリスト (排煙口)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
呼称	文字	排煙口	呼称	同左	排煙口	名称		排煙口				建築確認申請が必要 (標準仕様書で規定されている名称との紐づけるため)
			符号	同左		略号						申請上不要
風量	空気密度	1.000 [m3/h]				風量		〇〇m ³ /h				建築確認申請が必要
面風速	速度	2.0 [m/s]	面風速	同左								法的には不要だが、目安として必要
開口率	係数	70 [%]	開口率	同左	未設定							建築確認申請が必要
			Width	同左	800 [mm]	W (横)		300				建築確認申請が必要
			Depth	同左		H (縦)		300				建築確認申請が必要
区画面積	面積	300 [m ²]	対象面積 (1m ³ /m ² の場合)	面積	330[m ²]							建築確認申請が必要
排煙範囲	文字	1	排煙口番号	長さ	1							建築確認申請が必要
						給排気の区別		排煙口				建築確認申請が必要
						用途		排煙				
						ボックス付き制気口		はい/いいえ				

■カテゴリ別パラメータリスト (避雷針)

Aチーム(Revit)			Bチーム(Revit)			Bチーム(Rebro)			チームC(CADWe'll Tfas)			考察(参照)
パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	パラメータ名	パラメータタイプ	実施設計2 S4 (入力例)	
呼称	文字	雷保護装置										申請上不要
符号	文字											申請上不要

(余白)